

まちを生き、まちと生きる次代創造カンパニー

豊田まちづくり株式会社

〒471-0026 豊田市若宮町1-57-1

www.tm-toyota.co.jp

2021年6月編集 (vol.18)



2021年度版

中心市街地 活性化への 歩み

あなたの「好き」が
まちのチカラに。

まちをもっと元気に！
もっとおもしろく！



目次



ごあいさつ	1
豊田まちづくり(株)の軌跡	2

会社について

会社概要	4
会社決算推移	6
豊田まちづくり(株)の取組み 主な業務内容	8

豊田まちづくり(株)の事業

豊田市駅西口市街地再開発ビル等管理運営事業	10
豊田市中心市街地大型店の連携・共同事業	16
管理事業 プロパティマネジメント/警備業/損害保険代理店業	18
駐車場事業	20
フリーパーキング事業	22
おもてなし事業 飲むならパーキング事業/キッズカート共同利用事業/ 有料駐輪場/まちなかクリーンアップ活動/ 花飾り事業への参画/フリーパーキング加盟駐車場	24
豊田市中心市街地まちづくり事業	26
まちなかコミュニティ施設整備事業 MAMATOCO(ママトコ)	27
2020年度 地域イベント事業実績	28

豊田市中心市街地活性化協議会

豊田市中心市街地活性化基本計画	30
豊田市中心市街地活性化協議会 一般社団法人TCCM	32
豊田市中心市街地テナントミックスビジョン 再構築プロジェクト会議	34
豊田市中心市街地まちなか宣伝会議	38
あそべるとよたプロジェクト	40
一般社団法人TCCMとエリアマネジメント	42

豊田市の取組み

都心環境計画	43
豊田市商業振興条例及び支援事業	44
WE LOVE とよたの推進	46

豊田市駅西口エリアまちづくりプラットフォーム

豊田市駅西口エリアまちづくりプラットフォームの 構築・未来ビジョンの策定	47
---	----

その他

とよた元気プロジェクト	48
イルミネーションストーリーinとよた	49
全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議	50
まちづくり推進団体	51

資料

豊田市データ	52
交通アクセス	54
豊田市の産業	56
豊田市の財政	57
周辺商業施設概要	58
豊田市中心市街地の通行量調査	60
豊田市中心市街地商業現況調査	62

豊田まちづくり(株)の設立経緯・事業経過 及びまちの変遷	64
---------------------------------	----

ごあいさつ

新型コロナウイルス感染症が世界的に猛威を振るう中、我が国におきましてもかつて経験したことのない未曾有の危機に直面することになりました。当社におきましても様々な困難に向き合いながら事業活動を進める中、まちづくり事業に携わる全ての皆様のご協力のもと、本年も無事に「中心市街地活性化への歩み」が発行できましたことに深く感謝申し上げます。

豊田市中心市街地におきましては、1年を通じて新型コロナウイルス感染症拡大防止策による様々な影響を受けてきました。大規模施設や飲食店等の休業や営業時間短縮、企業や学生におかれましては、人の流れを削減させるための在宅勤務やオンライン授業の実施、また、当社が毎年受託してきた豊田おいでんまつり、豊田マラソン大会、ふれ愛フェスタを含めた中心市街地にて開催される数多くのイベントの中止、Jリーグや各種スポーツイベントの中止や入場者数制限などにより、中心市街地に訪れる買物客・通勤者・通学者・来街者は大きく減少し、多くの賑わいの機会が失われてしまいました。

当社の基幹事業となる再開発ビルは、政府や愛知県独自の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出に伴い、昨年4月18日から5月17日までは全館休業、その後も継続的な営業時間短縮を余儀なくされました。更には国民ひとりひとりに向けての外出自粛や会食禁止要請も相まって売上及び入店客数は大きく減少いたしました。これまでにない厳しい商況下ではありましたが、お客様が安全かつ安心して買い回りいただけるようにビルの入口や店頭において感染防止策を最大限講じつつ、テナントの皆様のご協力を仰ぎながら共に営業を続けてまいりました。

そして、本年9月30日には松坂屋豊田店が営業終了の日を迎えることとなります。そこで、昨年6月、豊田市と共働して松坂屋豊田店閉店後の豊田市駅西口エリアの魅力向上と賑わいの確保のため、国土交通省が所管する「官民連携都市再生推進事業費補助金」を活用し、豊田市駅西口エリアまちづくりプラットフォームを立ち上げ、豊田市駅西口エリア未来ビジョンを策定するとともに、再開発ビル再生の方向性を策定してまいりました。

再開発ビルは、買物拠点から暮らしの拠点への転換を図り、また、ペDESTリアンデッキ等の公共空間との連動を図り、「まち」に開かれた施設にすることによりウォークアブルなエリアが連続する心地よい空間を形成して、新たなT-FACEとしての再生を目指してまいります。

アフターコロナを見据え、再開発ビルの再生に加えて中心市街地の賑わいを少しでも取り戻すために豊田市や豊田商工会議所などと連携・協働しながら、魅力あるまちづくりを目指してまいりますので、引き続き皆様からのご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2021年6月

豊田まちづくり株式会社
代表取締役 河木 照雄

豊田まちづくりが

まちとともに歩んできた軌跡



豊田まちづくり株式会社は、大型商業施設の相次ぐ破綻による混乱を背景に2002年4月に設立。その後TMO法人として豊田市中心市街地活性化にむけて各種事業に取り組んで参りました。2006年8月の中心市街地活性化法改正にあたり「TMO法人」から豊田市における「商業まちづくり推進事業者」に位置づけられ、また、同時に、豊田市策定の「中心市街地活性化基本計画」に意見を述べ、実効性に寄与する役割を担う「中心市街地活性化協議会」を豊田商工会議所と共に設置しました。豊田市駅西口市街地再開発事業により1988年10月に誕生した専門店街「T-FACE」のSCデベロッパーとしての役割はもとより、行政、会議所、商業者、地域の方々と共に豊田市中心市街地の賑わいと魅力あるまちづくりを目指しています。

2001



松坂屋豊田店開店

2003



「中心市街地フリーパーキング事業」開始

2009



豊田おいでんまつり受託開始

2015



豊田市中心市街地テナントミックスビジョン再構築プロジェクト
第一期「豊田市駅西口市街地再開発ビルB館2階フロア整備事業」

2015



まちなかコミュニティ施設整備事業「MAMATOCO(ママトコ)」開業

2017



豊田市中心市街地テナントミックスビジョン再構築プロジェクト
大型店の連携・共同による社会実験「とよたまちなかこどもタウン」初開催



2003



「豊田市中心市街地まちなか宣伝会議」の立ち上げ

2007



ジョイカルウェブ事業(若者文化創出)「トヨタロックフェスティバル」開始

2010



中活基本計画事業・飲食ストリート構築事業・経済省認定「西町商店街共同組合商店街活性化事業計画」事業「豆庵」開業

2015



公共空間活用実験事業「STREET&PARK MARKET」開始

2016



豊田市中心市街地テナントミックスビジョン再構築プロジェクト
「豊田市駅西口市街地再開発ビルA館2階客用トイレ改修事業」

2018



豊田市中心市街地テナントミックスビジョン再構築プロジェクト
「豊田市駅西口市街地再開発ビルB館6階フロア整備事業」

豊田まちづくりは、SC(ショッピングセンター)デベロッパーです。

当社は、豊田市駅西口市街地再開発ビルのキーテナント撤退時に公的資金を借り入れ、その資産を買い取り、デベロッパーとしてビルを再生する役割を担っています。自らのSCに対し明確なコンセプトを保持し、テナントとの共同事業体たる理念と的確な情報・知識・創造性を持ちながら地域のお客様から支持される施設運営に取り組んでいます。

地域の方々との共働によるまちづくりを推進しています。

当社は、中心市街地活性化に向けて、まちの利益やまちのパリユアアップに繋がる事業を推進する役割も担っています。特に商業活性化、まちの賑わい創出、アクセス・回遊性向上などを地域の方々と取組み、皆様に選ばれ、足を運んでいただけるまちづくりを推進しています。

会社概要

会社概要

【商号】 豊田まちづくり株式会社
 【本店】 愛知県豊田市若宮町1丁目57番地1
 【設立】 2001年4月20日
 【資本金】 授權資本 12億9,600万円
 払込資本 4億9,090万円

【株主構成】

株主	株主数	株主数比率 (単位:%)	出資額 (単位:千円)	出資額比率 (単位:%)
大企業	25名	14.20	82,900	16.89
中小企業・個人	146名	82.96	35,550	7.24
内/商業関係	(63名)	(35.80)	(11,650)	(2.37)
団体	4名	2.27	369,550	75.28
自己株式	1名	0.57	2,900	0.59
合計	176名	100.00	490,900	100.00

【大株主】 (100株以上)

株主名	株主数	持株数	出資額 (単位:千円)	持株比率 (単位:%)
豊田市	1名	6,240	312,000	63.93
豊田商工会議所	1名	991	49,550	10.15
トヨタ自動車株式会社	1名	400	20,000	4.09
株式会社三菱UFJ銀行	1名	200	10,000	2.04
株式会社大丸松坂屋百貨店	1名	200	10,000	2.04
豊田鉄工株式会社	1名	200	10,000	2.04
小島プレス工業株式会社	1名	120	6,000	1.22
豊田市商業連合協同組合	1名	100	5,000	1.02
大豊工業株式会社	1名	100	5,000	1.02
豊田信用金庫	1名	100	5,000	1.02
太啓建設株式会社	1名	100	5,000	1.02
合計	11名	8,751	437,550	89.66

*持株比率は、自己株式を除く発行済株式総数に対する持株数の割合

【その他の株主】 (100株未満)

持株数の別	60株	40株	30株	20株	10株	10株未満	自己株式	合計
株主数	2名	2名	2名	12名	25名	121名	1名	165名
持株数	120	80	60	240	258	251	58	1,067
出資額(単位:千円)	6,000	4,000	3,000	12,000	12,900	12,550	2,900	53,350

*発行済株式総数は9,818株、株主総数は176名

【役員体制】 取締役および監査役(2021年4月1日現在)

代表取締役	河木 照雄	豊田商工会議所 副会頭(株式会社山田屋 代表取締役)
常務取締役	深津 和則	豊田まちづくり株式会社 常務取締役
取締役	安田 明弘	豊田市 副市長
取締役	西脇 委千弘	豊田市 産業部部長
取締役	寺田 壽孝	豊田酒造株式会社 代表取締役社長
取締役	植松 良太	トヨタ自動車株式会社 総務部 管財・渉外室室長
取締役	生駒 みどり	豊田まちづくり株式会社 取締役
監査役	梅村 茂	豊田市 会計管理者
監査役	福岡 祥二	豊田信用金庫 理事営業統括部長

経営理念

豊田まちづくり(株)は、

1. 豊田市まちづくりのために、行政・会議所・商業者及び地域の方々と共に共働して、地域発展に寄与する各種事業を推進する。
2. 第三セクターの企業経営責任を自覚し、常に健全経営を追求して適切な情報公開のもと地域社会の信頼を得る。
3. 従業員の能力向上を支援すると共に、働き甲斐のある職場を目指し、その安心・安全と幸せを守る。

基本方針

1. 長期的な経営(利益)計画の策定・実行
2. 商業環境整備・地域開発等の各種まちづくり事業の推進
3. 商業デベロッパーとして迅速な事業展開及び新事業の企画開発
4. 人材の育成と働き甲斐のある職場づくり
5. CSRを自覚した企業経営の推進
6. 中心市街地活性化協議会及び(一社)TCCMとの協調によるまちづくり事業の推進

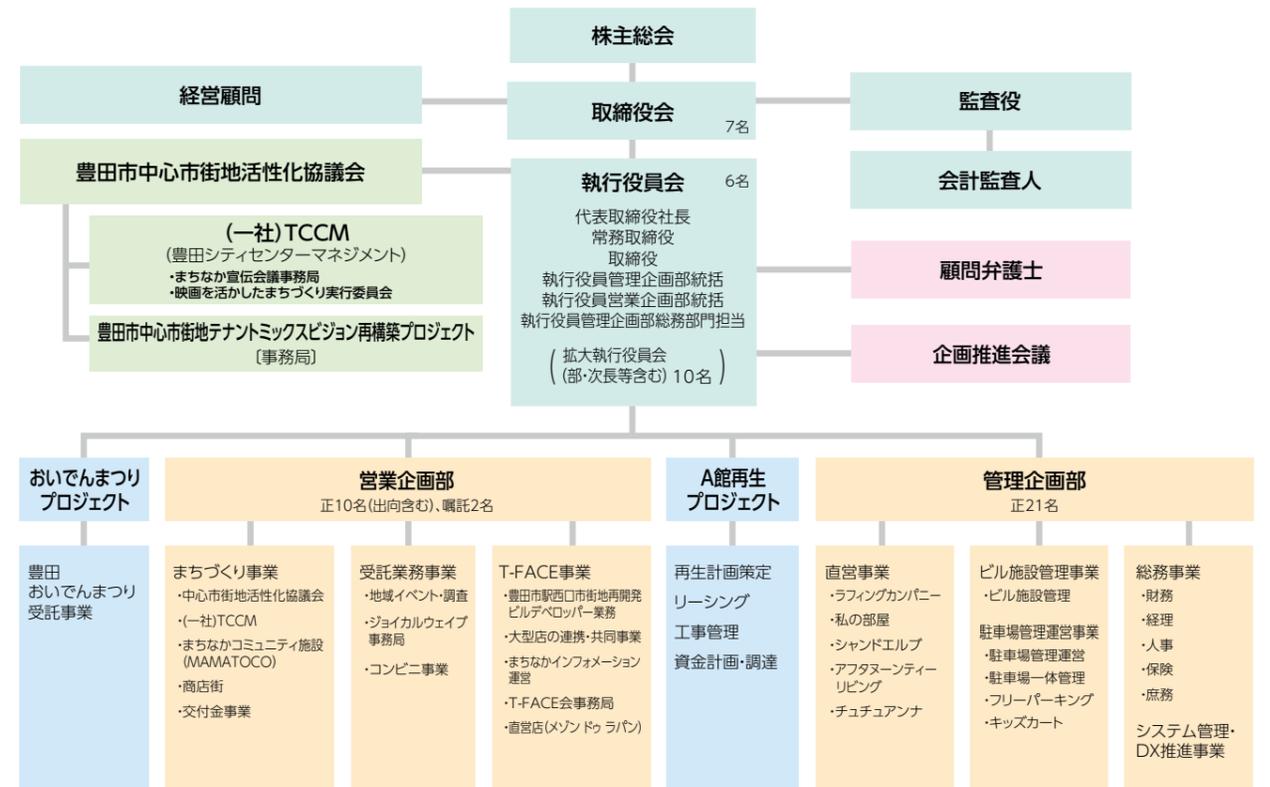
経営課題

1. 駅西再開発ビル再生に向けた取組み
2. 大規模修繕等と再生計画との調整
3. 再生リニューアル及び修繕投資に対応する資金調達策の策定
4. 商業活性化推進交付金事業及び中心市街地活性化基本計画に基づくまちづくり事業の推進
5. 豊田おいでんまつり等各種イベント・調査事業の受託
6. CSRを自覚した企業活動
7. 再生に向けた人事戦略と組織づくり

会社組織と主な業務内容

1. 執行役員会の下に「A館再生プロジェクト」、「おいでんまつりプロジェクト」を位置づけ、責任者(指令系統)を明確にした全社的推進体制とする。
2. 二部制を維持しつつも、横断的なチーム編成を行い、対処すべき業務を専門的に推進する。
3. 企画推進会議を機能させ、共働すべき課題の検討・情報共有の場とする。
4. TCCMの業務推進のため、1名を外向させる。

(2021年4月1日現在)



正:正社員 嘱託:嘱託社員

会社決算推移

連続貸借対照表

(単位:千円)

	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	
資産の部	流動資産	228,284	655,584	688,923	555,685	667,282	713,274	818,673	731,759	776,709
	有形固定資産	7,650,321	7,955,322	7,281,517	7,094,206	6,778,285	6,586,272	6,403,534	6,153,274	5,939,073
	無形固定資産	2,311	2,615	5,782	15,689	13,825	19,210	20,991	15,342	10,537
	投資その他の資産	2,067,258	354,507	81,526	81,509	81,654	104,451	107,380	112,158	127,661
	資産合計	9,948,176	8,968,030	8,057,750	7,747,090	7,541,048	7,423,208	7,350,578	7,012,536	6,847,982
負債・純資産の部	流動負債	1,932,275	1,162,075	712,541	616,665	669,422	707,681	769,770	577,726	608,165
	固定負債	7,758,742	7,376,353	6,868,037	6,627,822	6,335,341	6,095,300	5,865,285	5,636,356	5,377,587
	負債合計	9,511,017	8,538,429	7,580,578	7,244,488	7,004,764	6,802,982	6,633,055	6,214,803	5,985,753
	資本金	490,900	490,900	490,900	490,900	490,900	490,900	490,900	490,900	490,900
	利益準備金							1,472	2,938	4,405
	繰越利益剰余金	△53,740	△61,299	△13,728	11,702	45,383	129,326	227,308	306,772	369,082
	自己株式(△)							2,158	2,158	2,158
	純資産合計	437,159	429,600	477,171	502,602	536,283	620,226	717,523	798,452	862,228
	負債・純資産合計	9,848,176	8,968,030	8,057,750	7,747,090	7,541,048	7,423,208	7,350,578	7,012,536	6,847,982

2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
785,304	818,762	833,456	924,546	690,038	795,898	827,896	706,802	748,916	722,263	851,774
5,887,912	5,774,068	5,671,718	5,337,383	5,340,754	5,074,431	4,875,725	4,736,493	4,613,371	4,425,224	4,177,599
6,590	7,894	47,271	37,884	29,865	20,740	11,353	4,647	4,572	3,657	7,091
111,047	114,500	118,154	125,271	146,241	144,198	144,518	159,883	153,475	126,983	126,691
6,790,854	6,592,830	6,505,175	6,425,086	6,206,899	6,035,269	5,859,493	5,607,827	5,520,336	5,278,128	5,163,157
643,280	635,220	638,869	743,989	756,378	752,037	739,482	660,809	687,215	629,026	695,215
5,347,031	5,082,790	4,906,238	4,680,591	4,422,845	4,168,535	3,909,803	3,672,063	3,503,546	3,270,811	3,054,900
5,990,312	5,718,010	5,545,108	5,424,580	5,179,223	4,920,573	4,649,286	4,332,873	4,190,761	3,899,837	3,750,115
490,900	490,900	490,900	490,900	490,900	490,900	490,900	490,900	490,900	490,900	490,900
5,382	6,360	7,337	8,313	9,289	10,265	11,241	12,217	13,193	14,169	14,169
306,417	379,719	464,740	504,203	530,398	616,441	710,977	774,748	828,392	876,132	910,882
2,158	2,158	2,911	2,911	2,911	2,911	2,911	2,911	2,911	2,911	2,911
800,542	874,820	960,066	1,000,505	1,027,676	1,114,695	1,210,207	1,274,954	1,329,574	1,378,290	1,413,041
6,790,854	6,592,830	6,505,175	6,425,086	6,206,899	6,035,269	5,859,493	5,607,827	5,520,336	5,278,128	5,163,157

連続損益計算書

(単位:千円)

	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
売上高	121,456	2,144,188	2,177,673	2,293,799	2,382,086	2,397,340	2,458,394	2,440,440	2,485,200
売上原価+販売費及び一般管理費	115,822	2,062,574	2,174,341	2,219,543	2,271,595	2,201,561	2,224,802	2,235,975	2,330,571
営業利益	5,634	81,614	3,332	74,255	110,491	195,778	233,592	204,465	154,628
営業外収益	550	6,307	124,583	65,887	83,358	47,055	36,004	36,201	20,137
営業外費用	42,615	98,649	93,638	102,978	103,316	58,437	75,068	55,815	44,697
経常利益	△36,430	△10,727	34,277	37,164	90,533	184,396	194,528	184,851	130,068
特別利益	0	25,676	1,630,308	50,401	621	0	8,934	13,788	19,854
特別損失	0	22,216	1,602,484	51,566	29,855	76,293	12,905	32,508	17,540
税引前当期純利益	△36,430	△7,268	62,100	36,009	61,299	108,102	190,556	166,131	132,382
法人税、住民税及び事業税	302	290	14,529	10,578	27,617	24,160	76,373	70,539	53,944
当期純利益	△36,732	△7,558	47,570	25,430	33,681	83,942	114,182	95,592	78,438
前期繰越利益剰余金	△17,008	△53,740	△61,299	△13,728	11,702	45,383	129,326	227,308	306,772
利益剰余金配当額(△)							14,727	14,662	14,662
利益準備金積立額(△)							1,472	1,466	1,466
繰越利益剰余金	△53,740	△61,299	△13,728	11,702	45,383	129,326	227,308	306,772	369,082

2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
2,424,200	2,480,296	2,599,270	2,647,921	2,804,154	2,969,997	2,931,102	2,867,748	2,790,873	2,738,135	2,326,478
2,256,129	2,298,141	2,411,301	2,512,842	2,695,405	2,850,433	2,757,459	2,801,433	2,624,192	2,586,797	2,229,679
168,071	182,155	187,968	135,079	108,748	119,563	173,643	66,314	166,680	151,338	96,798
19,950	23,554	22,325	23,878	27,191	34,668	28,318	26,224	17,839	17,217	27,842
50,434	44,943	48,160	56,382	41,769	39,451	33,248	34,949	41,241	36,167	32,304
137,587	160,766	162,132	102,574	94,170	114,780	168,713	57,588	143,278	132,389	92,336
22,904	0	1,073	3,865	12,359	211,777	77,169	189,654	29,859	16,464	22,100
116,780	17,168	6,629	20,573	47,999	178,430	90,538	134,678	72,022	23,685	55,827
43,710	143,597	156,576	85,866	58,530	148,127	155,344	112,564	101,114	125,168	58,609
95,622	59,543	60,802	35,667	21,600	51,348	50,073	38,057	36,734	66,691	23,858
△51,911	84,053	95,773	50,199	36,930	96,779	105,271	74,506	64,380	58,476	34,750
369,082	306,417	379,719	464,740	504,203	530,398	616,441	710,977	774,748	828,392	876,132
9,775	9,775	9,775	9,760	9,760	9,760	9,760	9,760	9,760	9,760	9,760
977	977	977	976	976	976	976	976	976	976	976
306,417	379,719	464,740	504,203	530,398	616,441	710,977	774,848	828,392	876,132	910,882

設備投資の状況

(単位:千円)

	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
主な内容	駅西再開発ビル土地・建物、駐車場の取得等	ビル内装、TM若宮P(一部)等	TM若宮P、GAZAビルテナント誘致等	TM若宮P事務所、シティプラザ整備、中央監視システム等	ビル設備・内装、情報セキュリティ等	ビル設備・内装、会計契約管理システム等	ビル設備・内装、入退館・勤怠管理・入室システム等	ビル設備・内装、社内パソコン更新等	ビル設備、直営内装、ビル底地、チャレンジショップ改装等
設備投資 総額	7,729,870	687,894	1,281,808	240,108	67,440	120,971	116,449	50,025	78,628

2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
直営シャンドエルP内装、飲食店ストリート(中活事業)等	B館3・4階、A館7階フロアリニューアル、顧客管理システム	売上管理システム、A館7階フロアリニューアル、荷物用EV等	B館3・5・7階フロアリニューアル、ビル防災設備、TM若宮パーキング店舗リニューアル	T-FACE B館2階フロアリニューアル、直営新規店舗等リニューアル、TM若宮パーキング店舗リニューアル	ビルトイレ整備、ビル設備・内装、駐車場照明・空調設備等	B館7・8階フロアリニューアル、駐車場トイレ・環境整備、A-B館トイレ整備	B館6階フロアリニューアル、駐車場車番認証・環境整備	再開発ビル建物土地取得、駐車場環境整備、直営店内装等	再開発ビル空調設備工事、駐車場環境整備、店舗区画内装等	再開発ビル入退館遠隔監視システム、店舗区画内装等
72,408	58,717	185,856	133,801	308,406	194,207	170,268	275,311	204,194	142,224	33,251

豊田まちづくり(株)の取組み 主な業務内容

車の両輪

豊田まちづくり(株)は、2001年4月、新たな使命を背負って設立された第三セクターの旧TMO法人である。緊急活性化計画の推進とCSRを自覚した株式会社経営の実現は、当社に携わる全ての者が自覚すべき経営責任であり、それは例えるなら、クルマの両輪であり、全輪である。そこに、ヒトモノカネの全体最適配置がされてクルマは走ると考える。例え法が変わろうと、この精神は不変である。



豊田まちづくり(株)の主な事業

》豊田市駅西口市街地再開発ビル管理運営事業

- 魅力があり快適な商業空間とテナントとの良好な共存共栄関係の構築
 - ▶ビル経営戦略の策定
 - ▶ビル全体のテナントミックス、リーシング
 - ▶キーテナント松坂屋との連携事業
 - ▶専門店街T-FACE管理運営業務
 - ▶T-FACE会事務局業務(販促活動、総務活動)

- まちなかインフォメーションの運営

- 店舗の経営ノウハウ習得と魅力ある店舗構成の実現

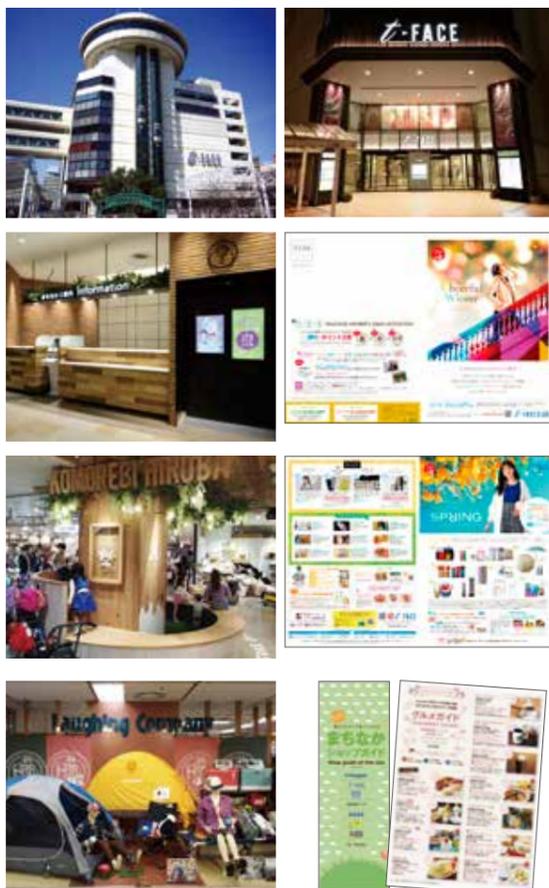
- ▶店舗事業
 - ・ラフティングカンパニー(アウトドア)
 - ・私の部屋(生活雑貨)
 - ・シャンドエルブ(コスメ&ライフスタイル)
 - ・チュチュアンナ(ソックス&インナーウェア)
 - ・アフタヌーンティーリビング(生活雑貨)
 - ・メゾン ドゥ ラパン(アパレル)
 - ・商品開発「ころもはに」(養蜂協力・蜂蜜販売)

- 安心安全で快適なビル環境の整備

- ▶プロパティマネジメント
- ▶一括総合管理方式によるビル管理業務
- ▶防犯および防火防災管理
- ▶設計施工監理・内装工事監理
- ▶エネルギー管理と環境負荷の軽減に向けた取組み

》駐車場関連事業

- 来街者の利便性を高め、良好なアクセス環境を実現
 - ▶駐車場事業
 - ・駐車場の一体管理システムの導入
 - ・官民一体による豊田市都心駐車場環境整備の推進
 - ▶有料駐輪場



》第3期豊田市中心市街地活性化基本計画に基づく事業

- 中心市街地活性化協議会、(一社)TCCMへの人的参画・情報共有
- 中心市街地の商業活性化、アクセス性・回遊性の向上事業
 - ▶中心市街地テナントミックス整備事業
 - ▶まちなかコミュニティ施設連携事業
 - ▶駐車場利便性向上事業

》中心市街地で展開する事業(実績を含む)

- 商業活性化・賑わい創出事業
 - ▶中心市街地大型店の連携共同事業
 - ▶豊田市中心市街地商店街の共働・支援事業
 - ・桜町本通り商店街振興組合(八日朝市)
 - ・西町商店街協同組合
 - ・一番街商店街振興組合
 - ・ひまわり通り商店街(活性化計画の策定)
 - ・豊田市駅前商業協同組合(活性化計画の策定)
 - ・豊田市商業連合協同組合小坂発展会(活性化計画の策定)
 - ▶地域イベント受託・主催・支援事業
 - ▶ジョイカルウェイブ(若者文化創出)
 - ▶蔵カフェ・ショップ&コミュニティスペース「ママトコ」
- 良好なアクセス環境の実現
 - ▶フリーパーキング事業(3時間・5時間駐車場無料サービス)
 - ▶キッズカート共同利用事業
 - ▶飲むならパーキング事業
 - ▶まちなかクリーンアップ活動
- 地域住民によるまちづくり活動を支援
 - ・竹生線沿線4自治区まちづくり協議会
 - ・西桜町地区まちづくりを考える会
- 官民連携まちなか再生推進事業
 - ▶豊田市駅西口エリアまちづくりプラットフォーム
 - ・エリアプラットフォームの構築
 - ・未来ビジョンの策定

》広域のまちづくり活動支援(実績を含む)

- 中心市街地以外の商店街などの活動支援
 - ・足助商工会、足助中央商店街協同組合
 - ・足助の町並みを盛り上げ隊
 - ・王滝町観光まちづくり協議会
 - ・いなぶ観光まちづくりの会
 - ・伊勢神峠を愛する会

》その他事業(実績を含む)

- ▶各種調査受託事業
- ▶損害保険代理店業
- ▶警備業(施設警備・雑踏警備)
- ▶商業店舗誘致事業
 - ・ファミリーマート鞍ヶ池PAハイウェイオアシス店



豊田市駅西口市街地再開発ビル等管理運営事業 1

豊田市駅西口市街地再開発ビルの概要

当社は、豊田市駅西口市街地再開発ビルを所有し賃貸している。キーテナントとして「松坂屋豊田店」を誘致し、専門店街「T-FACE」の管理運営を行っている。また賃貸事業の一環として、直営店事業を展開している。

》再開発ビル営業の再生

1988年10月に竣工した豊田市駅西口市街地再開発ビルは、A館、B館のツインビルで、百貨店「豊田そごう」(A館全館・B館4階～11階)とファッション専門店街「T-FACE」(B館1階～3階)の複合ビルとしてスタートした。

2000年12月に豊田そごうの閉店後、A館1階～6階に「松坂屋豊田店」を誘致、その他のフロアのすべてを専門店街「T-FACE」として再オープンに至った。

商業施設としての鮮度を保ち、その時代に合った顧客ニーズに応えるため、計画的にフロア単位のリニューアルを行っている。加えて、サードプレイスとしてのワクワク感、居心地の良さや集いやすさを提供する商環境にすべく、トイレの改修や休憩スペースの整備、貸しイベントスペースの整備に順次取り組んでいる。

なお、松坂屋豊田店が2021年9月で営業終了を予定しており、その後まちなかの不足業種等を誘致し全館をT-FACEとして運営を行う。

》再開発ビルフロアマップ



》施設概要

建物名称 豊田市駅西口市街地再開発ビル
 建物面積 延床面積 66,519㎡(A館:43,466㎡ B館:23,020㎡)
 店舗面積 松坂屋豊田店 19,500㎡
 T-FACE 物販 15,282㎡※ 飲食・サービス 5,276㎡※ ※共用部含む
 店舗数 90店舗(教室、公共施設含む・2021年4月現在)

》再開発ビル管理運営にあたっての基本的な考え方

- ①当再開発ビルが豊田市中心市街地商業の中心核であり、その役割を完遂させることが中心市街地活性化における当社の社会的責任であるとの自覚の下、地域の大型店、商業者他地域コミュニティと連携・協働して活性化を進めることを重要としている。
- ②商業デベロッパーとして自らが、明確な経営ビジョン・コンセプトを保持し、共存共栄の理念を持って、専門店テナントと共にお客様に喜んでいただける魅力的な商業空間を創造する。
- ③的確な「情報」「知識」「創造性」を持って、提案型・未来志向性あるビル運営を目指す。

専門店街「T-FACE」の管理運営事業

》T-FACEコンセプト

ヤングからヤングマインドを持った、ファッション・流行に敏感な女性をメインターゲットとし、都市型ファッションビルとして、常に新しい情報を発信する役割を担う。

》SCデベロッパー業務

一般にSCデベロッパーとは、保有床にテナントを誘致し、個別の賃貸借契約で収益を得て、自らのショッピングセンターを管理運営している管理会社である。

T-FACEでも、20,558㎡の店舗区画に、約90店舗のテナントを誘致して区画の賃貸借を行っている。しかし、T-FACEの管理運営においては、不動産管理や施設管理だけを業務としないマーチャンダイジングデベロッパーとして、テナントとの共同発展を目指した日常の店舗運営にも深く携わり、①マーケター ②プランナー ③オペレーター の3つの役割を持ち、加えて④CS、ES活動にも取り組んでいる。

① マーケター機能(市場把握)

市場規模、商圈競合、ニーズ&シーズ、予実差益分析、ローコスト化推進、顧客分析、現状調査、トレンド把握

② プランナー機能(経営戦略)

ビルの中短期計画、MDの方向性～コンセプト、まちづくり計画、キーテナントおよび大型店間の回遊計画、テナントミックスプラン遂行、CIプラン、リニューアル計画、販売促進環境計画、T-FACE会の企画運営

③ オペレーター機能(日常営業)

売上管理業務、営業管理、MDの遂行、CI維持、ショップサポート、研修講師、安全衛生管理、防犯防災管理、救急救護、T-FACEまちなかインフォメーション運営、店舗入れ替え、退店対応、新店対応、契約管理、工事監理、貸しイベントスペース事業、地域とのコミュニケーション機能の充実、T-FACE会の運営

④ CS・ES活動

(CS)
T-FACE全フロアのフロアコンセプトに基づいたトイレの改修、まちなかクリーンアップ活動、来店客調査の運営主体、まちなかインフォメーションでの各種サービス
 (ES)
T-FACEクルー休憩室の整備、クルーのライフアップセミナー実施、販売士資格の対策講座実施



T-FACEホームページ

<https://www.t-face.com/>



豊田市駅西口市街地再開発ビル等管理運営事業 2

T-FACE会事務局業務

T-FACEに出店しているテナントとデベロッパーである豊田まちづくり(株)で、専門店のテナント会「T-FACE会」を組成している。豊田まちづくり(株)はT-FACE会の事務局を担当し、会員からのテナント会費を独立した予算で、
①共同の販促活動、②総務活動(従業員教育、福利厚生、会議)の公正な運用にあっている。
尚、会長、副会長、監査役は、豊田まちづくり(株)以外のテナントの本部、オーナーに務めていただいている。

① 販促活動

直近1年間の売上、顧客データをもとに翌年の戦略の方向性を決め、年間を通じて取組む。その戦略をベースに、季節毎の営業企画を組み立てる。戦略の中でも最も重要な位置にあるのが顧客施策で、高い反応率を持ち、売上の牽引役として一般販促とは別の計画を持って取組んでいる。また、今後増える競合施設への対抗策として、駅前立地を活かした平日立ち寄り動機の増設に力を入れている。

主な活動

館内装飾、告知広告、交通広告、パブリシティ、ホームページ、メールマガジン、SNS、セールスプロモーション、集客イベント、T-FACE CLUB運営、T-FACE CLUB分析、スターメンバー、U25T-YOUTH、会員育成(クラスターズ施策)、店長向けマーケティング研修、ショップ分析レポート作成、エリアとの共同販促、まちなか宣伝会議、まちなか放送 など



② 総務活動

総務活動の中でも、スキルアップ研修と従業員満足(ES)は、年々重要度が増してきている。その2つは直接的な販促策ではないが、販促に直結しており、またお客様満足(CS)に繋がるもので、T-FACE会総務活動の中でも注力している項目である。

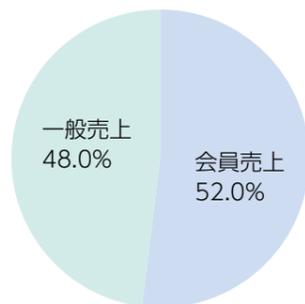
主な活動

店長会、業種別店長会、フロア朝礼、T-FACE会理事会、総会、スキルアップ研修、OJT研修(web研修含む)、まちなかクリーンアップ大作戦、店長懇親会、ショップグループ交流パーティー、来店客調査、覆面調査、T-FACE CLUB会員調査、ディスプレイコンテスト、年間競争、健康診断・インフルエンザ予防接種の斡旋 など

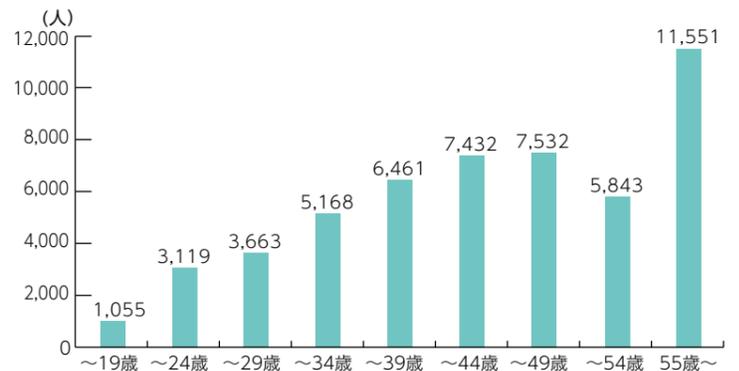


T-FACE CLUB 会員データ(2020年度実績)

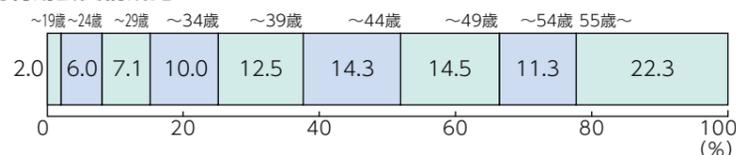
売上構成比



年齢別利用会員数



年齢別利用会員構成比



フロアリニューアル実績

豊田市中心市街地テナントミックスビジョンに基づき以下の通りフロアリニューアルを実施した。

リニューアル対象	B館T-FACE4階(無印良品)
売場面積	332.01坪(倉庫含む)→453.75坪(倉庫含む)
オープン日	2018年9月28日
特徴	増床とともに衣料品、家具の品揃えを増やし全面リニューアルを実施。外光が入るライブラリースペースでは、ゆっくりと無印良品のオリジナルコーヒーや本を楽しむことができる他、キッズスペースも設置された。
リニューアル対象	A館T-FACE9階(とよた子育て総合支援センター「あいあい」)
売場面積	338.32坪→359.00坪
オープン日	2018年11月23日
特徴	豊田市産木材を使った木育空間としてリニューアルを実施。よちよちゾーン、わんぱくゾーン、せいさくゾーン、みはらしテラス(飲食可)、多目的ホール・サークル室などがあり、様々な目的に合わせ、親子で楽しく利用できるスペースとなった。

貸しイベントスペース事業

ワクワク感や居心地のよさ、集いやすさを提供する場として多種多様なイベントスペースを設置し、地元企業、団体を中心に貸出しを行っている。

B館T-FACE6階 T-sideスクエア

人の滞留づくりや付加価値づくりのために、フロアの雰囲気合う催事を誘致。

面積	約4.7坪(約16㎡)
利用実績	デモンストレーションを伴う物販(コーヒー試飲など)、ワークショップ

B館T-FACE7階 ナナのへや

特定人数でのクローズド企画向けスペース。普段はT-FACE CLUB会員限定ルームとして開放。

面積	約20坪(約66㎡)
利用実績	ミーティング、セミナー、勉強会、サークル活動 など

B館T-FACE8階 ごちそうダイニング広場

飲食店フロアの中心に位置するオープンイベント向けスペース。

面積	約6坪(約20㎡)
利用実績	小規模の物販、タッチアンドトライ、デモンストレーション、音楽活動 など

B館T-FACE1階 シティプラザ

駅からすぐで飲食店隣接の好立地にある大規模催事向け屋外スペース。

面積	会場・ステージ全体 約900㎡/ステージ 約3.6㎡
利用実績	大規模な集客イベント(キャラクターショー、コンサート)、企業PR(車両展示) など



豊田市駅西口市街地再開発ビル等管理運営事業 3

店舗事業

豊田市のまちづくりのために、地域発展・商業活性化に寄与する店舗事業を推進。
T-FACEにおいて2021年4月1日現在6店舗を直接経営・運営し、事業目的の達成を目指す。

〈店舗事業の目的〉

- ・店舗経営・運営のノウハウの蓄積・収益基幹事業確立・出店フロアの集客力向上・T-FACE不足業種の補完
- ・将来新たな店舗運営の取組みなど、店舗事業の拡大

■ラフイングカンパニー (アウトドア)



Laughing Company
OUTDOOR FUNS FIELD SINCE 1994

1994年10月/豊田市広路町オープン
2002年3月/A館T-FACE8階リニューアルオープン
2013年3月/増床リニューアルオープン
店舗面積/100坪
<http://laughing-company.jp/>



■私の部屋 (生活雑貨)



私の部屋
WATASHI NO HEYA

2009年4月より豊田まちづくり(株)運営
2018年3月/B館T-FACE6階
リニューアルオープン
店舗面積/39.2坪

一般社団法人日本専門店協会
全国専門店ディスプレイコンテスト
ライフスタイル賞受賞

■シャンドエルブ (コスメ&ライフスタイル)



2010年10月/B館T-FACE1階オープン
店舗面積/25.8坪

■アフタヌーンティーリビング (生活雑貨)



Afternoon Tea
LIVING

2015年3月/B館T-FACE2階オープン
店舗面積/39.8坪

■メゾン ドゥ ラパン (アパレル)



MAISON DE
LAPIN

2015年3月/B館T-FACE2階オープン
店舗面積/39.8坪

■チュチュアンナ (ソックス&インナーウェア)



tutu.anna.

2018年9月/B館T-FACE1階オープン
店舗面積/25.55坪

■商品開発「ころもはにい」(養蜂協力・蜂蜜販売) B館T-FACE屋上で採蜜



2016年6月/B館T-FACE屋上 養蜂開始
養蜂期間:春~夏
養蜂を通じて豊田のまちなかをもっと知ってもらいたいという思いで始めた活動。「まちなかで採れたオンリーワンの蜂蜜をもっと知っていただき豊田市を元気に、今よりもっと豊田市を好きになってもらいたい。」そんな願いを込めたプロジェクト。
※「私の部屋」にて販売中。

豊田市中心市街地大型店の連携・共同事業

事業目的

豊田市中心市街地活性化の商業集客核として、また当エリアにおける各業態の役割達成状況を相互に確認し、異業態間の相乗効果・回遊性等を考慮した改善案の策定と、実現のための方策を探り、既存大型店を有機的に連動させ、一つの大型ショッピングモール並みの回遊性・楽しさを創出し、より一層の集客を図ることを目的とする。

また、中心市街地活性化協議会に属するテナントミックスビジョン再構築プロジェクト会議の実働的な役割も担い、MD再構築に関わる各商業施設の情報共有に加え、調査検証事業やテナントリーシングに必要とされる情報交換も実施する。

参加商業施設

商業施設名	業種
松坂屋豊田店	百貨店
GAZA	専門店街
メグリアセントレ	S M
名鉄豊田プラザ	駅高架下専門店街
T-FACE	専門店街
VITS TOYOTA TOWN	専門店街
コモ・スクエア	専門店街
KITARA	シネコン・専門店街

主な活動実績

2005年度 大型店テナントミックス研究会発足

2006年度 各大型店の方向性の確認、MDプラン作成

2007年度 今後の推進プラン作成

- ・各大型店の現状把握と郊外SCの分析
- ・大型店の役割を共通認識
- ・マーケット把握からのMDプランの作成
- ・市民ニーズの高い不足業態・業種の把握

2008年度 大型店をつなぎ、ショッピングモール化へ

2009年度 回遊モデルルートの作成

2010年度 大型店共同販促回遊企画の実施

- ・5年後をイメージした各社MDプランの更新、実施および共通認識
- ・回遊性・魅力向上に向けたベダストリアンデッキでのBGM放送開始
- ・回遊モデルルートの作成と現状のルート内の不具合箇所の確認
- ・EXILEコンサート開催に合わせて回遊イベントの開催
- ・大型店のMD・リーシング担当者による情報交換会開催

2011年度、2012年度、2013年度 大型店独自の共同企画開催

- ・大型店共同の回遊企画「サンクスフェスタ」の開催
- ・年2回のまちなか清掃開催
- ・大型店のMD・リーシング担当者による情報交換会開催

2014年度、2015年度、2016年度 わかりやすさ、おもてなし向上

- ・大型店共同ショップガイド作成
- ・年1回のまちなか清掃開催
- ・大型店全店でのおもてなしコンテスト開催

2017年度、2018年度、2019年度 近隣にOPENした競合大型SC対策

- ・「とよたまちなかこどもタウン」開催
- ・大型店共同ショップガイド作成
- ・年1回のまちなか清掃開催
- ・インバウンド対応セミナー開催



EXILEコンサート開催に合わせた回遊イベント



2020年度の活動実績

①WE LOVE とよた応援商品券チラシ作成

折込日	2020年10月3日
折込部数	50,000部
参加施設	松坂屋豊田店、T-FACE、GAZA、メグリアセントレ、名鉄豊田プラザ、VITS、コモ・スクエア、KITARA
目的	WE LOVE とよた応援商品券を大型店でご利用いただくための利用可能店舗、利用時のサービスのご案内
内容	・利用可能店舗案内 ・商品券利用でのサービス紹介 ・直近の各大型店の営業企画等紹介



②オフピークタイムdeショッピング開催

開催期間	2021年4月1日～28日 ※3月1日～31日で計画していたが、愛知県の飲食店時短要請により4月に順送り実施
参加施設	松坂屋豊田店、T-FACE、GAZA、メグリアセントレ、コモ・スクエア、KITARA
目的	オフピークタイム(平日14:00-18:00、20:00-22:00)の利用促進、大型店間の回遊促進
内容	オフピークタイムに、大型店のどこかをご利用いただく、スマホ上のデジタルポイントカードにスタンプが押される。スタンプが5つたまると、希望の大型店で使える商品券と交換できる。



③各大型店のリーシングによる豊田市駅周辺への集客力増強(リニューアル、新店導入他)及び現状に沿ったMDプランの見直し、問題点の洗い出し

- ・会議内でのリーシング情報交換
- ・各大型店ごとのリーシング、新店導入交渉

④大型店共通ショップガイドの作成

配布期間	①2020年4月1日～ ②2021年3月31日～
発行枚数	①15,000部 ②10,000部
目的	豊田市駅周辺の店舗配置のわかりづらさを解消することで、回遊性の向上、滞留時間の延長をもくろむ。子育て機能やシネマチケットの情報なども掲載。またコロナ禍も踏まえ、出退店の情報整理も行った。



⑤熱血まちなか清掃の実施(10月)

※新型コロナウイルスの影響により中止

管理事業

プロパティマネジメント

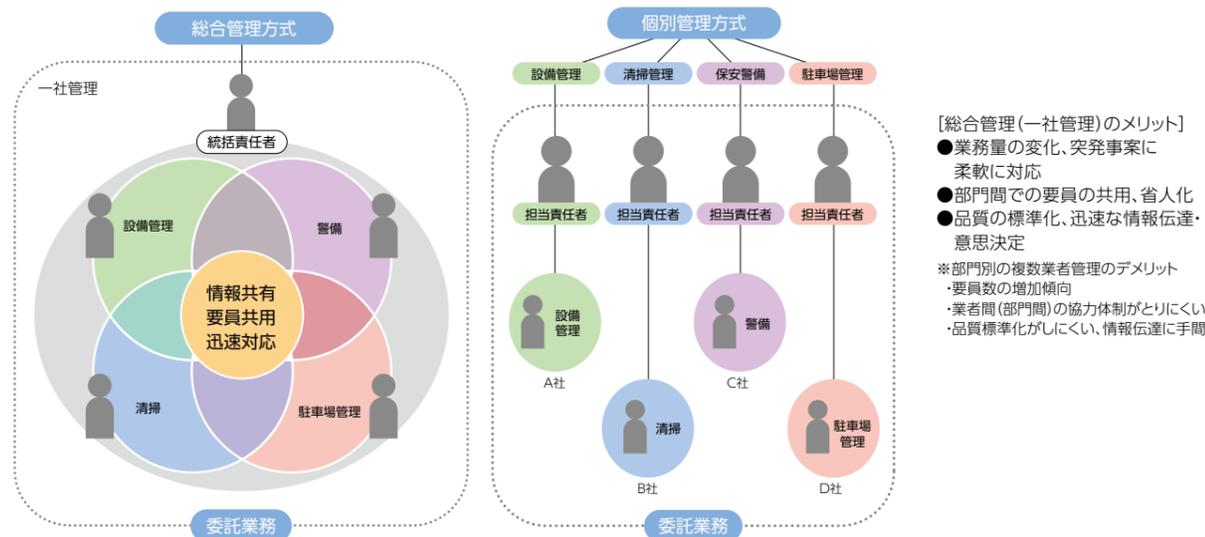
賃貸料等の収益力を高め、管理費用の最小化により収益の最大化を図る。日常的なビルメンテナンス業務にとどまらず、入居いただくテナントが安定した実績をあげるためにも、計画的な投資を行い、ビルの資産価値(商品価値)向上を目的とした「プロパティマネジメント」に取り組んでいる。

管理事業においては、安心安全で快適なビル環境づくりを原点に、「設備管理」「清掃管理」「保安警備」などのマネジメントをはじめ、ビルやまちにとって重要な付帯施設である「駐車場の経営と維持管理」を担い、常に変化する経営環境や様々なリスクに対応しながら総合的な管理事業を推進している。

- 資産価値向上 効率的な中長期修繕更新計画の策定と実施(建物設備、フロア改装)
- 被害軽減と抑止 お客様施設等の設備事故防止、防犯及び防火防災管理
- 衛生・環境管理 ビル衛生管理、食品衛生管理、環境管理、緑化事業・環境負荷の軽減に向けた取り組み
- 専門分野の内製化 設計施工監理、内装工事監理
- エネルギー管理 設備の効率化運転や省エネ機器の導入

》ビルメンテナンス業務の一括総合管理

管理対象物件の特徴から、業者一社で設備管理、清掃、警備業務を担う総合管理方式を採用。本来のメンテナンス業務に併せ、緊急時の迅速な対応や作業量の急な変化にも対応が可能で、延床面積6万6千㎡超の大型物件の管理にスピードと効率化を追求することができる。業者の選定は入札金額のみならず、独自の技術や管理手法に新たな提案を求め、それらも選考条件とする「提案型見積競争入札」を実施。



》事業継続計画(BCP)策定の取り組み及び『豊田市駅・新豊田駅周辺の帰宅困難者対策推進協議会』への参画

東海地震や東南海地震など南海トラフを震源域とした大規模地震の発生が懸念されるなか、2012年度より会社事業方針に新たに「防災の取組み」を追加し、大規模地震などの災害に備えBCPの策定に取り組んでいる。2017年3月には新たに豊田市が中心となって設立した『豊田市駅・新豊田駅周辺の帰宅困難者対策推進協議会』へ参画。震災、風水害等の発生時に豊田市駅・新豊田駅周辺において交通機関等が途絶した場合の帰宅困難者の受入を目的に駅西再開発ビルの一部を一時待機場所として提供するとともに、駅周辺の防災・減災意識の向上による“安全安心な環境づくり”の推進を行う。

》ビル内物流拠点無人化への取組み

ビル総合管理委託業務の警備に係る経費削減を目的に、従業員・納品の入退館口にICカード管理機器、監視カメラを設置し、整備を進めている。これまで外部から商業施設バックヤード区画への入退館及びエレベーター乗車監視を警備員常駐で実施してきたが、この整備により恒常的な警備員不足への対応、セキュリティ強化、ビルメンテナンス業務費用効率化の実現を目指す。また、定点監視業務ノウハウを蓄積することで、現在実施している日常的な設備監視・点検、さらには客用施設利用の滞留客に応じた空調、清掃等ビル管理スタッフの効率的かつ最適配置へ活用する。

》新型コロナウイルス感染症拡大防止策の実施

T-FACEを安全安心にご利用いただくため、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、以下の施策を実施。

- お客様出入口…「安全にご来館いただくための注意喚起ポスター」、「自動手指消毒噴霧器」、「検温器」を設置し、入館時のマスク着用依頼と検温
- 従業員入退館口での検温実施とマスク着用監視
- 館内エレベーター利用の人数制限
- 館内休憩スペースのソーシャルディスタンスマーク設置
- 各トイレにアルコール消毒液設置
- 巡回警備員によるマスク着用の監視、及び未着用者への注意(必要に応じてマスク配布)
- 連絡通路での検温とマスク着用の監視



》共同防火防災管理協議会

豊田まちづくり(株)、松坂屋豊田店、ビルメンテナンス会社で構成する共同防火防災管理協議会。災害の被害軽減や防止を目的に、自衛消防組織の整備と訓練、消防計画の効果的実施についての協議、災害発災の対応研究などに取り組んでいる。こうした取り組みが評価され、防火優良事業所として2011年度豊田市防火危険物安全協会会長表彰を受賞。2012年11月30日、豊田まちづくり(株)が消防法令の遵守状況が優良な施設として、防火防災特例認定の市内第1号を取得。

》防災訓練・救命講習・フロア別防災研修

災害発生やその他の緊急時において人命の安全確保を最優先に考え、適切な行動、被害の拡大防止に努めることができるようにビル従事者(T-FACEクルー、松坂屋スタッフ等)を対象に、年間を通じて防災訓練、救命講習、フロア別防災研修を開催。



》防犯講習会

T-FACE女性クルー(従業員)を対象に、防犯講習会を実施。豊田警察署生活安全課の協力をいただき、犯罪の傾向と対策などの座学や、護身術などの実技体験講習などを開催。



》食品衛生管理

豊田市保健所から講師を派遣いただき、飲食店のクルーに対する衛生管理意識の啓発啓蒙、食中毒予防などに関する食品衛生管理講習会を行っている。この他にも、飲食店の衛生管理の健全化を目的とした「衛生パトロール」、下水排水の適正管理のための「グリストラップ点検」を実施し、衛生管理に努めている。



警備業

イベントなどのプロモーション事業において、雑踏警備や施設警備など、警備業務を要件とした業務の受託に対応すべく、豊田まちづくり(株)が自ら警備業認定を取得。公安当局の指導のもと、発注者との綿密な打ち合わせを行い、強固な警備体制を構築。常に安全な管理運営を目指している。 2009年警備業認定取得

損害保険代理店業

ビルや駐車場などの日常的な管理運営や、イベント事業などの実施に伴う様々なリスクをカバーするための損害保険代理店事業を展開。また、自動車、火災、傷害保険の取扱いによりお客様の事業内容や状況に併せて、補償設計を提案している。
[取扱保険会社] ※2021年4月1日現在
三井住友海上火災保険(株)、あいおいニッセイ同和損害保険(株)、東京海上日動火災保険(株)

駐車場事業

駐車場の管理運営

》管理者業務委託と一般業務委託の分離発注

ビルデベロッパーの「管理者業務委託」と業者への「一般業務委託」を分離して発注することで、それぞれの役割と責任を明確化、適正かつ効率的な駐車場管理により、駐車場利用者(来街者)へのおもてなしを図る。

■管理者業務

- ◆自社管理ビルの来館者が利用する付帯駐車場の管理
- ◆安心、安全、快適な駐車場運営を実現するため課題問題の把握と改善策の実行
 - (1) 駐車場利用者(ビル来館者)対応
 - (2) 駐車場の営業や利用状況に係る情報提供及びまちなかの情報共有
 - (3) 突発事案、管理月報等の報告業務
 - (4) 駐車場管理(工事・修繕等)に係る関係テナント等への連絡、調整
 - (5) 防火防災管理に係る諸対応及び災害発生時の必要な対応

■一般業務

- ◆利用客が安心、安全、快適に利用できる駐車場環境の維持管理
- ◆駐車場遠隔監視システムを活用した駐車場管理業務の実施
 - (1) 駐車場利用者対応(各種受付業務含む)
 - (2) 警備業務
 - (3) 清掃業務
 - (4) 設備保守点検

》駐車場一体管理と遠隔監視システムを活用した駐車場業務の効率化

一般業務の委託先をまとめ、駐車場を一体的に管理することで、スケールメリットによるコストダウン、業務クオリティの向上・平準化を図る。また、駐車場内に多数の監視カメラを設置し、それらのカメラと連動した駐車場管制機器(インターフォン、入出庫ゲートや精算機など)を遠隔で操作するシステム(遠隔監視システム)を導入することで、迅速なお客様対応と係員の省人化を図る。

》駐車場一体管理業務概要図(遠隔監視システム概要図) ※2021年4月現在



》駐車場概要

	自社所有等5駐車場					豊田市所有6駐車場					
	第1駐車場	第2駐車場	若宮駐車場	昭和町駐車場	TM若宮パーキング	新豊田駅地下駐車場	喜多町駐車場	ギャザパーキング	豊田参合館駐車場	コモパーキング	キタラパーキング
開業年	1988年	1988年	1988年	1995年	2004年	1983年	1995年	1995年	1998年	2006年	2017年
収容台数	313台	109台	483台	220台	412台	127台	520台	223台	112台	245台	289台
営業時間	6:30~25:00	7:00~23:00	7:00~23:00	7:00~23:00	24時間	6:00~23:40	24時間	24時間	24時間	24時間	24時間
料金	150円/30分										
車両制限	全長5.0m 全幅1.8m 全高2.1m	全長5.0m 全幅1.8m 全高2.0m	全長5.0m 全幅1.8m 全高2.1m	全長5.0m 全幅1.8m 全高2.1m	全長5.0m 全幅2.0m 全高2.1m	全長5.0m 全幅2.0m 全高2.0m	全長5.0m 全幅1.8m 全高2.1m	全長5.0m 全幅1.8m 全高2.1m	全長5.0m 全幅1.8m 全高2.1m	全長5.0m 全幅1.8m 全高2.1m	全長5.0m 全幅1.8m 全高2.1m

》駐車場サービス

》利用しやすく、とめやすい駐車場

2016年度より、豊田市中心部の駐車場の不快さ(暗い、汚い、怖い)を解消するため、縁部部駐車場の環境整備を実施。混雑駐車場の渋滞緩和、利用の平準化に向け、豊田市と豊田まちづくり(株)が共働して、豊田市都心駐車場計画に基づく「駐車場リニューアル(環境整備)」を推進中。



図① 車番認証システム

駐車場	車番認証システム(図①)	まねき灯(写真②)	場内誘導サイン(写真②)	多目的トイレ(写真③)	ハートフルスペース*	防犯カメラ
第1駐車場	●		●	●	●	●
若宮駐車場	●	●	●	●	●	●
昭和町駐車場			●	●		●
TM若宮パーキング	●		●	☆	●	●
新豊田駅地下駐車場	●	●	●	●	●	●
喜多町駐車場	●	●	●	●	●	●
ギャザパーキング	●	●	●		●	●
豊田参合館駐車場	●	●	●		●	●
コモパーキング	●	●	●		●	●
キタラパーキング	●	●	●		☆	●

※車いす利用者以外の弱者(妊婦、ベビーカー利用者、歩行補助杖利用者など)向けのスペース
●…導入・設置済(☆…竣工時に導入済み)



写真② まねき灯・場内誘導サイン



写真③ 多目的トイレ

》ビジネスにも便利! 平日日最大料金700円

昭和町駐車場
平日の利用促進を目的に営業時間内に限り、1日の駐車料金が上限700円で利用可能。2010年8月より開始。

※駐車場営業時間内(7~23時)



》プラグインハイブリッド(PHV)、電気自動車(EV)普通・急速充電ステーション

TM若宮パーキング 喜多町駐車場 キタラパーキング

入庫前でも空き状況がわかるよう外部に専用満空サインを設置し、24時間いつでも利用できる普通充電ステーションを駐車場内に整備。(利用料金1時間100円)
キタラパーキングには急速充電ステーションも配置し、より利便性を向上。(利用料金10分100円)



フリーパーキング事業

》導入の背景

「駐車料金が安い!」「どの駐車場に停めたらよいかわからない!」など、中心市街地駐車場に関する課題が山積みの中、駐車サービスの一元管理[3時間無料サービス・フリーパーキングシステム]の展開により、駐車場問題の解決に向けスタートした。また、シネマコンプレックス等、中心市街地周辺のエンターテインメント施設(エンタメ施設)利用を含め、時間を気にせず、まちなかをゆっくり楽しめるよう最大5時間分が無料になる『フリーパーキング・プラス』を導入した。

》事業概要

- 目的** 中心市街地への来街促進と駐車場の利便性向上
- 事業開始** 2003年4月1日(フリーパーキング)・2017年11月1日(フリーパーキング・プラス)
- 事業内容** 利用者の加盟店利用を条件に、駐車料金3時間または5時間(指定の駐車場利用、指定の認証が必要)無料サービスを提供
- ① 商店、事業所、公共施設等との加盟店契約の締結・更新・解約、利用料金の収受
 - ② 駐車場事業者との駐車場利用等に関する契約の締結・更新、借上げ料の支払い
 - ③ 加盟店および加盟駐車場の利用状況等の情報一元管理
 - ④ 駐車場利用状況のデータ分析による中心市街地活性化策への活用
 - ⑤ フリーパーキングシステム利用促進の取組み
- システム導入** 経済産業省「中心市街地商業等活性化総合支援事業費補助金」
豊田市「豊田市中心小企業団体等事業費補助金」

》事業の仕組み

利用者(お客様)

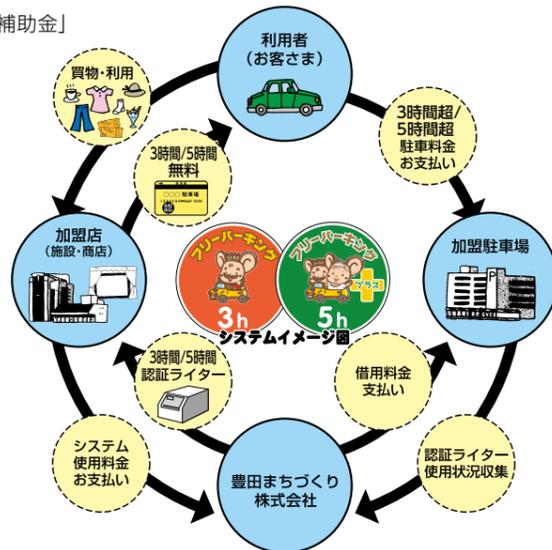
加盟店での買物または施設利用で、駐車券に3時間無料サービスの認証または5時間無料サービスの認証(エンタメ施設のうち1施設での認証と、その他の加盟店での認証の計2回の認証)を受け駐車場を利用(超過分の駐車料金は利用者負担)

加盟駐車場

駐車場事業者と当社が駐車場利用等に関する契約を締結し、当社から駐車場事業者に対し借用料(借上料)の支払い

加盟店(店舗・施設・事業所)

加盟店契約後、利用者への駐車料金最大3時間または5時間(指定の駐車場利用、指定の認証が必要)無料サービスの提供と利用料金の支払い



》加盟店の利用料金(認証ライター保守料+システム利用料) ※2021年4月1日現在

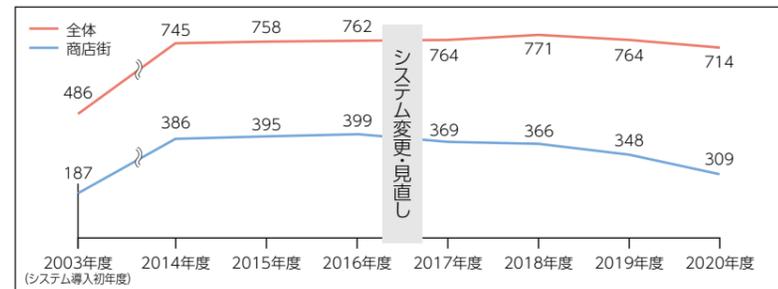
(消費税込)

利用料金(月額)	加盟初年度(※1)		次年度以降	
	認証ライター保守料	システム利用料	認証ライター保守料	システム利用料
商店街加入	550円	550円	550円	利用実績額(※2)×25%
商店街未加入	550円	4,950円	550円	利用実績額(※2)×50%

※1 本事業は毎年4月から翌年3月末を事業年度とし、年度途中の加盟は加盟月から3ヶ月間を初年度として期間を設定。
※2 利用実績額は、加盟店の利用実績データに基づき、別に定める認証利用料金算出表にて算出。

》商店街入会の加盟店(認証ライター設置数)の推移

単位:台



※2017年度よりライター機器変更。設定台数の見直しをしている。

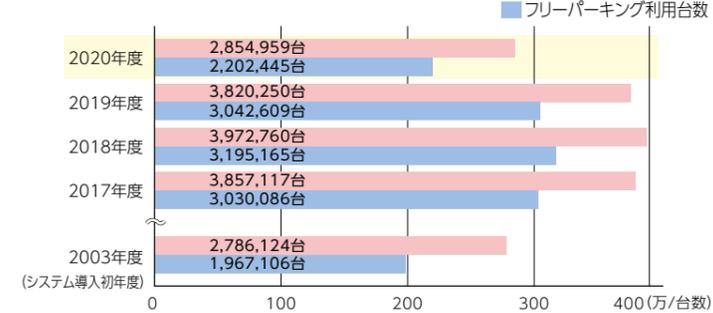
“面的なサービスの提供”

フリーパーキングスタート時、どこでもサービスを受けられるよう店舗数の確保と面的なサービス提供のために、中心市街地の商店街に多数加盟いただき、早期普及と定着化を図る。また、商店街入会のメリットとして、システム利用料の割引率75%(25%負担)を設定。結果として、現在も商店街への入会店が増え続け、フリーパーキングの利用促進と商店街の加入促進に寄与。

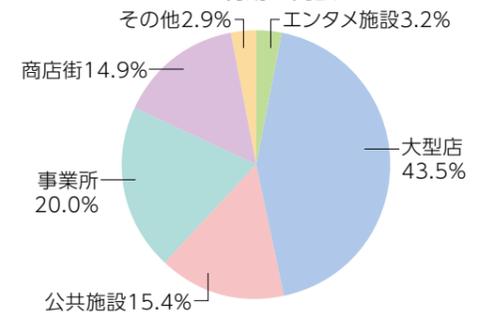
》フリーパーキング利用状況 ※2021年3月31日現在

※2020年度は新型コロナウイルスの影響により大きく減少

フリーパーキング利用台数の推移



フリーパーキング利用の内訳



利用促進の取組み ホームページ <http://tm-freeparking.com/>



特定駐車場の利用集中を緩和するため、ホームページで加盟駐車場情報(満空情報・混雑状況)をリアルタイムにわかりやすく紹介。全加盟店をジャンル別に紹介。お客様が利用したいお店を探すことができる。加盟駐車場・加盟店の紹介を充実させ、更なる利便性の向上を目指す。



》フリーパーキング・プラス

これまでの3時間駐車無料サービス「フリーパーキング」に加え、最大5時間駐車無料サービス「フリーパーキング・プラス」をスタート。

2017年11月にオープンしたイオンシネマ豊田など中心市街地4ヶ所のエンタメ施設のうち1施設を利用すると追加でもう1回の認証が受けられ、これまでの3時間無料にさらに2時間プラスして最大5時間分の駐車料金が無料となる。映画を見て、食事やお買い物をして時間を気にせず、ゆっくり豊田のまちなかをお楽しみいただくことができる。

フリーパーキング・プラス

最大5時間無料

サービスの利用方法

STEP.1 フリーパーキング・プラス対象駐車場に駐車する。(8駐車場)

STEP.2 対象エンタメ施設を利用し、駐車券にスタンプ(認証)を受ける。

STEP.3 さらに、フリーパーキング加盟店でスタンプ(認証)を受ける。

フリーパーキング・プラス対象エンタメ施設でスタンプ

+

フリーパーキング加盟店でスタンプ

or

フリーパーキング・プラス対象エンタメ施設でスタンプ

+

フリーパーキング・プラス対象エンタメ施設でスタンプ

フリーパーキング・プラス対象対象駐車場

- 第2駐車場
- 若宮駐車場
- 昭和町駐車場
- 喜多町駐車場

フリーパーキング・プラス対象エンタメ施設

- イオンシネマ豊田KITARA
- 豊田市美術館
- 豊田市コンサートホール
- 豊田市能楽堂

おもてなし事業

飲むならパーキング事業

中心市街地7ヶ所の指定駐車場(24時間営業、2,244台収容)で、お酒を飲んだ方のおクルマを一晚低額料金でお預りする駐車サービス。「飲酒運転防止」と「夜の賑わいづくり」の一助として2006年12月から実施。加盟店で飲酒するお客様は夕方5時から翌日正午までの間、500円で駐車できる。加盟店は駐車場から、1枚500円でチケットを購入し、お客様に販売。

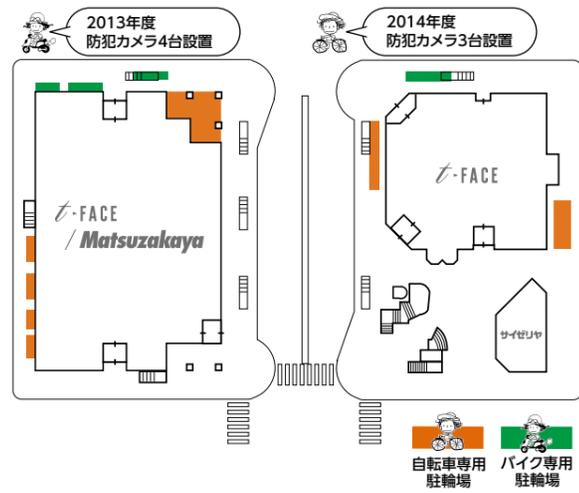
事業主体 豊田まちづくり(株)
 事業協力 カシマゴビルディング(株)、豊田市
 駐車場 ヴィッツ駐車場、新豊田駅西駐車場、TM若宮パーキング、喜多町駐車場、ギャザパーキング、豊田参合館駐車場、コモパーキング



有料駐輪場

お客様がとめられない駐輪場、自転車やバイクが歩道をふさぐ…、松坂屋・T-FACE周辺の放置自転車、違法駐輪の問題解決策として、2006年4月、自転車駐輪場を有料化。商業施設のお客様向けに最初の3時間は無料、その後12時間ごとに自転車50円、バイク100円。ビル警備会社と駐輪機メーカーの連携により24時間管理体制で対応。

設置台数 423台(自転車350台、バイク73台)



キッズカート共同利用事業

「豊田らしいカート」でまちなかショッピング。4つの大型店が共同運営しているので屋外利用も可能。子供と一緒に楽しいお買物をサポート。豊田市商業活性化推進交付金活用事業で、まちなかの回遊性向上による商業活性化を目的に2005年5月スタート。2020年5月より電動アシスト付キッズカートを導入。

事業主体 豊田まちづくり(株)
 事業協力 松坂屋豊田店・T-FACE・ギャザ・メグリアセントレ
 管理運営 専属のカート回収員と各店の管理係員等により、維持管理費の低減・効率化を推進



まちなかクリーンアップ活動

お客様のおもてなしは「まちの玄関」から。毎月第一土曜日に有志が集まり、駅周辺の清掃活動を実施。活動は2002年11月から開始。T-FACE・松坂屋豊田店の従業員や地元企業の方々自主参加。ペDESTリアンデッキ・緑陰歩道・バスターミナル・タクシー乗り場などをクリーンアップ。(右記地図中の□部分が活動範囲)



花飾り事業への参画

「愛知万博」後も継承されるフラワーロードのけやき通り沿い設置プランターや、ペDESTリアンデッキ花壇の植替えや水遣り、ハンギングバスケットの一部作成などを社員全体制で参画。豊田市駅周辺への来訪者に花飾りでおもてなし。



フリーパーキング加盟駐車場MAP



フリーパーキング加盟駐車場 全4,360台

駐車場	管理運営者	営業時間	収容台数	3h	5h	飲むならパーキング	キッズカートステーション	電気自動車充電ステーション	平日1日最大料金	定期
① 産業文化センター駐車場	豊田市	8:00~22:00	275	●						
② 新豊田駅西駐車場	豊田市	24時間	52	●		●				
③ 第2駐車場	豊田まちづくり(株)	7:00~23:00	109		●					●
④ 若宮駐車場	豊田まちづくり(株)	7:00~23:00	483		●					●
⑤ 新豊田駅地下駐車場	豊田まちづくり(株)(豊田市所有)	6:00~23:40	127	●						●
⑥ ヴィッツ駐車場	カシマゴビルディング(株)	24時間	680		●	●				●
⑦ TM若宮パーキング	豊田まちづくり(株)	24時間	412	●		●	●	●		
⑧ 第1駐車場	豊田まちづくり(株)	6:30~25:00	313		●					●
⑨ 昭和町駐車場	豊田まちづくり(株)	7:00~23:00	220		●					●
⑩ ギャザパーキング	豊田まちづくり(株)(豊田市所有)	24時間	223	●		●	●			
⑪ 喜多町駐車場	豊田まちづくり(株)(豊田市所有)	24時間	520		●	●	●	●		●
⑫ キタラパーキング	豊田まちづくり(株)(豊田市所有)	24時間	289	●					●	
⑬ 豊田参合館駐車場	豊田まちづくり(株)(豊田市所有)	24時間	112	●		●				
⑭ コモパーキング	豊田まちづくり(株)(豊田市所有)	24時間	245	●		●				
⑮ 西町丸太パーキング	(株)丸太不動産	24時間	172	●						●
⑯ 元城駐車場	豊田市	8:00~22:00	89		●					
⑰ 児ノ口駐車場	豊田市	8:00~22:00	39		●					

※豊田まちづくり(株)管理の駐車場収容台数 3,053台(フリーパーキング収容台数の70.0%)

豊田市中心市街地まちづくり事業

豊田まちづくり(株)は、中心市街地のまちづくりに携わる住民や店主等で構成される地域のまちづくり団体や商店街が行う活動や商店街事業の支援を行っている。

豊田市中心市街地活性化協議会の一員として、豊田市中心市街地活性化基本計画事業のうち、とりわけ民間・官民共働事業を推進。

事業実績

桜町本通り商店街「八日朝市」への支援

■事業主体 桜町本通り商店街振興組合

●八日朝市の様子 [地元農家の野菜の直売・刃物研ぎ・商店街おもてなし・個店営業]



●市内高校との連携 [連携:愛知県立豊田東高等学校]



●地域コミュニティや地元小学校等との連携 [連携:崇化館交流館他]



飲食店ストリート構築事業の推進

名鉄豊田市駅南西の空き店舗・遊休地に、飲食店を中心とした店舗化の推進及び営業店舗の共同イベントによる特色あるストリートづくりを行っている。

「空き店舗活用事業」概要

事業主体 豊田まちづくり(株)
所在地 豊田市西町6丁目62番地
建物構造 鉄骨3階建て
賃貸面積 114.16㎡(34.54坪) 3階建ての1階を賃貸

飲食店内容

屋号 まめあん(豆庵)
開店日 2010年10月13日(水)
営業時間 11時~23時 ※新型コロナウイルスにより時間変更中

(店舗外観)



まちなかコミュニティ施設整備事業 MAMATOCO (ママトコ)

商店街の空き物件を活用し、まちの新たな交流の場となる「まちなかコミュニティ施設 MAMATOCO(ママトコ)」を整備した。商店街内に子育て世代が集い、交流できる、複合的なコミュニティ機能を導入。

●MAMATOCO外観



≫事業の目的

- 子育てママ友同士、夫婦が集いリフレッシュできる場所
- 地域、商店街、店主、来街者が交流できる場所
- 商業等にチャレンジ・起業する場所

≫施設の概要

- 施設名 まちなかコミュニティ施設 MAMATOCO
- オープン日 2015年3月13日(金)
- 建物の概要 公園に隣接した築100年の蔵と古民家をリノベーション

所在地	豊田市桜町2丁目56番地(桜町本通り商店街振興組合)			
構造	蔵2階建て、木造家屋平屋:1棟 駐車場:3台分			
延べ床面積	89.05㎡	蔵 12階	飲食店	50.94㎡
		木造家屋	チャレンジショップ	11.37㎡
			レンタルスペース	19.68㎡
		共用部分	共用部分	7.06㎡

■ホームページ <http://kura-mamatoco.com/>

≫導入機能

- 飲食店(カフェ)
 - ・出店者募集中
 - ・蔵スペースをレンタル使用
- チャレンジショップ
 - 店名:豊田こまち リンパケア倶楽部
 - 内容:リンパケア施術
 - 2020年11月オープン
 - レンタルスペースの利用者が新規起業した。
- レンタルスペース
 - 趣味や特技を活かして物品販売やサービス、講座を行う場所として貸し出す。
 - 年間契約者(団体)数:8者(4名、4団体)

●蔵カフェでのマーケット ※出店者募集中



マーケット(STREET&PARK MARKET)で蔵を活用

●豊田こまち リンパケア倶楽部



●レンタルスペース



2020年度 地域イベント事業実績

中止

ふれ愛フェスタ2020
2020年5月30日(土)
※新型コロナウイルスの影響により開催中止



中止

とよた産業フェスタ2020
2020年10月3日(土)、4日(日)
※新型コロナウイルスの影響により開催中止



中止

第52回豊田おいでんまつり
2020年5月30日(土)
※新型コロナウイルスの影響により開催中止



中止

第41回豊田マラソン大会
2020年11月22日(日)
※新型コロナウイルスの影響により開催中止



とよたエールマラソン2020 on the web
2020年11月1日(日)~11月22日(日)

WEBにて開催! とよた消防フェスタ ~探して・確認フォトラリー~
2021年1月9日(土)~3月7日(日)



第12回 愛知県観光交流サミットinとよた @豊田市コンサートホール、YouTubeライブ配信
2021年2月10日(水)



とよたビジネスフェア2021 @スカイホール豊田
2021年3月11日(木)、12日(金)



Joyculwave ジョイカルウェイブ 音楽を切り口とした若者文化創出支援事業

目的
ジョイカルウェイブは、「音楽」を切り口に、「豊田市が魅力あるまち・住みたくなる様なまち」になることを目標に掲げ活動していく。

主催団体(敬称略)
トヨタ自動車(株) / (公財)豊田市文化振興財団 / 愛知県労働者福祉協議会豊田支部
T-FACE会 / トヨタ自動車労働組合 / 豊田商工会議所 / 豊田まちづくり(株)(事務局)

中止 **2020年の取組み**
2007年から開催してきた基幹事業「トヨタロックフェスティバル」は新型コロナウイルスの影響により開催中止。新たな生活様式の中でもできる取組みを随時検討中。



●ジョイカルウェイブHP <https://joyculwave.jp/> ●トヨタロックフェスティバルHP <https://toyotarockfestival.com/>

豊田市中心市街地活性化基本計画

目指す将来像

緑の環境都市軸(スタジアムアベニュー)の創造

重点テーマ

活力 活力とにぎわいの創出

交通 先進的な交通モデルを体感できる中心市街地の実現

環境 緑に包まれた中心市街地の実現



過去の中心市街地活性化基本計画の目標達成状況の概要

●第1期中心市街地活性化基本計画(2008.7~2013.3)全71事業

目標	目標指標	基準値	目標値(2012)	実績値(最新値)(2012)
①	平日歩行者通行量(7地点)	25,788人(2007)	30,500人	26,978人 対基準値+4.6%
②	鉄道駅1日乗降客数	36,477人(2006)	45,300人	41,128人 対基準値+12.8%
③	エコシール受取枚数	40万枚(2006)	50万枚	推計719,193枚 対基準値+79.8%

第1期の実績として、飲食イベントや空き店舗を活用した店舗誘致により、夜間の歩行者通行量が増加し、空き店舗数の増加には歯止めがかかったことや、竹生線・桜城址公園の整備や歩行者ITS推進事業など、都市基盤が着実に整備されたことが挙げられる。その一方で、景気低迷等により事業所の一部が撤退しており、主要ビルの業務床空室率の悪化と昼間人口の減少が課題として挙げられる。

●第2期中心市街地活性化基本計画(2013.4~2018.3)全38事業

目標	目標指標	基準値(2011)	目標値(2017)	実績値(最新値)(2017)
①	平日の歩行者通行量	72,230人	73,820人	83,673人 対基準値+15.8%
②	休日の歩行者通行量	63,094人	65,970人	72,195人 対基準値+14.4%
③	居住人口	12,715人	13,140人	13,398人 対基準値+5.4%

第2期の実績として、豊田市駅前通り北地区再開発事業により、住宅施設、高齢者施設及びアミューズメント施設を含む商業・業務施設の整備が着実に進んだことが挙げられる。その一方で、周辺市町に開店した大型商業施設の利用者が増加し、中心市街地エリアから消費が流出したことが課題として挙げられる。

第3期中心市街地活性化基本計画の目標の設定(2018.4~2023.3)

中心市街地の現状、市民の声、今後の社会情勢、及び第2期計画の検証結果を踏まえ、中心市街地の今後のさらなる活性化に向けた2つの目標を設定。この2つの目標への対応を念頭に置き、総合的・効果的な施策展開を図っていく。

【中心市街地の現状】

- ・商業施設、居住施設等複合施設が整備され、時間消費型の都市機能が充実した。
- ・居住人口は増加したが、高齢化が進行している。
- ・頻りに来街する市民の割合が減少傾向にある。
- ・周辺市町に大型商業施設が開店している。
- ・早朝や夜間の通勤・通学者が増加しているものの、昼間の歩行者通行量が伸び悩んでいる。

【市民の声】

- ・中心市街地への満足度が低下傾向
- ・「買い物に便利な駐車場、駐車場」への期待
- ・「人との交流やにぎわいのあるまち」への期待

【今後の社会情勢】

- ・2021年 東京オリンピック
パラリンピック
WRC世界ラリー選手権
- ・2026年 アジア競技大会
- ・2027年 リニア中央新幹線開業

目 標

1 まちなかにぎわい創出

- 歩行者通行量は、早朝や夜間の通勤・通学者が増加しているものの、昼間の回遊者が伸び悩んでいる。
- 市民へのニーズ調査によると、約8割が自動車で来街しており、自動車利用者の利便性を高めつつ、まちなかの魅力を高め、来街の促進を図る必要がある。

2 公民連携による活性化

- まちづくりの担い手を育成し、持続的なエリアマネジメントを推進するため、公共空間の一層の活用を含め、公民連携による活性化事業を展開していく必要がある。

【第2期計画の検証結果】

- ・歩行者通行量(平日・休日)の増加
- ・居住人口の増加
- ・多様な主体によってまちづくり事業が展開されているが、民間事業者が独自に収益を生みだすことや、収益をまちに再投資することが難しい状況

第3期中心市街地活性化基本計画の目標指標

目標	指標	基準値(2016)	増減	目標値(2022)
目標1 まちなかにぎわい創出	指標1 歩行者通行量(昼間9~17時)	31,507人	約3.4%増	32,584人/日
	指標2 フリーパーキング対象駐車場の総利用時間	601万台・時間	約16.5%増	700万台・時間
目標2 公民連携による活性化	指標3 公共的空間の利用率	27.2%	約34.2%増	36.5%

第3期中心市街地活性化基本計画の区域と事業



豊田市の都心エリア(500ha)のうち、市街地の整備改善や商業の活性化などに重点的に取り組むエリアとして、第2期計画に引き続き196haを「中心市街地」に設定。
第3期計画では、2018年度から2022年度までの5年間を計画期間として、「市街地の整備改善」、「都市施設の整備活用」、「まちなか居住の推進」、「商業の活性化」、「アクセシビリティ・回遊性の向上」の5つの施策群を設定し、計37事業を展開。

市街地の整備改善

1. 豊田市駅前通り北地区第一種市街地再開発事業
2. 豊田市駅東口駅前広場整備事業
3. 新豊田駅東口駅前広場整備事業* (1)
4. 豊田市駅西口ペDESTリアンデッキ整備事業* (1)
5. 都心地区新設サイン整備事業
6. 市道西町若宮線歩車共存道路整備事業
7. 自転車走行ルートの整備事業
8. 民有地緑化支援事業
9. 新豊田駅西口駅前広場整備事業
10. 緑と花につつまれた都心創出事業

都市施設の整備活用

11. 低炭素社会モデル地区整備事業* (1)
12. まちなか案内機能整備事業
13. 都心公共施設活性化事業
14. 博物館整備事業
15. ものづくり創造拠点運営事業

まちなか居住の推進

16. 地域優良賃貸住宅整備補助事業
17. 住宅団地整備補助事業

商業の活性化

18. 中心市街地テナントミックス整備事業
19. まちなか案内事業
20. エリアマネジメント推進組織(一社)TCCM)によるまちづくり及びプロモーション事業* (2)
21. 豊田おいでんまつり事業
22. 中心市街地イルミネーション事業
23. 商店街にぎわい創出支援事業* (1)
24. 空き店舗等活用事業
25. まちなかにぎわい・回遊性向上事業* (1)
26. 商業・サービス機能誘致奨励事業
27. まちなかコミュニティ施設連携事業* (1)
28. 公共空間等整備事業* (1)
29. まちなかエリア新規創業相談・支援事業

アクセシビリティ・回遊性の向上(交通関係)

30. パスルート改編に伴うバス停整備事業
31. 豊田市駅バスターミナル施設整備事業
32. 基幹バス路線運行事業
33. 公共的空間活用等研究事業* (2)
34. ゾーン交通規制推進事業
35. マルチモビリティ共同利用システム構築事業
36. 名鉄豊田市駅耐震化事業
37. 駐車場利便性向上事業* (1)

※赤字の事業は主に民間事業者が行う事業。
※各事業の末に記載された数字はそれぞれ、
(1) まちなかにぎわいの創出
(2) 公民連携による活性化 の主要事業に該当する事業。

[*]は基幹事業

豊田市中心市街地活性化協議会、一般社団法人TCCM

豊田市中心市街地活性化協議会

中心市街地活性化協議会とは、中心市街地に関わる多種多様な関係者で構成された法定組織で、中心市街地活性化に関する事業の総合調整や事業の推進及び自治体の策定する「中心市街地活性化基本計画」に対する意見表明・実効性に寄与するなど、まちづくりを総合的に推進する組織として2006年8月22日に改正施行された「中心市街地の活性化に関する法律」に基づいて組織される団体。豊田市中心市街地活性化協議会は愛知県下では初の協議会として2006年10月10日に設立発会(全国では9番目)し、会長は豊田商工会議所の会頭が歴任中である。

豊田市中心市街地活性化協議会 会長	初代 渡辺 祥二(2006年10月10日~2010年12月1日) 二代 三宅 英臣(2010年12月16日~)
-------------------	--



2020年度活動報告

会議実績

2020年度は全体会1回及び役員・幹事合同会議を1回開催し、認定基本計画の進捗について確認するとともに、中心市街地活性化事業の進捗状況、推進方法について関係者間の意識を共有した。

主な活動概要

- 認定基本計画事業の着実な実施に向けて(一社)TCCMと連携することで、事業の進捗管理及びマネジメントに努めた。
- 「中心市街地テナントミックスビジョン再構築プロジェクト会議」による中心市街地のコア集客施設について課題の整理、将来に向けた各施設機能向上のための整備事業進捗管理を行った。



全体会

開催月日	会場	主な協議内容等	出席者数
第37回全体会 2020年5月26日	豊田商工会議所 4階 特別会議室	【承認事項】 ・任期満了に伴う委員・役員選任について ・2019年度事業報告・収支決算の承認について ・2020年度事業計画・収支予算案の承認について 【報告事項】 ・第3期中心市街地活性化基本計画の進捗について ・(一社)TCCMの取組みについて ・中心市街地テナントミックスビジョン再構築プロジェクト会議報告	55名 オブザーバー 他含む

役員・幹事合同会議

開催月日	会場	主な協議内容等	出席者数
第35回会議 2020年5月26日	豊田商工会議所 401会議室	・全体会上程議案について	20名 資料説明者を含む

一般社団法人TCCM

一般社団法人TCCMは2017年2月に設立。公益性を持ったまちづくり組織として、エリアマネジメント事業を推進する。

事業目的・事業方針

地域住民・事業者等との連携のもと中心市街地の活性化を目指し、エリアマネジメントを推進する。事業実施により自立した組織を目指すとともに、事業収益を新たなまちづくり事業に還元。
 ●まち・エリアの価値を維持・向上させるまちづくり事業の推進 ●まちの賑わい・楽しさを創造し、魅力を発信するプロモーション事業の実施



まちづくり事業	プロモーション事業
まち・エリアの価値を維持・向上させる事業 ①リノベーションまちづくり事業 ②公共空間の活用事業 都市再生推進法人指定 ③公共空間の運営・管理事業(駅前広場、ペDESTリアンデッキ、停車場線実証実験等)	まちの楽しみをつくる、魅力を発信する事業 ①イベント・回遊性向上事業 ②情報発信・インフォメーション事業 都市再生推進法人指定 ③広告事業(公共空間活用、一括管理・統一窓口等)

組織

- 設立日:2017年2月28日 ■所在地:豊田市小坂本町1丁目25番地 豊田商工会議所4階
- 組織体制:豊田商工会議所、豊田まちづくり(株)各3名が設立社員
 ・代表理事:豊田まちづくり(株)代表取締役 ・理事:豊田商工会議所、(一社)TCCM、地元企業及び豊田市役所で構成 ・監事:豊田商工会議所会頭
- スタッフ:5名(正職員1名、臨時職員4名)※アドバイザー(豊田まちづくり(株)職員)が運営支援

2020年度事業及び運営会議等実績

会議実績

(一社)TCCM理事会2回・社員総会を1回開催し法人としての運営基盤構築に取り組んだ。官民による月例の運営会議を12回開催して、官民連携による中活基本計画事業の推進と情報共有に努めた。

運営会議開催実績

開催月日	会場	協議内容等	出席者
2020年4月~ 2021年3月 運営会議12回開催	豊田商工会議所	・中活基本計画事業の具体的な取組みについて ・公共空間活用事業について ・(一社)TCCM受託事業について	関係各位出席

理事会及び社員総会

開催月日	会場	協議内容等	出席者
第15回理事会 2020年4月22日	豊田商工会議所	・組織・運営体制について ・新規採用について	関係役員 社員等出席
第16回役員会 2021年3月23日		・2021年度事業計画・予算案について ・2021年度組織・運営体制・新規採用について	
第4期定時社員総会 2020年5月29日		・第4期事業報告について ・第4期決算について ・理事選任について	

主な事業実績

- (一社)TCCMの組織・活動を担保する豊田市中心市街地活性化基本計画の中で、(一社)TCCMが事業主体となる4事業を実施した。
- 豊田市から(一社)TCCMを都市再生推進法人に指定。豊田市と都市利便増進協定を締結。現状について関係機関と情報交換。

まちづくり事業	プロモーション事業	収益事業
エリアマネジメントの推進、 公共的空間等の活用事業 ・STREET & PARK MARKET ・MUSEUM MARKET ・あそべるとよたプロジェクト ・西口ペDESTリアンデッキ飲食店事業者の 運営・管理 ・エリアマネジメント研究会	まちなかへの来街、回遊促進、 まちの魅力等の発信 ・まちなか宣伝会議 ・映画を活かしたまちづくり実行委員会	組織の自立化、収益のまちづくりへの還元 ・まちなか案内所 「ウエルカムセンターN6(エヌ・ロク)」 ・北部駐車場の運営・管理 ・レストえきまへの運営・管理

豊田市中心市街地テナントミックスビジョン再構築プロジェクト会議1

目的

郊外の大型商業施設出店の脅威に対応するため、中心市街地におけるコア集客施設の機能・役割および商業面のブランドコンセプトを策定し、不足している高感度なブランド及び業種・業態の店舗・機能を誘致、もしくは施設全体のイメージ向上に寄与する整備を行い、まちの賑わい創出と商業活性化を推進する。

》プロジェクトメンバー(施設名)

(株)大丸松坂屋百貨店(松坂屋 豊田店)	豊田市駅東開発(株)(GAZA専門店街)	トヨタ生活協同組合(メグリアセントレ)
豊田市駅前開発(株)(豊田参合館)	豊田市駅前通り南開発(株)(コモ・スクエア)	豊田市商業連合(協)
豊田喜多町開発(株)(KITARA)	カシマゴビルディング(株)(VITS豊田タウン)	豊田まちづくり(株)(T-FACE)
名古屋鉄道(株)(名鉄豊田プラザ)	トヨタ自動車(株)	事務局:豊田商工会議所・豊田まちづくり(株)

これまでの活動実績

2014年度

第一期整備事業 豊田市駅西口市街地再開発ビルB館2階フロア改修【テナントミックスプラン】

2駅に挟まれた主動線立地の強みを活かし、会社帰りのOL、ヤングアダルト、学生をメインターゲットに、「ライフスタイル機能」で日常の感度を追求する生活提案型施設として整備した。

事業主体 豊田まちづくり(株)

改装OPEN 2015年3月6日(金) (工期 2015年1月19日~3月5日)

特徴 国(経済産業省)の「2014年度中心市街地再興戦略事業費補助金」を活用



2015年度

①豊田市駅西口市街地再開発ビルトイレの安心安全機能向上に関する改修事業(A館8階・9階、B館1階・6階)【事業方針:おもてなし機能向上】

事業主体 豊田まちづくり(株)

共用開始 2015年10月1日(工期 2015年8月3日~9月30日)

②コモ・スクエア ダイレクトイン改修事業

事業主体 豊田市駅前通り南開発(株)該当テナント(プロント)

改装OPEN 2016年3月1日(工期2016年2月15日~2月29日)

③豊田市駅西口市街地再開発ビルA館2階(松坂屋) 客用トイレ改修事業

事業主体 豊田まちづくり(株)、(株)大丸松坂屋百貨店

共用開始 2016年3月21日(工期 2016年2月5日~3月20日)



2016年度

①豊田市駅西口市街地再開発ビルA館1階(松坂屋) 客用トイレ改修事業【事業方針:おもてなし機能向上】

事業主体 豊田まちづくり(株)、(株)大丸松坂屋百貨店

共用開始 2016年7月26日(工期 2016年5月10日~7月25日)

②豊田コミュニケーションスペース「ザ・プレミアムビアガーデン豊田」の誘致開業【事業方針:不足業種導入】

事業主体 豊田まちづくり(株)が契約するテナント

新規OPEN 2016年7月25日 ※毎年夏期のみ営業

③喫煙室(スモークルーム)の開設【事業方針:おもてなし機能向上】

事業主体 豊田まちづくり(株)

共用開始 2017年3月10日(工期 2017年2月13日~2月20日)



2017年度

①社会実験「とよたまちなかこどもタウン」の実施【事業方針:不足業種導入・お客様回遊の動向調査】

事業主体 テナントミックス再構築プロジェクトメンバー、豊田市中央図書館、豊田市コンサートホール・能楽堂

開催日 2017年11月3日(金祝)~10日(金)



②GAZA1階~3階 お客様トイレの全面改修及び授乳室・喫煙室の整備事業【事業方針:おもてなし機能向上】

事業主体 豊田市駅東開発(株)

共用開始 2017年12月17日(工期 2017年10月16日~12月16日)



③B館T-FACE6階 全面改装【テナントミックスプラン】

事業主体 豊田まちづくり(株)

事業内容 B館T-FACE6階の店舗入替とフロア環境の改修

改装OPEN 2018年3月2日(工期 2018年1月15日~3月1日)

2018年度

①集客企画「こどもタウン」の実施【事業方針:不足業種導入に向けた取組み】

事業主体 テナントミックス再構築プロジェクトメンバー内の希望参加大型店

開催日 2018年11月23日(金)~25日(日)



②B館T-FACE4階増床・全面改装【テナントミックスプラン】

事業主体 豊田まちづくり(株)、テナント

改装OPEN 2018年9月28日(工事期間 2018年7月16日~9月27日)

③A館T-FACE9階内「とよた子育て総合支援センター」の豊田市産材を使った木質化の改装【テナントミックスプラン】

事業主体 豊田市

改装OPEN 2018年11月23日(工事期間 2018年7月28日~11月22日)



2019年度

①集客企画「こどもタウン」の実施【事業方針:不足業種導入に向けた取組み】

目的 ・KITARA完成後、改めて子連れファミリーのニーズや関心を調査し、今後の街の在り方に活かす
・各店のテストマーケティングを中心とした店舗催事を盛り込み、リーシング活動につなげる

事業主体 テナントミックス再構築プロジェクトメンバー内の希望参加大型店

開催日 2019年11月2日(土)~24日(日)



実施内容 ①テスト出店による、子連れファミリー-MDの積極的な誘致
②既存ショップ・売場・公共による取扱い品やサービス拡大を狙ったテストマーケティング
③にぎやかイベント(ビル・公共・既存店・全エリア)

結果概要 ・イベント開催日が分散しており、告知効果が後半になるにつれ薄まってしまった感があつた
・本来の目的であるテナントミックスのためのテストマーケティングが実施できず、販促企画に留まった
・小学校公達での発送がなく、小学生を対象にしたメニューの参加が少なかった



②T-FACEの顧客像を明確にするマーケティング調査の実施

目的 T-FACEの将来顧客の購買行動や購買志向を把握し、今後のリーシング、販促施策に活かす

事業主体 豊田まちづくり(株)、T-FACE会

豊田市中心市街地テナントミックスビジョン再構築プロジェクト会議2

2020年度の活動実績

プロジェクト会議等の実施

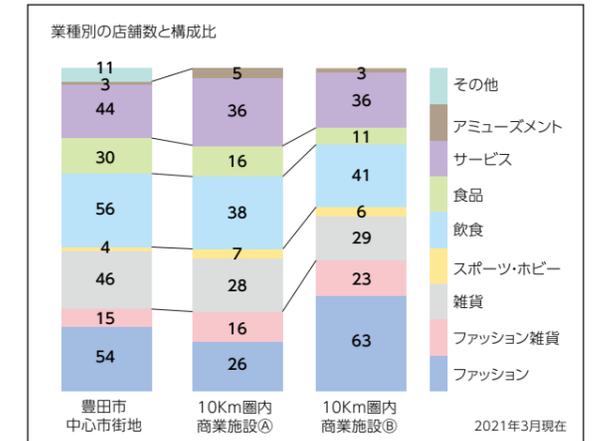
大型店連携・共同事業全体会議内分科会（8月20日、10月15日、12月17日、2月18日 ※4月6月は新型コロナウイルスの影響により中止）

- ①各施設のテナントミックス事業取組みの状況と意見交換
- ②中心市街地テナントミックス構築プランの更新

「豊田市中心市街地テナントミックス再構築プラン(2015年度版)」の更新と課題

施設名	展開イメージ	戦略ワード(SWOT分析より)	強化ポイント
T-FACE	華彩 「ライフセンター機能」 専門性を発揮して日常からハレを彩るライフセンターへ	①子育て世代～ミドルシニアへの提案型MD編集、通勤客・ビジネス客・男性客の取込み ②ファッションビルの脱却、出会い・交流などを創出する「ライフセンター」への進化 ③業種の整理・運動による買いまわり性向上、立地環境から日々の来店頻度向上 ④内外含めた快適空間創出、地域に開かれた機能・空間の個性化	①食品専門店、化粧品専門店、書籍やものづくり、コト消費スペース、コワーキングスペース ②ライフスタイルショップ、フードホール、クリニックモール、コミュニティスペース ③不足業種業態店、大型専門店、手土産・贈答品、スクール・セミナーホール ④ファサード改善、外向き出入口の整備、外向き店舗展開、市産材を利用した環境整備
GAZA メグリア セントレ	集 「デイリー&バリュー機能」 毎日の食をベースに、安価で買やすい気軽な利用しやすさを提供する施設	①キッズ・ファミリー層に訴求するNSC型施設力向上 ②SMの強化による高質なデイリー需要強化 ③デイリー需要の高いMDの再編集 ④施設運営1本化・フロア最大限利用による商業機能の充足	①生活密着、キッズプレイスペース、快適環境創出 ②SM強化、デイリー性強化、高質提案 ③お決まり業種の導入、便利サービス、フードコート ④運営体制の改善、販促強化、顧客サービスの充実、事務所フロアの商利用、目的性大型MD補完
コモ・スクエア	賑 「タウンアクティブ機能」 まちの賑わいと連続性を持たせる活気創出施設	①KITARA(シネコン)と連動した空地利用によるイベント強化 ②テナント販促による平日集客の拡大 ③施設の複合利用を促す運営施策構築 ④環境計画の見直しによる内外含めた快適空間創出	①開空地の利用拡大、KITARAとの連動策、集客層拡大 ②飲食店販促、飲食店のランチ営業、オフィス就業者の利用促進、ママ友&主婦層の獲得 ③ホテル利用者・スポーツクラブ利用者・居住者の誘引 ④施設入口改善、1F外向き店舗展開、まちの連続性
KiTARA	楽 「エンターテインメント機能」 今までになかった新しいまちの価値を備えるまち遊びを促す施設	①すべての人を満足させるエンターテインメント施設構築 ②全体に目的性・誘引性を散りばめたMD展開 ③地域密着による顧客化の実現 ④空地及び施設前通路の最大利用による活気創出	①中心市街地公益娯楽性の向上、シネコン導入と活用、イベントとシネコンの連動、飲食・カフェ・アミューズメント連動 ②オンリーワン要素、目的集客MDの導入 ③地元テナント、キッズサービス、コミュニティ創出、産直 ④公開空地の活用、外向き店舗展開、コモ・スクエアとの連動
VITS	創 「アミューズメント機能」 飲食やサービスを中心とした娯楽を提供する施設	①飲食街の中心となる特徴ある施設構築 ②MDの取捨選択による施設整合化 ③娯楽施設としての特異性深耕 ④全体サイン計画の導入による回遊性向上	①飲食サービス、駐車場利便性向上 ②カテゴリ・機能整理、ヤング層・男性集客、昼間の女性客や学生、営業時間精査 ③アミューズメント性、便利サービス業種 ④環境整備、エリアサイン計画、他施設との連動、建替え
名鉄 豊田プラザ	繋 「リレーション機能」 まちの中心拠点としてすべてを繋ぐ役割を持った駅商業施設	①駅利用者を取込む商業の振興 ②人とまちを繋ぐエリア連続性を創出する駅へ ③利便性の高いMD構成を実現 ④大幅刷新による「新」豊田市駅再開発	①駅アイデンティティ確立、イメージ向上、駅機能の再生 ②情報発信、駅の活気創出、演出性、通行利便性 ③利用者ニーズ、クイック対応、MDのブラッシュアップ ④耐震改修、駅舎の移動や再建、駅商業の充実
参考館	展 「カルチャーエデュケーション機能」 芸術や文化をまちに広める役割を担う公共施設	①目的集客利用者のまちなか回遊性向上 ②芸術・文化を発信するイベントの強化 ③文化要素と商業施設のコラボレーション強化 ④まちの連続性を保つ施設演出強化	①他施設の利用促進、有人インフォメーション機能の設置、地下市有駐車場の接続 ②幼児向け読み聞かせ会や教室・講座・イベントの開催 ③文化施設利用者にまちなか利用を促進する特典・優待の実施、地域交流活性化 ④KITARAやコモ・スクエアとの連動、施設入口の改善

課題その1:「不足業種業態」について



【不足業種・業態について】

Point1 サービス・アミューズメントが少ない

- ・総合ファミリー遊戯施設
- ・スポーツ等を組み込んだ遊戯施設
- ・サービス店の中でもエステは多めだが、写真館(スタジオ)、モバイルショップ、家電専門店 など

Point2 スポーツが少ない

- ・総合スポーツ店、自転車店、ペット店、おもちゃなどのホビー

Point3 その他複合店舗が少ない

- ・フードコート、ファミリーレストラン、ファストファッション、ディスカウントストア、オフプライスショップ、ファッションセレクトショップ、リサイクルストア、家電量販店、ホームセンター、総合スポーツ量販店、コンセプト書店 など

課題その2:(内部環境問題) テナントミックス実行において各大型店が抱える共通の課題

[1]賃料の相場感ギャップが大きく交渉が難航 家賃相場は歩合制または安価な方向に進んでいる。一方中心市街地大型店はどこも単館で収支採算性を合わせるため、賃料設定は割高になりがちで、誘致交渉は難航しがち。	[2]内装費負担を求める出店が増→投資負担増 初期投資を軽くしたい、資産を持たず契約の縛りを少なくしたい等の理由から、使用料方式の内装費DV負担が求められることが増えている。
[3]不足業態店舗≒大規模店舗は賃料が低くなりがち 不足業種業態店の多くは、大型アパレルや大型家電専門店等であり、坪当たりの家賃はロットパフォーマンスを効かせた設定になりがちで、家賃収入が厳しくなることが多い。	[4]老朽化や新店導入時に想定外のコスト増 耐震、アスベスト、エレベーター、空調等、老朽化が進んでいるビルがあり、店舗区画で不具合が突如発生することもある。店舗誘致の魅力付けにも欠けりーシングのネックになることもある。

課題その3:(外部環境問題) 大型商業施設を取り巻く環境の変化と課題

[1]コロナ禍による買い物行動の変容への対応 来店手段や来店単位、滞在時間や来店目的など、様々な変化をもたらしている。また商業施設の要であった「集客施策」こそ出来ず、仕掛けやサービスの変更が迫られている。	仕掛けやサービスの見直しで対応可能か
[2]物的所有価値の低下、「シェア」「サブスク」「コト」進行への対応 所有(購入)しないことの価値を、物売り業の商業施設がどうすり合わせていくのか。店舗誘致の内容や契約内容まで検討する必要がある。	テナントミックス、出店契約・出店条件の見直しが急務
[3]DXやRaasへの対応 買い物におけるデジタルイゼーションやAIの活用が加速しており、タイミングやコストで悩ましい問題になりつつある。また専門知識も必要で、現場だけの完結は容易ではない。	多額の投資が懸念され専門家のアドバイスが必要な分野



内外の問題に対処しながら、役割や展開イメージを果たしながらエリア全体で 不足業種・業態の店舗の誘致を行い、エリア全体の回遊性を向上させる。

豊田市中心市街地まちなか宣伝会議

設立の経緯と目的

豊田市中心市街地において事業を展開する商業施設・商店街・集客施設・行政関係者が、毎月1回意見交換・情報交換をするための任意の会議体として2003年8月設立。各企業・団体の販促・宣伝担当を構成メンバーとし、官民一体となった共同事業を展開している。

- 目的
- ① 中心市街地への来街促進を図る。
 - ② 中心市街地の魅力・機能を市民・消費者に発信・提言する。
 - ③ 中心市街地イベント事業への提言・連携的取組みを模索する。

主な内容

- 構成メンバー各位の事業スケジュールの情報交換・情報共有
- 共同事業の企画・実行(集客事業・情報発信事業等)
- 構成メンバー各位の持ち寄り事項の協議・策定

》構成メンバー 33企業・団体 (2021年4月2日現在)

(株)大丸松坂屋百貨店 松坂屋豊田店/T-FACE会/トヨタ生活協同組合/豊田市駅前開発(株)/カシマゴビルディング(株)/(株)豊田スタジアム/トヨタ自動車(株)/豊田まちづくり(株)/(株)名鉄トヨタホテル/ひまわりネットワーク(株)/豊田市商業連合(協)/豊田市美術館/豊田市コンサートホール・能楽堂/豊田商工会議所/豊田市近代の産業とくらし発見館/豊田市駅前通り南開発(株)/(株)ホテル豊田キャッスル/アイレックススポーツライフ(株)/トヨタすまいるライフ(株)/(公財)豊田市スポーツ協会/豊田産業文化センター(とよた科学体験館)/(公財)豊田市国際交流協会/あいち豊田農業(協)/豊田市民文化会館/名古屋鉄道(株)/エフエムとよた(株)/(株)名古屋グランパスエイト/豊田中央図書館/とよたEcofulTown/豊田市駅前開発(株)/イオンエンターテイメント(株)/豊田喜多町開発(株)/(一社)TCCM ※事務局

》主な活動実績

- **まちなかトピックス (2003.10~2005.9)**
※とよたまちなかガイドブックへ移行
共通フォーマットの広告モデル作成と構成メンバー発行の印刷媒体へ相互掲載
- **グルメクーポン (2003.11~2011.3)**
※まちなかサポーター店へ移行
構成メンバー施設の催事期間におけるまちなか飲食店のサービスクーポン等の配布
- **とよたまちパワーフェスタ (2004.3~)**
中心市街地の魅力・機能を市民・消費者に発信する共同集客イベント ※春・秋開催。2011年度から春1回の開催
- **まちなかWEB (2005.9~)**
<http://www.toyota-machinaka.com/>
中心市街地の魅力・機能を市民・消費者に発信するホームページ(商品・催事の情報発信)
- **まちなか情報誌「とよたまちなかガイドブック」 (2005.9~2011.3)**
※とよたまちなか通信へと移行
まちパワーフェスタ開催に併せたフェア・セール・トピックスの掲載、オリジナル情報誌の発行
- **まちなかイメージアップ・CI活動 (2007.12~2011.6)**
※まちなか連携情報発信へ移行
中心市街地のイメージアップのための啓発ポスターの作成など
- **とよた元気プロジェクト「WE LOVE とよた」への参画 (2009.3~)**
まちパワーフェスタ同時開催(地産地消キャンペーンイベント「オールとよたまちなか商ルーム」の実施など)
- **まちパワーmini (2010.6~2019.3)**
既存事業の期間を埋める、継続的なミニイベント・参画ネットワークづくり ※年間3~4回程度の開催
- **まちなか掲示板「まちなかボード」 (2010.12~2014.12)**
※旧おいでんビル取り壊しにつき終了
旧おいでんビル壁面に構成メンバーの情報を伝える掲示板を設置
- **まちなかカレンダー (2010.12~2019.3)**
構成メンバー事業情報を集約したカレンダー型掲示物の作成
- **まちなか連携情報発信 (CI・VI発信) (2011.6~)**
構成メンバー事業等と連携したまちなかの装飾などのまちなかイメージアップ発信
- **まちなかサポーター店 (2012.3~)**
まちなかの大型集客イベントに合わせた来街者へのおもてなし(チケット掲示で割引などの特典)
- **とよたまちなか通信 (2012.7~2017.3)**
※まち宣PRESSから名称変更
中心市街地の魅力・機能とメンバー情報を市民・消費者に発信する情報紙
- **とよたまちさとミライ塾 (2013.9~2020.3)**
※とよたまちなか博覧会から名称及び事業主体が変更
宣伝会議メンバーのオンパイク手法による地域資源を題材にした、体験型プログラムの開催
- **シビックプライド事業 (2015.4~2017.3)**
女性による女性向けの中心市街地の魅力・機能とメンバー情報を市民・消費者に発信するマップ作り
- **豊田JAZZキャラバン (2015.5~2019.3)**
音楽を用いた中心市街地の魅力・機能を市民・消費者に発信する共同集客、収益イベント
- **とよたまちなかシネチケdeサービス (2017.11~)**
イオンシネマ豊田KITARAでの映画鑑賞者へのおもてなし(チケット提示で割引などの特典)

2020年度の主な活動実績

■Jリーグ2020シーズン再開盛り上げキャンペーン 開催期間:2020年7月18日(土)~8月23日(日) 「こころひとつにこの道を進もう! GO TO GOAL!」



■とよたまちパワーフェスタスプリング 2021 2021年3月13日(土)~5月9日(日)



■シネチケ de サービス



■まちなかサポーター店 (豊田市美術館)



■クリスマス時期の情報発信



あそべるとよたプロジェクト とよたのまちなかを本気であそぶ、つかいこなす!

豊田市駅周辺にある開けた空間“まちなかの広場”を、“人”の活動やくつろぎの場として開放し、さらにはとよたの魅力を伝え、とよたに愛着を持てる場所として、使いこなしていく取り組み。

現在は日常的なにぎわいが少なく、発表の場として使うことも難しい、まちなかの広場。そんな場所で、市民・企業・行政が一体となってアイデアを出し合い、みんなの“やってみたい”ことを実現しながら、より使いやすい広場に生まれ変わるための継続的な仕組みを創る。



あそべるとよた推進協議会

- 公と民の広場管理者などが構成員となり、まちなかの広場の活用やその仕組みづくりを推進する組織
- 構成メンバー
都市再生推進法人(一社)TCCM、豊田まちづくり(株)、豊田市駅東開発(株)、豊田市駅前開発(株)、豊田市駅前通り南開発(株)、豊田喜多町開発(株)、豊田市崇化館地区区長会(二区東部(会長)、二区西部、三区)、豊田市(都市整備課・土木管理課・商業観光課)、(株)こいけやクリエイト
- 事務局
(一社)TCCM



あそべるとよた推進協議会

あそべるとよたDAYS(2020年4月~2021年3月)

- 管理者が異なる7か所の広場利用の窓口或使用料金を統一し、2020年度には40団体(380件)が広場を活用
- 《実施例》



参考館前広場でのミュージシャン



あそべるとよたフェスト KITARA広場での対面似顔絵師



あそべるとよたフェスト 西口ペDESTリアンデッキでのライブペイント



GAZA南広場でのテープ・ワンダーランド

西口ペDESTリアンデッキ広場運営事業(2020年4月~2021年3月)

- あそべるとよた推進協議会は、広場運営事業者に都市再生推進法人(一社)TCCMを選定し
 - ① 事業性の成立の検証
 - ② 民間事業者による広場貸し出し状況・業務の遂行、及び課題の検証を実施した。



西口ペDESTリアンデッキ飲食事業者「DKプラス」



新型コロナウイルス対応のテイクアウトメニュー告知



西口ペDESTリアンデッキ「DKプラス」運営イベント

2021年度以降の取組み

》あそべるとよたDAYS

7か所の広場が365日利用可能。

》あそべるとよたプロジェクトの事務局運営を都市再生推進法人(一社)TCCMが担当

》西口ペDESTリアンデッキ広場運営事業

2018年3月23日に都市再生推進法人に指定された(一社)TCCMが広場を運営する。

- 2021年1月(一社)TCCMが飲食事業者を公募(飲食事業者:DKプラス×トヨタ中央自動車学校)
- 地域住民・事業者と連携
- 収益を新たなまちづくりに還元



あそべるとよたプロジェクト新規看板制作



あそべるとよたフェストPR



飲食事業者募集



飲食事業者イベント告知



飲食事業者イベント

一般社団法人TCCMとエリアマネジメント

豊田市中心市街地活性化協議会・TCCM(豊田シティセンターマネジメント)は2017年2月に法人格を取得し、豊田市から指定された「都市再生推進法人」へ公益性を持ったまちづくり組織として、中心市街地のエリアマネジメント事業を推進する。

豊田市駅周辺のエリアマネジメントの取り組み概要(2018~2020年度)

目的 駅周辺の関係者が連携し官民連携のもと、主体的な取り組みによりエリアの価値・魅力の向上を目指す。

目標 2018年度から3年間でエリアマネジメント(以下エリマネ)の仕組みづくりを行う。
官民の関係者(ステークホルダー)、専門家を変え、まちの将来像、事業、及び推進体制等を含むエリマネビジョン(豊田市駅周辺のまちづくりの方向・約束事)を作成し、合意形成を図る。

主な取組 豊田市の(一社)TCCMへの負担金事業として、有識者、専門家の指導のもと官民関係者で構成した「豊田市エリマネ研究会」を発足し、協議・検討の場を設置。

⇒1年目:エリマネの基本的な理解、エリアにおける現状の整理と課題認識を、(一社)TCCMと豊田市商業観光課、都市整備課で行った。
⇒2年目:エリアのステークホルダー等を変え、エリマネの考え方の理解、将来像、対象エリア及び推進体制等を意見交換の中で検討・共有した。

⇒3年目:実務者による広場歩道等公共的空間活用事業を検討、社会実験の実施。併せて各種調査による効果検証を行った。また3か年を振り返り今後の取組みを協議・決定した。

主な成果 豊田市駅周辺のエリマネ推進についての理解・共有。エリマネビジョンの作成と合意。

メンバー (有識者・専門家) 保井美樹法政大学教授、長谷川隆三(株)フロントヤード代表取締役、葛西優佳氏、豊田まちづくり(株)、豊田市駅東開発(株)、豊田市駅前開発(株)、豊田市駅前通り南開発(株)、豊田喜多町開発(株)、まちなかプレーヤー等、豊田市商業観光課、豊田市都市整備課、(一社)TCCMの代表者、実務責任者、運営会議事務局

エリアマネジメントの具体的な取組み実績(2018~2020年度)

●基本認識

- ①自分たちのエリアの価値・魅力向上に向け共同連携して取組む
- ②『仕組みづくり~エリアマネジメントビジョン~』を検討・作成

●エリアマネジメントの事業範囲

各再開発ビルに繋がる公共的(屋外)空間活用に取組むことを確認

●将来像(何をを目指すのか)

将来像	戦略(まちづくり/エリアマネジメントとして何をやるか)
①多世代の多様な人々が多様な活動をしている	<ul style="list-style-type: none"> ■時間消費型機能の充実 ■大人が楽しめる場、機会の充実 ■スポーツ/文化コンテンツの活用 ■住民がまちで暮らし活動する機会づくり ■個性あるオフィスの充実(路上オフィス等)
②外部空間が建物・人をつなぎ賑わいが溢れている	<ul style="list-style-type: none"> ■オープンスペースの質的向上(楽しく・明るく) ■停滞空間の充実(イス・ベンチ等休憩できる環境、広場) ■建物内外のシームレス化 ■路地裏感の創出
③安全で安心に居られる	<ul style="list-style-type: none"> ■子どもが遊べるまちなかづくり ■バリアフリーのまちづくり ■世代ごとの居場所づくりとそれぞれの交わりづくり
④将来を生み出すまち	<ul style="list-style-type: none"> ■新技術の実証空間としてのまちなか空間の活用 ■容易にチャレンジできる環境づくり ■学生が活動できるラボ的なまちなか空間づくり

●推進体制(進めていく役割・担当は)

【一層】 理念や方向性共有	<ul style="list-style-type: none"> ■ステークホルダー間の共感の構築 ■目標や戦略の策定 ■戦略を具体化する事業の方向性検討 ■空間活用の大きな方向性やガイドライン等の作成 ■全体的な進行管理 	■(一社) TCCM
【二層】 各種手続きや調整	<ul style="list-style-type: none"> ■戦略を具体化する事業のデザイン ■空間活用の条件整理(空間占有手続き等) ■空間活用の企画の募集、調整や企画支援 	■(一社) TCCM ■外部専門家等のサポーター
【三層】 事業	<ul style="list-style-type: none"> ■具体的な事業実施(理念や方向性への理解をベースに) ■日常のオペレーション 	■公募事業者(道路等公共空間) ■再開発会社(敷地内空地) ■(一社) TCCM(道路等公共空間)



●対象エリア(どこで行うか)

魅力創出重点ゾーン13ha



●社会実験の実施(何をやるのか)



都心環境計画

①目標と基本方針

目 標

森と矢作川に育まれた祝祭・交流空間の創造を目指す

① “まちを使う・体感する”にぎわい交流拠点の創出

② “まちに行く・回遊する”交通拠点の形成

③ “まちを知る・発信する”情報拠点の創出

基本方針

方針1:来街機会を増やす魅力の創出 ① ③

具体方針	内 容
①行ってみたいくなる魅力の創出	<ul style="list-style-type: none"> ■魅力的な商業空間創出 ■各施設の整備により新たな魅力創出 ■来街者の印象に残る空間創出 ■人々が集う公共空間創出
②利便性の高い生活環境の形成	<ul style="list-style-type: none"> ■住みやすい環境創出 ■安全快適に外出できる交通環境形成
③風土・文化・芸術を身近に感じる演出	<ul style="list-style-type: none"> ■中山間地域などの魅力を感じる演出 ■鑑賞など各施設へ誘う空間演出 ■伝統的なイベント時の空間創出
④ものづくりが体験できる演出	<ul style="list-style-type: none"> ■ものづくりを身近に感じる演出 ■未来型モビリティを体感できる空間

方針3:「まち」と「さと」をつなぐアクセスの利便増進と適正化 ② ③

具体方針	内 容
①鉄道・バスの利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> ■公共交通の乗換利便性の向上 ■バス運行サービスの向上 ■鉄道での広域アクセス目指す
②自転車交通の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> ■自転車利用の安全性向上 ■駐輪場配置の適正化、利便性の向上
③自動車交通の適正化	<ul style="list-style-type: none"> ■来街目的のない自動車を外周道路に誘導 ■歩車共存を見据えた走行環境形成 ■効率的な駐車場システムの更新

方針2:滞在時間を延ばす憩い空間の演出 ① ②

具体方針	内 容
①緑あふれる空間を演出	<ul style="list-style-type: none"> ■水と緑に包まれた憩い空間創出 ■緑が感じられる通り・空間の演出
②周辺と調和したデザイン空間を演出	<ul style="list-style-type: none"> ■統一感のあるデザインや眺望の演出 ■自然を感じる通りや空間を演出

方針4:歩きたくなる快適で安全な回遊環境の形成 ② ③

具体方針	内 容
①安全で歩いて楽しい歩行空間を確保	<ul style="list-style-type: none"> ■一体的に繋がる回遊しやすい空間創出 ■周辺施設への安全な歩行空間形成
②都心の魅力を迅速に情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ■まちなかを回遊したくなる情報提供

②対象区域



松坂屋・T-FACE



豊田市美術館



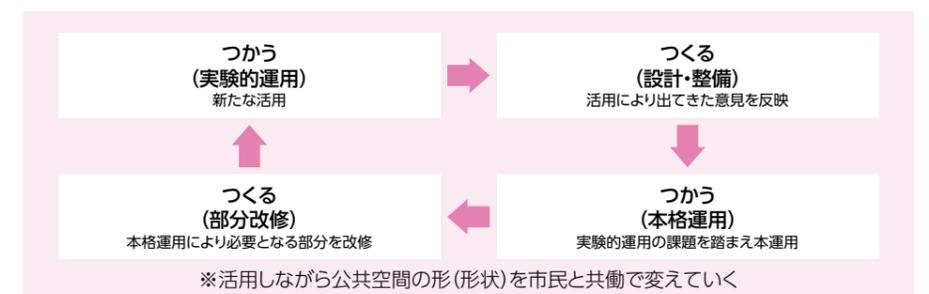
コンサートホール(参合館)



スカイホール豊田

③再整備と活用の方針

段階的な整備をしていくなかで、「つかう」と「つくる」の連携を図りながら、効果的な使い方が可能となるよう、エリアマネジメント体制の構築に取組む。



豊田市商業振興条例及び支援事業 (2005.4.1～2025.3.31)

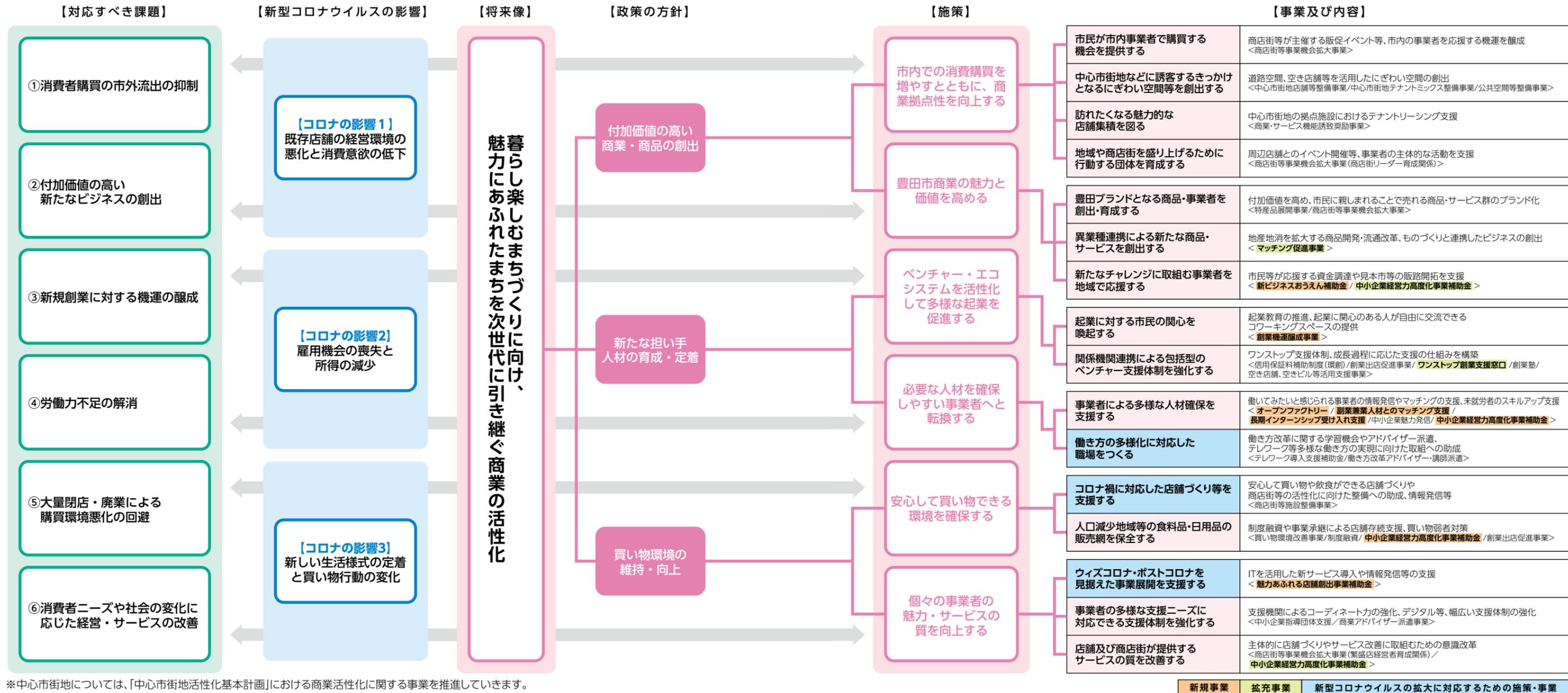
商業の振興で経済の発展と健全なまちづくりを推進

条例では、商業者等の責務を明らかにするとともに、商業の活性化のために必要な措置を講ずることにより、商業の振興及び雇用の確保を図り、市民生活の向上及び本市経済の発展ならびに健全なまちづくりの推進に資することを目的としている。2015年の3月に一部改正を行い、引き続き10年間の期限付き条例とする。

これからの商業振興策について

【目標・指標】

目標	目標達成指標(KGI)	目標値(累計)
より質の高い商品・サービスの提供、 店づくり・商業地づくりの推進	高い意欲と希望をもって事業活動に 取り組む人材の育成	人材育成事業への参加者数 360人(2021～2024)
	新たな担い手の創出	創業者数 968人(2021～2024)



*中心市街地については、「中心市街地活性化基本計画」における商業活性化に関する事業を推進していきます。

条例に基づく支援制度

- **商業活性化推進交付金**
中心市街地において、まちづくりや商業活性化に取り組む事業者の創意工夫による総合的かつ機動的な活性化事業を支援する。(交付率80%以内)
- **商業・サービス機能誘致奨励金**
中心市街地及び地域商業地において、商業・サービスの拠点となる施設を誘致することにより、商業の活性化に資するため、商業・サービス機能誘致奨励金を交付する。なお、誘致を推進することが必要と認める地域については、市があらかじめ地域住民及び事業者の意向を踏まえ、それぞれの地域に係る商業・サービス機能誘致推進に関する基本方針を策定する。(中心市街地においては、店舗等の面積が1,000㎡以上)
- **商業振興施策を活用した事業**
商店街等事業機会拡大事業



活用事例①
ふれ愛フェスタ



活用事例②
桜町本通り商店街振興組合 環境整備事業

【施策】	【事業及び内容】
市内での消費購買を増やすとともに、商業拠点性を向上する	<ul style="list-style-type: none"> 市民が市内事業者で購買する機会を提供する 商店街等主催する販促イベント等、市内の事業者を応援する機運を醸成 <商店街等事業機会拡大事業> 中心市街地などに誘客するきっかけとなるにぎわい空間等を創出する 道路空間、空き店舗等を活用したにぎわい空間の創出 <中心市街地店舗等整備事業/中心市街地テナントミックス整備事業/公共空間等整備事業> 訪れたい魅力的な店舗集積を図る 中心市街地の拠点施設におけるテナントリーシング支援 <商業・サービス機能誘致奨励事業> 地域や商店街を盛り上げるために行動する団体を育成する 周辺店舗とのイベント開催等、事業者の主体的な活動を支援 <商店街等事業機会拡大事業(商店街リーダー育成関係)>
豊田市商業の魅力と価値を高める	<ul style="list-style-type: none"> 豊田ブランドとなる商品・事業者を創出・育成する 付加価値を高め、市民に親しまれることで売れる商品・サービス群のブランド化 <特産品展開事業/商店街等事業機会拡大事業> 異業種連携による新たな商品・サービスを創出する 地産地消を拡大する商品開発・流通改革、ものづくりと連携したビジネスの創出 <マッチング促進事業> 新たなチャレンジに取り組む事業者を地域で応援する 市民等が応援する資金調達や見本市等の販路開拓を支援 <新ビジネスおうえん補助金/中小企業経営力高度化事業補助金>
ベンチャー・エコシステムを活性化して多様な起業を促進する	<ul style="list-style-type: none"> 起業に対する市民の関心を喚起する 起業教育の推進、起業に関心のある人が自由に交流できるコワーキングスペースの提供 <創業機運醸成事業> 関係機関連携による包括型のベンチャー支援体制を強化する ワンストップ支援体制、成長過程に応じた支援の仕組みを構築 <信用保証料補助制度(環創)/創業出店促進事業/ワンストップ創業支援窓口/創業塾/空き店舗、空きビル等活用支援事業>
必要な人材を確保しやすい事業者へと転換する	<ul style="list-style-type: none"> 事業者による多様な人材確保を支援する 働いてみたいと感じられる事業者の情報発信やマッチングの支援、未就労者のスキルアップ支援 <オープンファクトリー/副業兼業人材とのマッチング支援/長期インターンシップ受け入れ支援/中小企業魅力発信/中小企業経営力高度化事業補助金> 働き方の多様化に対応した職場をつくる 働き方改革に関する学習機会やアドバイザー派遣、テレワーク等多様な働き方の実現に向けた取組への助成 <テレワーク導入支援補助金/働き方改革アドバイザー・講師派遣>
安心して買い物できる環境を確保する	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍に対応した店舗づくり等を支援する 安心して買物や飲食ができる店舗づくりや商店街等の活性化に向けた整備への助成、情報発信等 <商店街等施設整備事業> 人口減少地域等の食料品・日用品の販売網を保全する 制度融資や事業承継による店舗存続支援、買い物弱者対策 <買物環境改善事業/制度融資/中小企業経営力高度化事業補助金/創業出店促進事業>
個々の事業者の魅力・サービスの質を向上する	<ul style="list-style-type: none"> ウィズコロナ・ポストコロナを見据えた事業展開を支援する ITを活用した新サービス導入や情報発信等の支援 <魅力あふれる店舗創出事業補助金> 事業者の多様な支援ニーズに対応できる支援体制を強化する 支援機関によるコーディネート力の強化、デジタル等、幅広い支援体制の強化 <中小企業指導団体支援/商業アドバイザー派遣事業> 店舗及び商店街が提供するサービスの質を改善する 主体的に店舗づくりやサービス改善に取り組むための意識改革 <商店街等事業機会拡大事業(繁盛店経営者育成関係)/中小企業経営力高度化事業補助金>

新規事業 拡充事業 新型コロナウイルスの拡大に対応するための施策・事業

WE LOVE とよたの推進

2017年4月に「WE LOVE とよた」条例が施行され、誰もが幸せを感じる「わくわくする世界一楽しいふるさと」を目指し、豊田市にかかわる全ての人々がとよたの魅力に改めて気づき、自ら楽しむための取組みを行った。

取組みの概要

》市民等による「WE LOVE とよた」の取組み推進への支援

●第4回「WE LOVE とよたフェスタ」の開催

市内の様々な分野のプレーヤーが中心となって、アートやものづくり、子育てなどの魅力を一堂に集めた「WE LOVE とよたフェスタ」が、とよしばや新とよパーク、オンライン配信など、様々な方法で開催された。



》「WE LOVE とよた」の取組みを具体的に推進する行動計画を改定

行動計画は、「WE LOVE とよた」の取組みを具体的に推進していくための事業や行動を示すもので、とよたの魅力の発見や体験できる事例集として「WE LOVE とよたのタネ」を作成。交流館や支所等の公共施設や、とよしばなどで配布。

目指す姿 わくわくする世界一楽しいふるさと

取組み ①魅力を知る ②魅力を暮らしに取り入れる ③魅力を発信する
④魅力を高める ⑤WE LOVE とよたの理解と共感の輪を広げる



》「WE LOVE とよた」の見せる化

●WE LOVE とよたサポーターズの任命

とよたの魅力発信を強化する取組みとしてサポーターズを任命。ご自身の活動を通じて、とよたの魅力を発信していく。

●WE LOVE とよたサポーターズ

D.O.M(ふれあい型マイケルジャクソンアミューズメントチーム)



●WE LOVE とよたステーションの設置

「WE LOVE とよた」の取組みを推進するため、とよしばに「WE LOVE とよたステーション」を設置。

とよたの好きな魅力を書き込み写真撮影できるフォトパネルの設置や、シールや缶バッジ等の「WE LOVE とよた」グッズの配架、レーザー加工機を使った貯金箱等のオリジナルグッズの製作など、「WE LOVE とよた」の情報発信を行う。



豊田市駅西口エリアまちづくりプラットフォームの構築・未来ビジョンの策定

多様な利用者が日常的に行き交う交通結節点である豊田市駅西口エリアにおいて、公共施設と民間施設、広場等を一体的につなぎ、官民が連携し多様な交流による賑わいを創出し、居心地の良い歩いて楽しいウォークアブルエリアの実現を目指すため、2020年度国土交通省の補助事業「官民連携まちなか再生推進事業」を活用。駅西口のエリアプラットフォームを構築し、未来ビジョン策定事業を推進した。

》国庫補助事業の概要

事業名	官民連携都市再生推進事業(2020年度 官民連携まちなか再生推進事業)
所管	国土交通省都市局
交付申請	2020年8月7日
交付決定	2020年12月22日(内定通知 2020年7月30日 ※早着案件)
完了期日	2021年3月12日

エリア面積:約2.6ha



》豊田市駅西口エリアまちづくりプラットフォームの構築

会長	豊田まちづくり(株) 代表取締役 河木 照雄
副会長	豊田市産業部 部長 西脇 委千弘
専門人材	慶應義塾大学総合政策学部 教授 玉村 雅敏(議長) 法政大学現代福祉学部 教授 保井 美樹 名城大学理工学部 教授 松本 幸正 豊田商工会議所 専務理事 吉村 一孝
構成員	豊田市(産業部・都市整備部) 新豊田商店街振興組合(事業者代表) (一社)TCCM(都市再生推進法人) あそべるとよた推進協議会(中間支援組織・TCCM兼務) トヨタ自動車(株)(地元企業代表) (株)eight(起業家・経営者) 以上、順不同(敬称略)
事務局	豊田まちづくり(株)(業務委託:パシフィックコンサルタンツ(株))



第1回会議

》豊田市駅西口エリアの未来ビジョン策定

第1回会議	2020年 9月24日	未来ビジョンの方向性
第2回会議	11月26日	地域の目指す将来像、実現するための方針
第3回会議	2021年 2月 9日	将来像実現に向けた施策や役割分担、評価指標の方向性
第4回会議	3月 4日	未来ビジョン素案
専門人材会議	3月12日	未来ビジョン素案に関する学識者意見聴取、素案への反映



ペDESTリアンデッキ 将来像のイメージ(長期)



まちに開かれた空間 1階新エントランス



滞在快適性空間 2階オープンテラス

とよた元気プロジェクト 「WE LOVE とよた」で豊田を元気に!

地域経済の活力向上を目的に2009年3月に発足した。「WE LOVE とよた」を合言葉に22の構成団体が連携し、豊田市の魅力発信、地産地消の推進、市内消費拡大を目的とした取組みを展開している。



「WE LOVE とよた」のロゴマークを構成団体はじめ、市内の団体・事業所でPRし、郷土愛の醸成や意識共有を行った。



「とよたPR大使」による市内外へ向けた豊田市の魅力発信

●とよたPR大使事業は2013年度からスタート。2020年度はSNSを通じた非対面での情報発信活動に軸を置き、豊田市の魅力を発信した。また、とよた元気プロジェクトの活動に興味を持ってもらう糸口として、とよたPR大使オリジナルイラストのステッカーの配布を開始。



販路拡大支援事業「WE LOVE とよたマルシェ」

●豊田市内で生産・販売している、豊田の魅力ある食品加工品、農産物・飲料(酒類含む)などをPRする事業である。
・2020年度加盟店数 28店舗



<http://toyota-marche.jp/>

●webサイトによる「とよたの特産品」紹介に加えて、さまざまなイベントへの出店、PRを展開した。
・企業での手土産(ビジネスシーン)としても活用されている。
・大手コンビニ、どんぐりの里いなぶ、こととや(T-FACE)など取扱店も拡大。

●「WE LOVE とよた応援商品券」への景品提供や、医療従事者への豊田銘品の贈呈など、コロナ禍でも豊田市を盛り上げるべく、活動を行った。



構成団体

豊田市、豊田商工会議所、豊田商工会議所青年部、豊田商工会議所女性会、(一社)豊田青年会議所、とよた下町おかみさん会、JAあいち豊田、豊田市商業連合(協)、豊田市中心市街地まちなか宣伝会議、連合愛知豊田地域協議会、(株)豊田スタジアム、豊田まちづくり(株)、足助商工会、藤岡商工会、下山商工会、旭商工会、小原商工会、稲武商工会、足助観光協会、いなぶ観光協会、旭観光協会、(一社)ツーリズムとよた

イルミネーションストーリーinとよた

冬の寒空の下にも人までにぎわう街並みを目指し、年末年始にイルミネーション装飾を実施。市民の皆さまや豊田へ来た方に見て、参加して楽しんで頂き、豊田のまちなかへの関心を高めるとともに、コロナ禍で暗い雰囲気のままな豊田を明るく照らす。

2020年度開催内容

》事業目的

イルミネーション事業により、年末年始の中心市街地の活性化(集客・まちの賑わい)を図る。

》主催団体

イルミネーションストーリー実行委員会

構成団体 9企業・団体(2021年3月現在)

豊田市、豊田商工会議所、豊田商工会議所青年部、(一社)豊田青年会議所、(公財)豊田市文化振興財団、トヨタ自動車(株)、豊田まちづくり(株)、豊田市中心市街地まちなか宣伝会議、豊田市商業連合(協)

》開催期間

2020年12月1日(火)~2021年1月11日(月・祝)

》主な事業内容

・豊田市駅周辺にイルミネーション装飾を展開
・中心市街地活性化を目的としたイベントを開催(新型コロナウイルス感染症対策のため一部中止)

》催し・企画

●フォトコンテスト・現像部門入賞作品展示

展示:2021年2月17日(水)~28日(日)

イルミネーションストーリーinとよたの装飾撮影をSNSや市内交流館などで幅広く募集した。

現像写真の募集はもちろん、若い世代にも気軽に応募してもらえるよう、インスタグラムでも作品を募集した。

両部門の入賞作品はSNSにて発表し、現像部門入賞作品はT-FACE8階にて展示を行った。



豊田市駅西口ペDESTリアンデッキ風景



フォトコンテスト現像部門金賞作品



フォトコンテストインスタ部門金賞作品



展示の様子

全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議

全国の中心市街地活性化協議会、まちづくり会社との情報交流・ネットワークづくりを目的に、豊田まちづくり(株)は、全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議に参加している。

》設立目的

まちづくり三法の改正により、中心市街地のまちづくりを進める重要な主体として位置付けられたまちづくり会社や中心市街地整備推進機構等が情報交流を行い、民間主体による中心市街地の再生とコンパクトなまちづくりを促進することを目的とする。

》連絡会議概要

設立	2007年6月28日	賛助会員	4団体 会の趣旨に賛同する者
会員	50団体(2020年12月1日現在) 中心市街地活性化基本計画の認定を受けた又は受けようとしている市町村のまちづくり会社及び中心市街地整備推進機構	参与会員	4団体 事務局業務の補佐 ※事務局は会長会社 (独)都市再生機構 (一財)民間都市開発推進機構 (公社)全国市街地再開発協会 (公財)区画整理促進機構
役員会社	会長：(株)まちづくり松山 副会長：豊田まちづくり(株) 監事：(一財)柏市まちづくり公社 小樽駅前ビル(株)		

》活動内容

● 中心市街地活性化に係る情報共有・ノウハウの蓄積

総会	年1回、東京にて開催	勉強会の開催	年2回、東京/先進地にて開催、まちづくり会社等が行っている事業手法や工夫等の紹介
-----------	------------	---------------	--

【勉強会開催実績】

第1回	2007.10.22~23	富山市	富山市及び各市のまちづくり事例発表
第2回	2008.2.14~15	東京	各市まちづくり事例発表及びグループ討議
第3回	2008.10.2~3	岐阜市	岐阜市まちづくり事例発表及びグループ討議
第4回	2009.2.19~20	神戸市	長田地区まちづくり事例発表及び分科会
第5回	2009.10.1~2	高松市	高松市まちづくり事例発表及び分科会
第6回	2010.2.18~19	豊田市	豊田市まちづくり事例発表及び情報提供
第7回	2010.10.6~7	松山市	松山市まちづくり事例発表及び情報提供
第8回	2011.2.17~18	宮崎市	宮崎市まちづくり事例発表及び情報提供
第9回	2011.10.13~14	長浜市	長浜市まちづくり事例発表及び情報提供
第10回	2012.5.10~11	川崎市	川崎市まちづくり事例発表及び情報提供
第11回	2012.10.25~26	柏市	柏市まちづくり事例発表及び情報提供
第12回	2013.5.23~24	長岡市	長岡市まちづくり事例発表及び情報提供
第13回	2013.10.3~4	飯塚市	飯塚市まちづくり事例発表及び情報提供
第14回	2014.5.23~24	東京	まちづくりに関する情報提供及び分科会
第15回	2014.11.4~5	飯田市	まちづくりに関する情報提供及び分科会
第16回	2015.6.11~12	金沢市	金沢市まちづくり事例発表、分科会及び情報提供
第17回	2015.10.22~23	岩手県奥州市	オガールプロジェクトの視察、分科会及び情報提供
第18回	2016.6.29~30	東京	今後の役割や課題、分科会及び情報提供
第19回	2016.11.28~29	東京	「観光まちづくり」都市交通施策について、分科会及び情報提供
第20回	2017.6.29~30	東京	まちづくりに関する情報提供及び各市まちづくり事例発表
第21回	2017.12.14~15	八戸市	八戸市まちづくり事例発表及び情報提供
第22回	2018.7.5~6	東京	まちづくりに関する情報提供及び現地視察
第23回	2018.11.27~28	富山市	富山市まちづくり事例発表及び各市まちづくり事例発表
第24回	2019.7.4~5	東京	「立地適正化計画の現状とこれからの課題」情報提供及びグループ討議
第25回	2019.11.6~7	小樽市	小樽市まちづくり事例及び情報提供
第26回	2020.9.7	東京・WEB	各会社のコロナに対応した取り組み等
第27回	2021.3.26	WEB	まちづくり会社のコロナ禍における取り組み発表

● HPの設置・情報発信

- ・会員、事務局の連絡や提案、情報交換など

● 相談室の設置

- ・まちづくり手法等の相談 (独) 都市再生機構：全国まちづくり支援室)
- ・出融資に係る相談 (一財) 民間都市開発推進機構：中心市街地活性化支援室)
- ・再開発、街なか居住再生ファンド等の相談 (公社) 全国市街地再開発協会：企画部内)
- ・市街地整備に関する相談 (公財) 区画整理促進機構：まちなか支援センター内)



まちづくり推進団体 (順不同)

豊田市中心市街地活性化協議会

豊田商工会議所
豊田まちづくり株式会社
一般社団法人TCCM

フリーパーキング事業

カシマゴビルディング株式会社
株式会社丸太不動産
豊田市

豊田市中心市街地まちなか宣伝会議

株式会社大丸松坂屋百貨店 松坂屋 豊田店
T-FACE会
トヨタ生活協同組合
豊田市駅前開発株式会社
カシマゴビルディング株式会社
株式会社豊田スタジアム
トヨタ自動車株式会社
株式会社名鉄トヨタホテル
ひまわりネットワーク株式会社
豊田市商業連合協同組合
豊田市美術館
豊田市コンサートホール・能楽堂
豊田商工会議所
豊田市近代の産業とくらし発見館
豊田市駅前通り南開発株式会社
株式会社ホテル豊田キャッスル
アイレックススポーツライフ株式会社
トヨタすまいるライフ株式会社
公益財団法人豊田市スポーツ協会
豊田産業文化センター
公益財団法人豊田市国際交流協会
あいち豊田農業協同組合
豊田市民文化会館
名古屋鉄道株式会社
エフエムとよた株式会社
株式会社名古屋グランパスエイト
豊田中央図書館
とよたEcoful Town
豊田市駅前開発株式会社
イオンエンターテイメント株式会社
豊田喜多町開発株式会社
豊田まちづくり株式会社
一般社団法人TCCM
豊田市 (オブザーバー)

豊田市中心市街地 大型店の連携・共同事業

株式会社大丸松坂屋百貨店 松坂屋 豊田店
T-FACE会
トヨタ生活協同組合
豊田市駅前開発株式会社
名鉄産業株式会社
カシマゴビルディング株式会社
豊田市駅前通り南開発株式会社
豊田喜多町開発株式会社
豊田市
豊田商工会議所

豊田市駅西口エリアまちづくりプラットフォーム

豊田まちづくり株式会社
一般社団法人TCCM
新豊田商店街振興組合
トヨタ自動車株式会社
株式会社eight
豊田市
専門人材
豊田商工会議所
あそべるとよた推進協議会

自治区・地域

崇化館地区 一区
崇化館地区 二区西部
崇化館地区 二区東部
崇化館地区 三区
崇化館地区 東区
崇化館地区 西区
崇化館地区 中区
朝日丘地区 小坂

商店街・商工会

豊田市商業連合協同組合
とよた下町おかみさん会
ひまわり通り商店街
一番街商店街振興組合
豊田市駅前商店街振興組合
西町商店街協同組合
喜多町昭和通り発展会
新豊田商店街振興組合
足助中央商店街協同組合
竹生発展会
駅前発展会
昭和町発展会
元城五番街発展会
小坂発展会
足助商工会
稲武商工会

その他各団体・教育機関

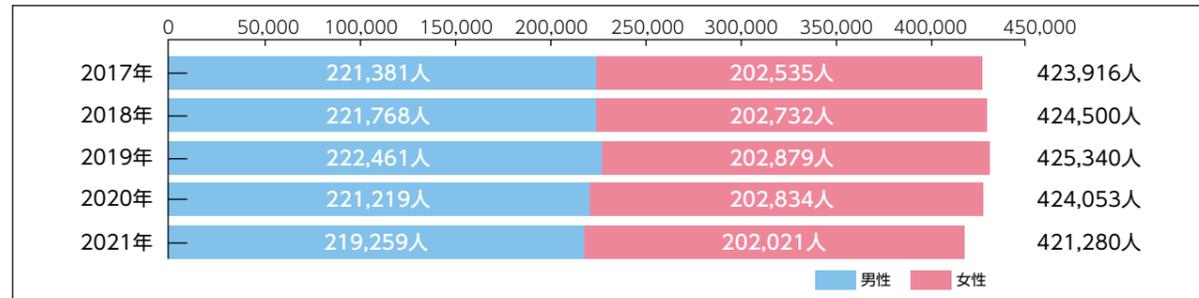
愛知県商店街振興組合連合会
中心市街地花飾り実行委員会
豊田おいでんまつり実行委員会
イルミネーションストーリー実行委員会
ジョイカルウェイブ実行委員会
全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議
とよた元気プロジェクト
あそべるとよた推進協議会
映画を活かしたまちづくり実行委員会
クリスマスマーケット実行委員会
豊田市エリアマネジメント研究会

豊田市データ

豊田市の市勢データ

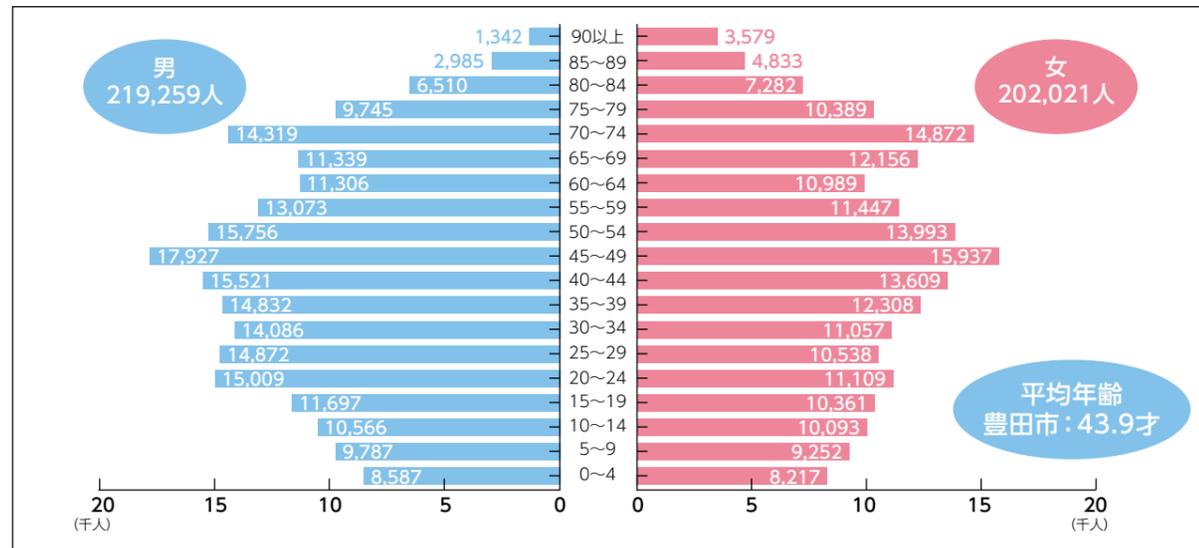
豊田市の人口推移

出典：豊田市HP「豊田市の人口」(詳細データ) (2021年度4月1日現在)



豊田市年齢別・男女別人口

出典：豊田市HP「豊田市の今月の人口」(2021年度4月1日現在)



<市町村別平均年齢> 愛知県：44.7才 名古屋市：44.8才 豊橋市：45.4才 岡崎市：44.0才 出典：愛知県HP「愛知県の人口」(2021年3月1日現在)

豊田市の昼間人口・夜間人口の推移

出典：2018年度版 豊田市統計書 (C 国勢調査)

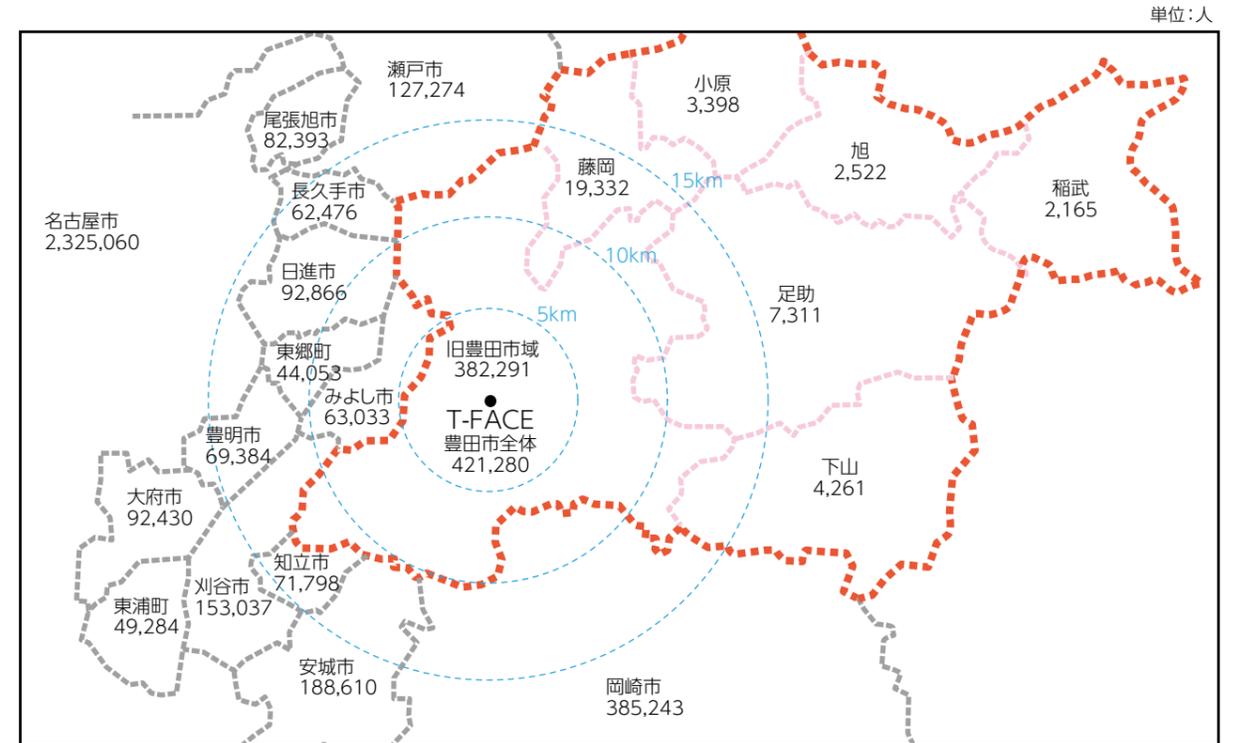
区分	2000年			2005年			2010年			2015年		
	総数	通勤者	通学者									
昼間人口	375,298	211,391	56,482	445,252	253,617	57,408	458,833	253,832	74,118	466,836	256,525	76,428
夜間人口	350,847	189,313	54,109	408,700	218,366	56,107	421,487	217,365	73,239	422,542	212,536	76,123

愛知県主要都市との人口比較

出典：愛知県HP Web統計あいち/あいちの人口/愛知県人口動向調査結果 (2021年3月1日現在) 注) 1 各種増減数及び増減率の算定期間は、2020年3月1日から2021年2月28日までの一年間。 出典：愛知県HP Web統計あいち 愛知県の市町村所得 (2018年度) 報告書

	人口(人)	人口増減率(%)	世帯数(世帯)	1世帯あたり人員(人)	1人あたりの所得(千円)
豊田市	421,785	▲0.60	180,014	2.34	6,369
名古屋市	2,325,060	▲0.10	1,129,474	2.05	3,734
豊橋市	371,182	▲0.57	153,051	2.42	3,084
岡崎市	385,243	▲0.38	158,363	2.43	3,528

商圏の設定



出典：豊田市→豊田市HP「豊田市の人口」(2021年4月1日現在) その他→愛知県HP Web統計あいち あいちの人口 愛知県人口動向調査結果 (2021年3月1日現在)

	人口	前年比
豊田市(旧)	約38.2万人	▲0.6%
みよし市	約6.3万人	+0.2%
東郷町	約4.4万人	▲0.3%
日進市	約9.3万人	+1.0%
岡崎市	約38.5万人	▲0.4%
合計	約96.7万人	▲0.3%

※2005年4月に周辺市町村を合併し、愛知県で名古屋市に次いで人口が2番目の都市となった。面積は918.47km²と約3倍となったが、人口のほとんどが旧豊田市域の居住者である。

交通アクセス

名古屋都市圏に隣接する豊田市は、西三河地域の中心に位置し、中核都市として独立商圏を形成している。

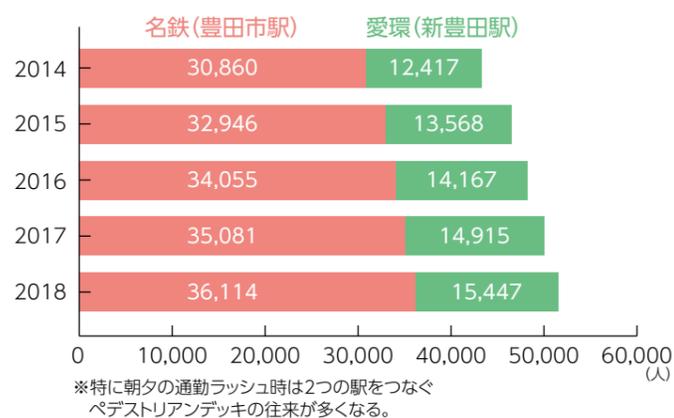
》鉄道



<近隣からのアクセス>

名古屋鉄道			
名古屋	⇒⇒⇒	豊田市駅	60分
	780円	※名鉄豊田線経由	
知立	⇒⇒⇒	豊田市駅	25分
	410円		
愛知環状鉄道			
岡崎	⇒⇒⇒	新豊田駅	30分
	510円		
瀬戸市	⇒⇒⇒	新豊田駅	30分
	510円		

<1日の平均乗降客数> 出典：豊田市統計書（2018年度版）

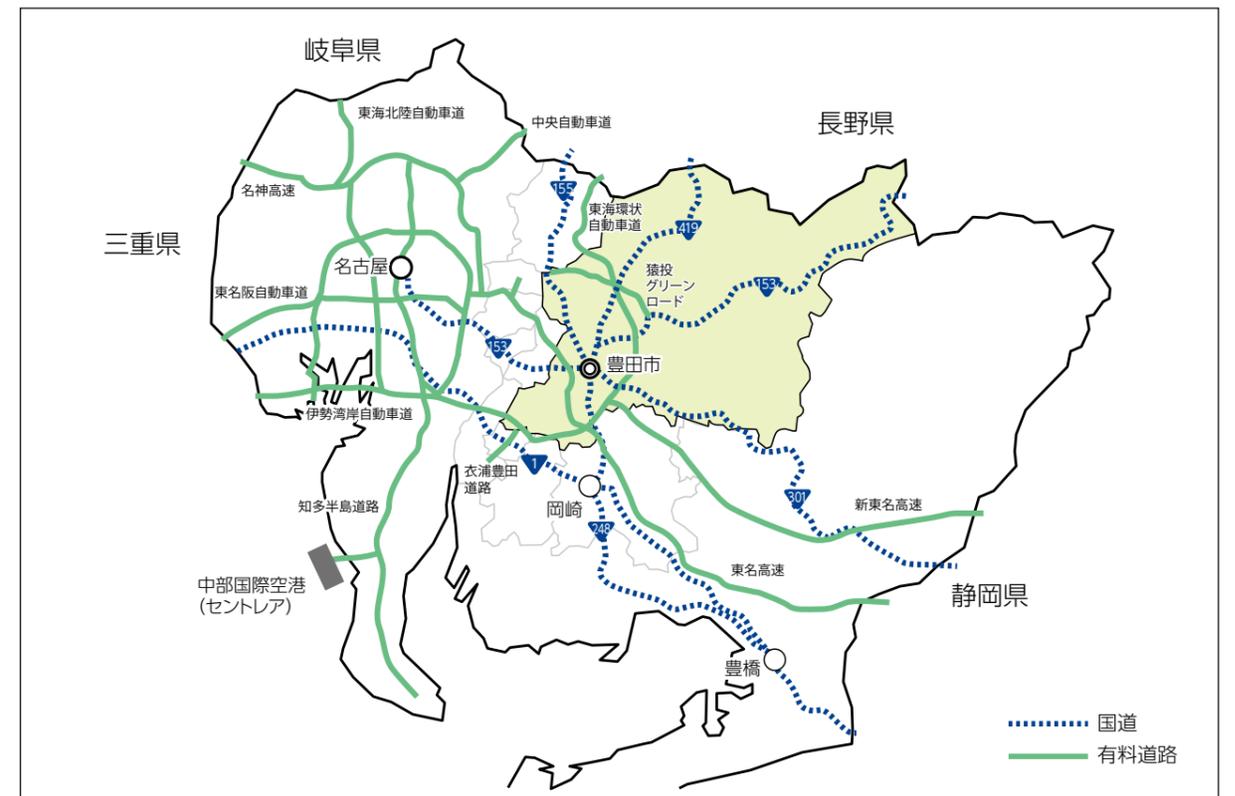


- 名鉄線の2線（豊田線・三河線）は都市間交通手段として利用されている。特に周辺地域のベッドタウン化による利用者の増加により運行本数の増加、始発・最終電車の延長サービスが図られている。
- 2005年愛知万博開催に伴い、八草駅と名古屋市の藤が丘をつなぐ東部丘陵線（リニモ）が開通した。
- 愛知環状鉄道は2008年3月より新豊田―三河豊田間で複線化され通勤通学を中心とした乗降客数が増加している。

》バス

- 名鉄バスが、豊田市駅東西ターミナルより発着し、中心市街地から周辺部へ運行している。1日約5,000人の人が豊田市郊外の交通手段として利用している。
- 2007年より豊田市基幹バス「おいでんバス」の運行が始まり、豊田市駅と旭、稲武、小原、下山、藤岡、足助地区を結ぶ路線となっている。

》道路交通



<近隣からのアクセス>

名古屋	⇒⇒⇒	豊田	60分
	29km		
豊橋	⇒⇒⇒	豊田	100分
	47km		
岡崎	⇒⇒⇒	豊田	40分
	17km		

<自動車・軽自動車登録台数の推移> 出典：豊田市統計書（2018年度版）



- 新東名、東海環状道路の整備により、市内に7のIC、3つのSA、PA、2つのJCTが存在する県内有数の交通拠点になりつつある。

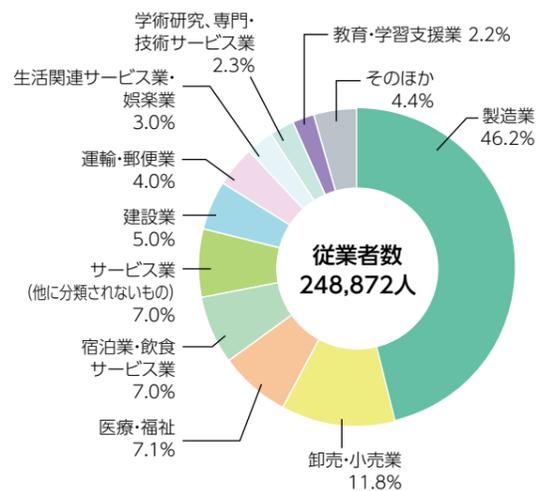
豊田市の産業

・豊田市 市勢ガイド2021 より

2016年の経済センサス活動調査による産業別従業者数の割合は、第2次産業（製造業、建設業等）が51.2%、第3次産業（卸・小売・サービス業等）が44.4%を占めている。

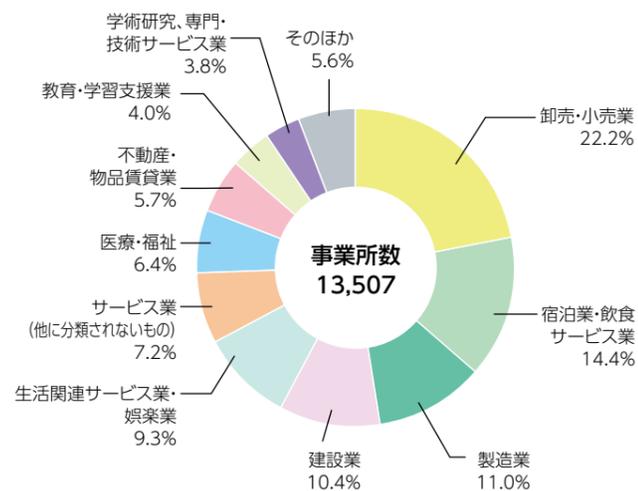
産業大分類別従業者数構成比

(2016年 経済センサス活動調査結果)



産業大分類別事業所数構成比

(2016年 経済センサス活動調査結果)



農家数・農家人口の推移

(各年2月1日現在・農業センサス)
※2010年の増加は合併によるもの



商店数・従業者数・年間商品販売額の推移

(商業統計調査)

年次	商店数	従業者数 (人)	年間商品販売額 (万円)
1997年	3,129	23,100	164,019,263
2002年	2,799	25,256	149,030,179
2004年	2,685	24,176	154,605,992
2007年	2,873	26,725	164,520,883
2014年	2,297	21,758	167,286,800

工場数・従業者数・製造品出荷額等の推移

(「工業統計調査」より、従業者4人以上の事業所)

年次	工場数	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (万円)
2013年	859	104,219	1,270,676,608
2014年	860	105,996	1,308,473,198
2017年	835	114,528	1,424,627,242
2018年	816	114,974	1,459,029,067
2019年	801	115,946	1,535,695,893

※2015年、2016年は調査未実施

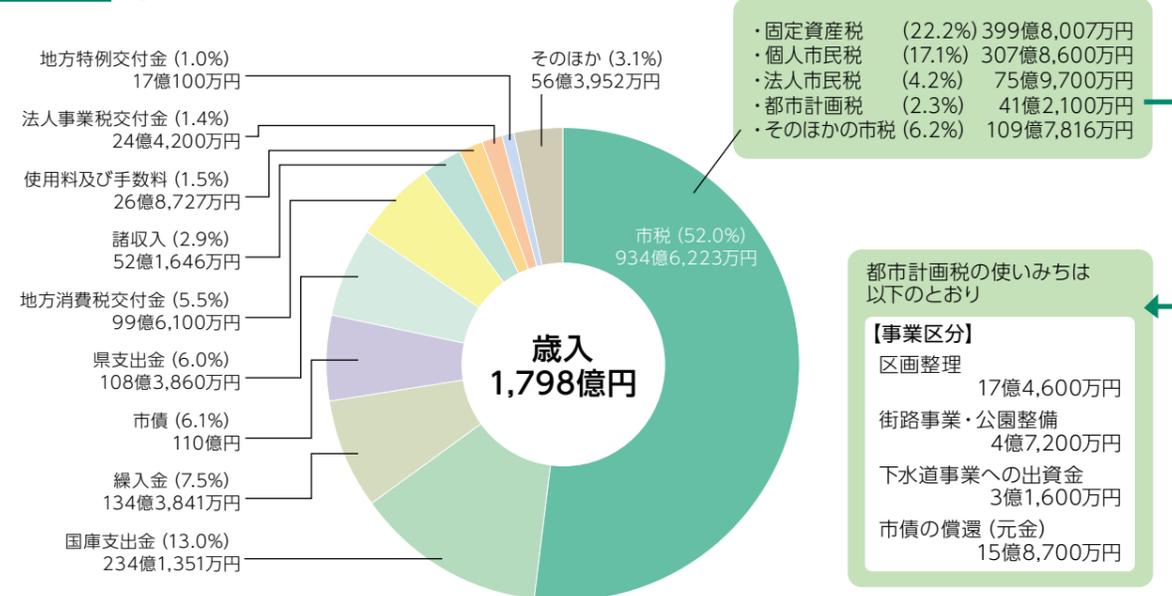
豊田市の財政

・豊田市 市勢ガイド2021 ・予算のあらまし
・当初予算関連資料 より

2021年度豊田市の当初予算

総額 2,875億5,046万円 前年比0.9%減

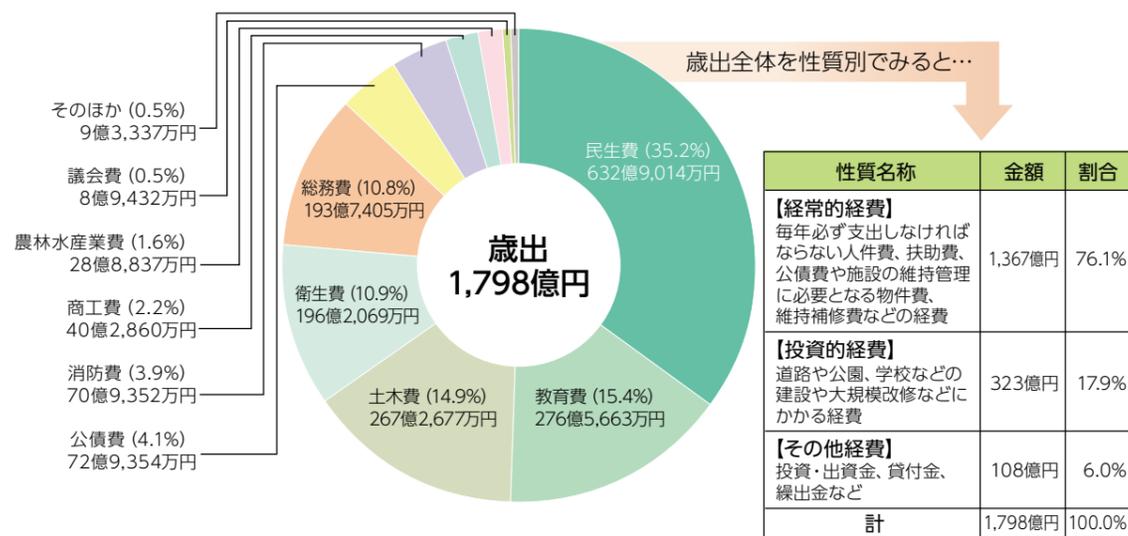
一般会計 1,798億円 (前年比1.5%減)



- 固定資産税 (22.2%) 399億8,007万円
- 個人市民税 (17.1%) 307億8,600万円
- 法人市民税 (4.2%) 75億9,700万円
- 都市計画税 (2.3%) 41億2,100万円
- その他の市税 (6.2%) 109億7,816万円

都市計画税の使いみちは以下のとおり

事業区分	金額 (万円)
区画整理	17億4,600万円
街路事業・公園整備	4億7,200万円
下水道事業への出資金	3億1,600万円
市債の償還 (元金)	15億8,700万円



性質名称	金額	割合
【経常的経費】 毎年必ず支出しなければならない人件費、扶助費、公債費や施設の維持管理に必要となる物件費、維持補修費などの経費	1,367億円	76.1%
【投資的経費】 道路や公園、学校などの建設や大規模改修などにかかる経費	323億円	17.9%
【その他経費】 投資・出資金、貸付金、繰入金など	108億円	6.0%
計	1,798億円	100.0%

(単位未満は適宜端数整理を行っています)

特別会計 698億6,568万円 (前年比2.9%減) 企業会計 378億8,478万円 (前年比5.9%増)

特別会計とは、市が特定の事業を行う場合に、一般会計と区別して設置する会計で、その特定の収入をもって特定の支出に充てるもの。
国民健康保険、介護保険、土地区画整理など、10会計がある。

企業会計とは、独立採算制を原則とする企業の色彩の強い事業の会計。
水道事業会計と下水道事業会計の2会計がある。

周辺商業施設概要

大規模店舗 (2021年4月現在)

豊田市の近郊は、15～64才の生産年齢人口比率が全国平均より高く、1人あたりの平均所得が高いことなどを理由に、優良マーケットと考えられている。そのため中小店と大型店、中心部と郊外がそれぞれの役割を担い、すみわけを進めている。

》大規模店舗施設概要

KitARA..... 豊田市喜多町/建築延床面積約60,000㎡/駐車場286台
2017年11月オープン。3棟のビルで構成され、アミューズメント (イオンシネマ豊田)、オフィス、高齢者施設、住宅ほか飲食店が並び、中心市街地の新たな機能付加により昼間人口の増が期待されている。

コモ・スクエア..... 豊田市喜多町/建築延床面積約60,200㎡/駐車場250台
2棟のビルで構成され、1棟は豊田キャッスルホテル、大型スポーツ施設、オフィスで構成。もう1棟は飲食店、美容サービスを中心とした店舗で構成されている。2008年には住居棟も完成した。

メグリアセントレ+GAZA..... NSC/豊田市喜多町/売り場面積約15,000㎡/駐車場1,544台
1階はトヨタ生協食品売り場で地元商圏を獲得し、2階には「ファッションセンターしまむら」「シュララー」などが出店。3階には「ユニクロ」「くまざわ書店」などが出店し、駐車場が隣接している。

イオンスタイル豊田..... NSC/豊田市広路町/店舗面積23,630㎡
2017年9月建替リニューアルオープン。「NEWわたし LIFE STYLE」をコンセプトに3世代をターゲットとし、モノ、コトを提案している。

イオン高橋店..... NSC/豊田市東山町/店舗面積14,688㎡/駐車場2,300台
豊田市東部の住宅地に立地するCSC。豊田店と同様に隣接地に広大な2棟の駐車スペースを有している。商品構成はデイリー性の高い品揃えであり、商圏顧客のライフスタイルに溶け込んでいる。

メグリア本店..... NSC (生協)/豊田市山之手/店舗面積13,310㎡/駐車場2,000台
トヨタ自動車系の企業生協。商品構成はファッション、リビング、食品ともデイリーな商品を中心に展開し、とりわけ、食料品が強く賑わいがある。イオンと同様、店舗地下・隣接地に広大な駐車場がある。

MEGAドン・キホーテUNY豊田元町店..... CSC/豊田市土橋町/店舗面積9,675㎡/駐車場1,050台
アピタ豊田元町店からMEGAドン・キホーテUNY豊田元町店へ2018年春リニューアルオープンした。隣接駐車場には「スターバックス」「マクドナルド」のドライブスルーが設置されている。

メグリアMパーク店..... NSC/豊田市前山町/店舗面積24,128㎡/駐車場652台
2016年9月オープン。ワンフロアで構成され「豊田自動車学校」「スーパーマーケット」「専門店街」と3つのゾーンが共存する複合施設。

豊田四郷駅周辺土地区画整理事業..... 豊田市四郷町/施工面積260,016㎡
住みやすく魅力的な街となるよう複合商業施設、公共施設、先進的な戸建住宅、集合住宅が整備された。

三越名古屋星ヶ丘店 百貨店/名古屋市千種区/店舗面積21,798㎡/駐車場1,000台

星ヶ丘テラス SC/名古屋市千種区/店舗面積9,541㎡/駐車場1,474台

イオンモール岡崎 SC/岡崎市戸崎町/店舗面積95,000㎡/駐車場4,300台

アピタ岡崎北 SC/岡崎市日名北町/店舗面積19,849㎡/駐車場1,800台

アイ・モール三好 SC/みよし市三好町/店舗面積40,793㎡/駐車場2,500台

ギャラリアアピタ知立 SC/知立市長篠町/店舗面積27,157㎡/駐車場3,000台

グランパルクアピタ長久手 SC/長久手市/店舗面積27,845㎡/駐車場2,100台

イオンモール東浦 SC/東浦町/店舗面積45,512㎡/駐車場4,000台

ウィングタウン岡崎 SC/岡崎市羽根町/店舗面積13,330㎡/駐車場1,350台

ヒルズウォーク徳重ガーデンズ SC/名古屋市緑区/店舗面積25,554㎡/駐車場1,100台

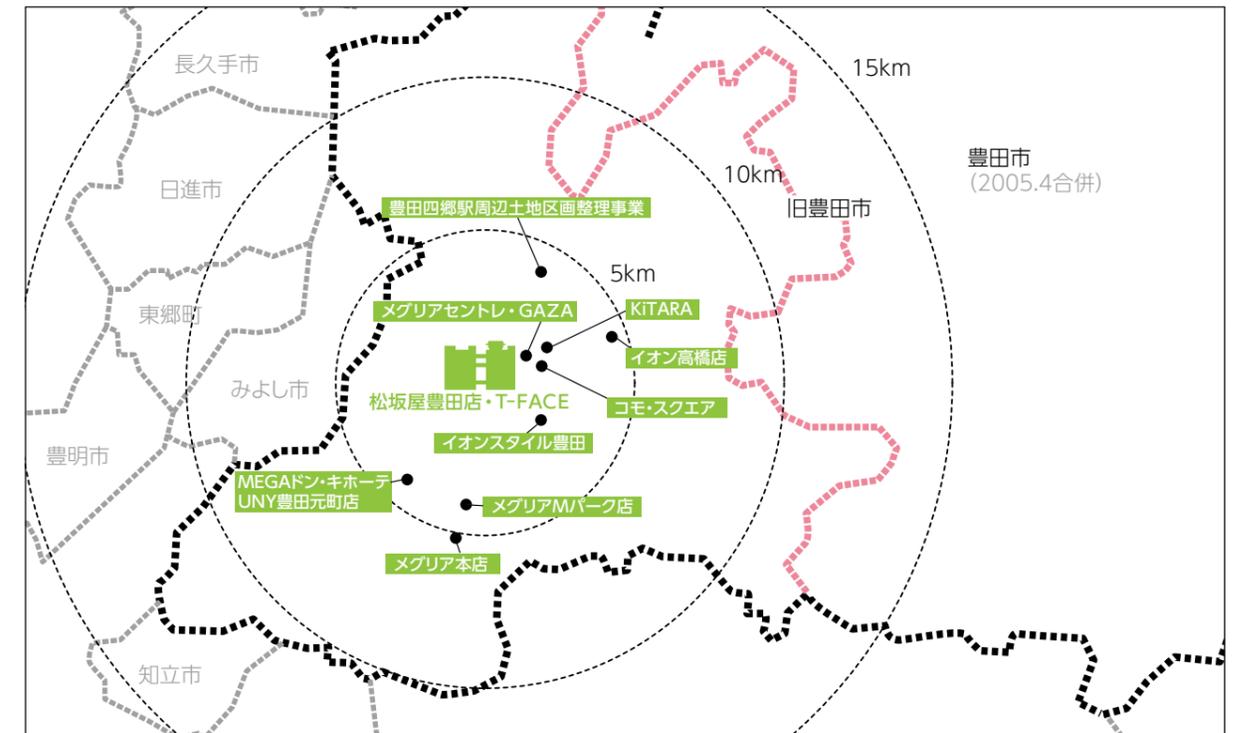
イオンモール長久手 SC/長久手市/店舗面積59,000㎡/駐車場2,600台

イケア長久手 長久手市/店舗面積31,192㎡/駐車場1,450台

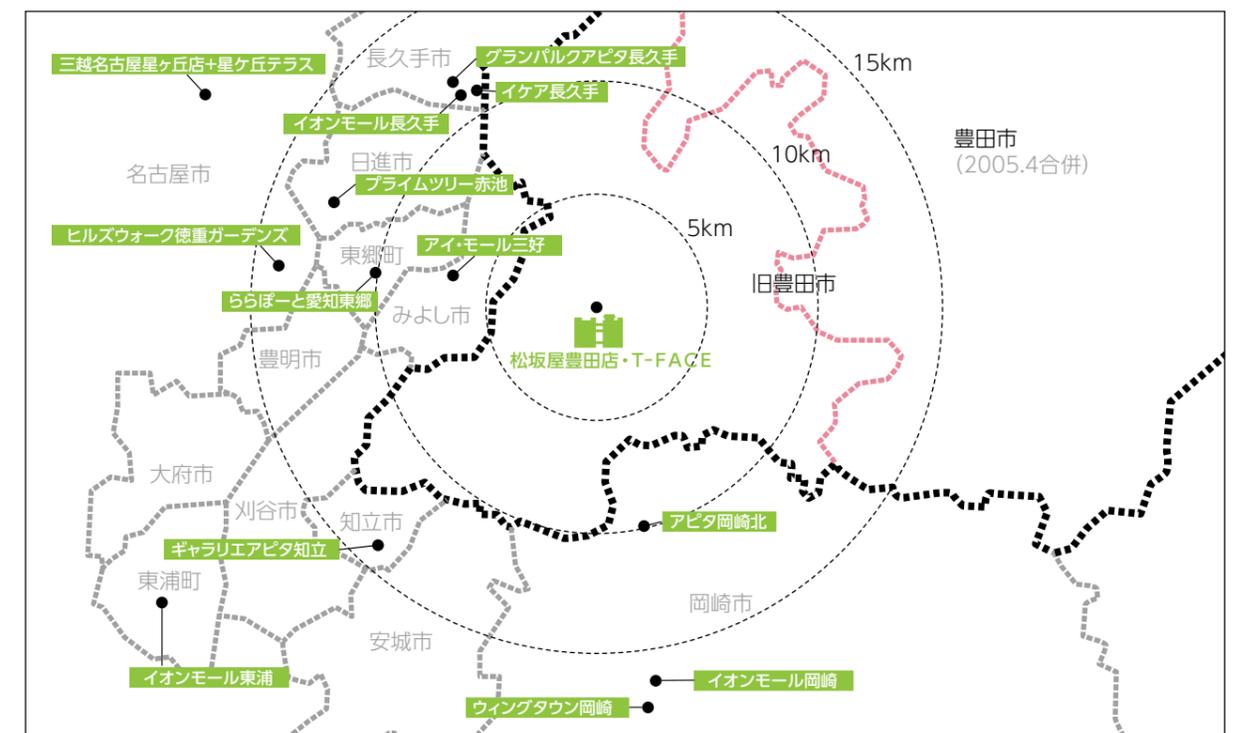
プライムツリー赤池 SC/日進市赤池/店舗面積43,600㎡/駐車場2,253台

ららぽーと愛知東郷 SC/愛知郡東郷町/店舗面積63,900㎡/駐車場3,900台

》豊田市周辺大規模店舗位置図



》広域大規模店舗位置図 (半径約15km圏内)



豊田市中心市街地の通行量調査

2020年度豊田市中心市街地の歩行者通行量の状況

》通行量データの引用について

豊田市中心市街地に設置(2008年4月設置)された歩行者通行量を自動で計測する装置「豊田市歩行者通行量自動計測装置」よりデータを引用。

[計測地点] 22地点 ※うち2地点は駅前整備のため撤去中、1地点は2019年度に新規設置。

[計測時間] 毎日5時～24時(19時間)を自動計測および集計

[装置設置者] 豊田市産業部商業観光課

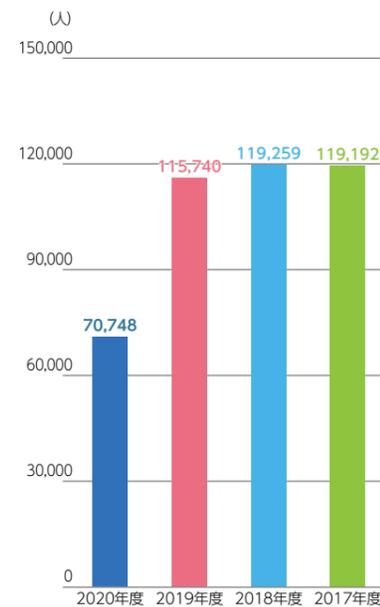
》豊田市中心市街地歩行者通行量自動計測装置における年間集計結果

※新規設置地点、地点22「KITARAデッキ」の通行量は除外して集計。

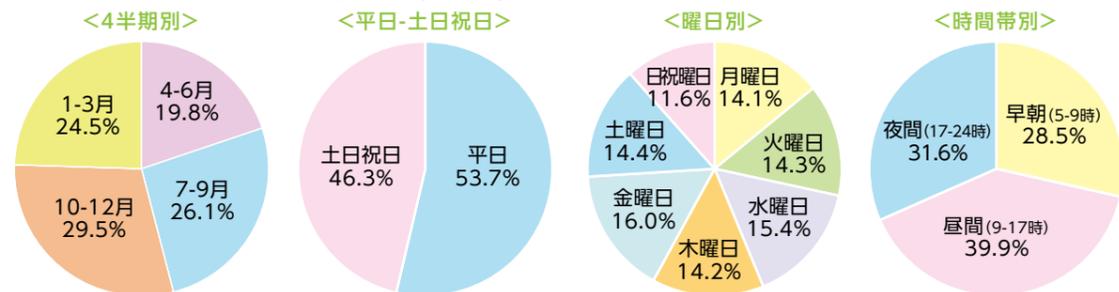
●年度別 全21地点合計通行量(5-24時)推移 (単位:人)

項目	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度	2020/2019 対比
年間計	25,822,992	42,360,728	43,529,620	43,504,919	61.0%
四月半					
4-6月	1,706,603	3,704,213	3,654,115	3,659,991	46.1%
7-9月	2,248,685	3,801,832	3,758,393	3,754,869	59.1%
10-12月	2,543,312	3,698,638	3,791,807	3,802,999	68.8%
1-3月	2,109,063	2,915,560	3,305,558	3,283,781	72.3%
月平均	2,151,916	3,530,061	3,627,468	3,625,410	61.0%
曜日別 1日平均					
月曜日	70,359	103,804	106,921	108,426	67.8%
火曜日	71,541	106,284	113,269	113,843	67.3%
水曜日	76,767	118,731	119,045	121,186	64.7%
木曜日	71,135	110,961	116,881	117,034	64.1%
金曜日	80,090	134,648	140,806	143,825	59.5%
土曜日	72,127	132,824	129,013	131,624	54.3%
日曜日	57,753	105,746	110,900	103,792	54.6%
平日	74,054	115,188	119,659	120,914	64.3%
土日祝日	63,914	116,844	118,422	115,585	54.7%
1日平均	70,748	115,740	119,259	119,192	61.1%
時間帯 1時間平均					
早朝(5-9時)	3,085	4,791	5,014	5,046	64.4%
昼間(9-17時)	4,313	6,413	6,454	6,467	67.3%
夜間(17-24時)	3,415	6,467	6,796	6,753	52.8%
1時間平均	3,724	6,092	6,277	6,273	61.1%

●2020年度 全21地点合計 1日平均通行量(5-24時)



●2020年度 全21地点合計1日平均通行量(5-24時)対比グラフ



<過去の通行量との比較>

- ・年間合計の通行量…新型コロナウイルス(COVID-19)の影響により、前年比39.0ポイントの減少。
- ・4半期毎の比較…新型コロナウイルス(COVID-19)の流行の始まりとなった4～6月シェアは、前年26.2%から19.8%に減少。
- ・曜日別の比較…新型コロナウイルス(COVID-19)の影響による外出自粛のため、土日祝シェアは、前年50.6%から46.3%に減少。
- ・時間帯別の比較…新型コロナウイルス(COVID-19)の影響による飲食店営業の自粛のため、夜間シェアは、前年36.6%から31.6%に減少。

●2020年度 地点別1日平均通行量(5-24時)平日と休日(土日祝)の通行量上位5地点 (単位:人)

順位	平日		休日(土日祝)	
	地点名	1日平均通行量	地点名	1日平均通行量
1位	名鉄豊田市駅西口	16,988	名鉄豊田市駅西口	12,811
2位	名鉄豊田市駅東口	12,662	名鉄豊田市駅東口	11,702
3位	新豊田駅東口	8,462	駅東口デッキ北	6,303
4位	精文館書店前	6,390	精文館書店前	6,251
5位	駅東口デッキ北	5,561	ロッセリア前	4,952

※通行量データは、年間の1日平均通行量。

平日の上位地点は、例年と変わらなかったが、通行量は33～40%の減少幅となっている。また、休日は、地点名 駅東口デッキ北が昨年5位から3位にアップしたが、通行量の減少幅は42～49%となった。

●2020年度 全21地点合計通行量(5-24時) 日別通行量『年間ベスト10』

※新規設置地点、地点22「KITARAデッキ」の通行量は除外して集計。

順位	日にち	曜日	天気	通行量	与件
1位	12月19日	土曜日	晴	135,264	Jリーグ グランパスVSサンフレッチェ広島(観客数16,825人)/S&P MARKET
2位	11月21日	土曜日	晴	123,516	Jリーグ グランパスVS湘南ベルマーレ(観客数15,480人)/S&P MARKET
3位	11月15日	日曜日	晴	115,008	Jリーグ グランパスVS FC東京(観客数16,709人)
4位	10月18日	日曜日	晴	110,305	挙母まつり 本楽(開催中止)
5位	3月6日	土曜日	晴	110,266	市政70周年式典/WE LOVE とよたフェスタ
6位	9月26日	土曜日	晴	109,472	Jリーグ グランパスVS清水エスパルス(観客数11,002人)
7位	9月19日	土曜日	曇	108,307	Jリーグ グランパスVSヴィッセル神戸(観客数11,854人)
8位	12月25日	金曜日	曇	108,253	
9位	3月17日	水曜日	晴	107,508	
10位	6月26日	金曜日	晴	104,855	

昨年度1位は、第51回豊田おいでんまつり花火大会の開催日(374,893人)だったが、今年度はイベント開催自粛と来場者制限のため、イベント開催されたランクイン上位の日においても、例年ほどの通行量には至っていない。

【参考】 第3期豊田市中心市街地活性化基本計画 目標指標における通行量状況

歩行者通行量
(昼間9～17時)

基準値(2016)
31,507人/日

約3.4%増

基準値(2022)
32,584人/日

(単位:人)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
歩行者通行量(昼間9～17時)	31,507	32,007	32,094	32,318	22,124		
進捗率(基準値対比)	—	101.6%	101.9%	102.6%	70.2%		
達成率(目標値対比)	96.7%	98.2%	98.5%	99.2%	67.9%		

第3期豊田市中心市街地活性化基本計画では、特定地点における昼間(9時から17時まで)の豊田市中心市街地の歩行者通行量を目標指標として設定。2020年度は、新型コロナウイルス(COVID-19)の影響により、67.9%と低い達成率となった。

豊田市中心市街地商業現況調査

2020年度豊田市中心市街地商業現況調査概要

調査主体 豊田市産業部商業観光課

調査概要 調査内容：営業店舗の業態と業種及び空き店舗の現状を調査
 調査方法：調査員の目視による確認調査及びアンケート調査
 調査区域：豊田市中心市街地基本計画196ha
 調査期間：現地調査：2021年1月14日～2021年1月31日
 アンケート調査：2021年2月1日～3月9日

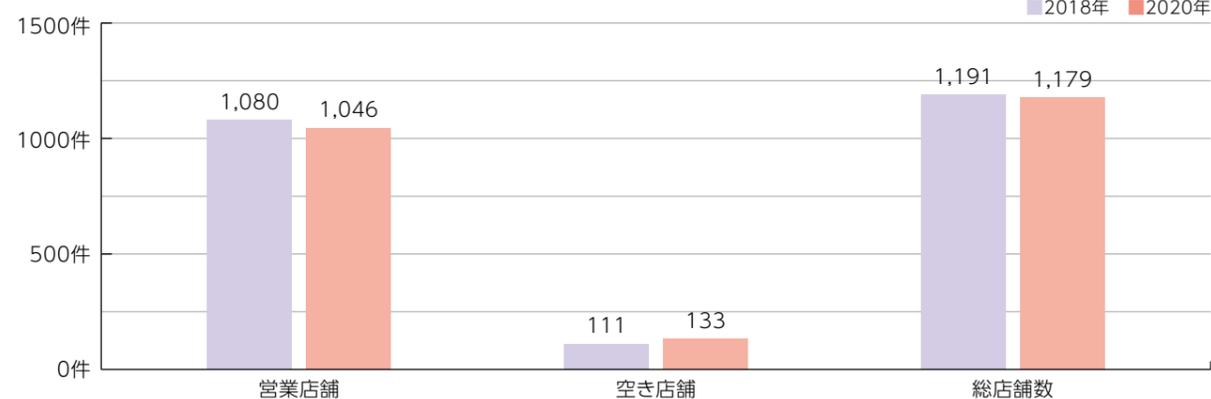
調査結果

基本計画196haの営業店舗及び空き店舗の数と推移

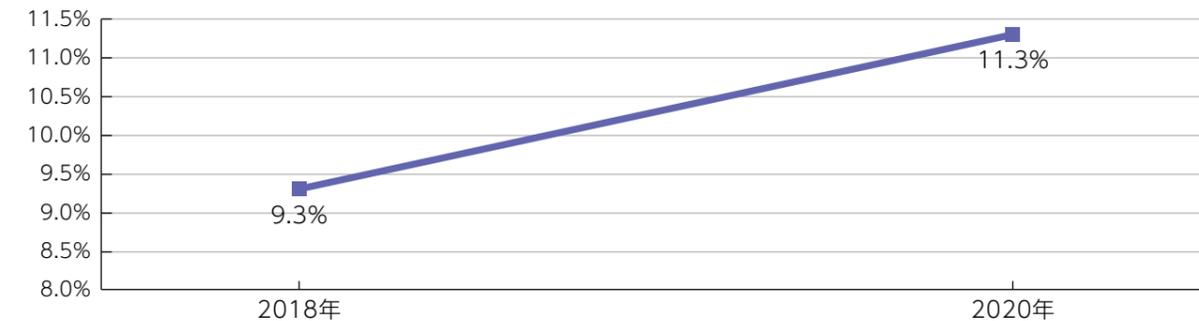
- 基本計画196haの合計が2018年度の1,080件と比較すると、2020年度は1,046件で、34件減少した。
- 基本計画196ha全体の店舗数1,179件のうち営業店舗数は1,046件、空き店舗数は133件であった。
- 基本計画区域全体の営業店舗数は2018年度と比較すると、34件減少した。
- 空き店舗率が11.3%と10%を上回り、2018年度と比較すると2年間で2.0%増加した。

	営業店舗		空き店舗		合計	
	件数	構成比率	件数	構成比率	件数	構成比率
2020年度	1,046	88.7%	133	11.3%	1,179	100.0%
2018年度	1,080	90.7%	111	9.3%	1,191	100.0%

営業店舗の業態別構成比及び経年比較



空き店舗率経年比較

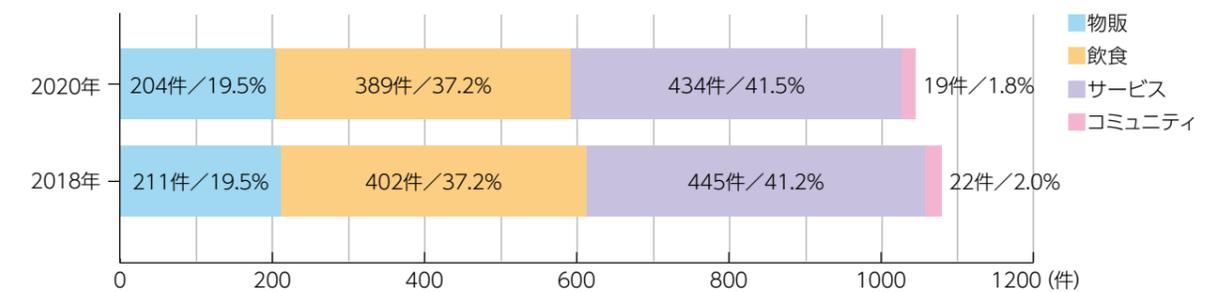


営業店舗の現状と推移

- 基本計画区域全体で最も多い業態は「サービス」445件(41.2%)であった。次いで、「飲食」402件(37.2%)、「物販」211件(19.5%)の順となった。
- 1位「サービス」、2位「飲食」、3位「物販」の順位は、これまでの調査と変化はない。
- これまでの調査から業態ごとの店舗数の推移をみると、「飲食」と「サービス」が増加し、「物販」は大幅に減少している。

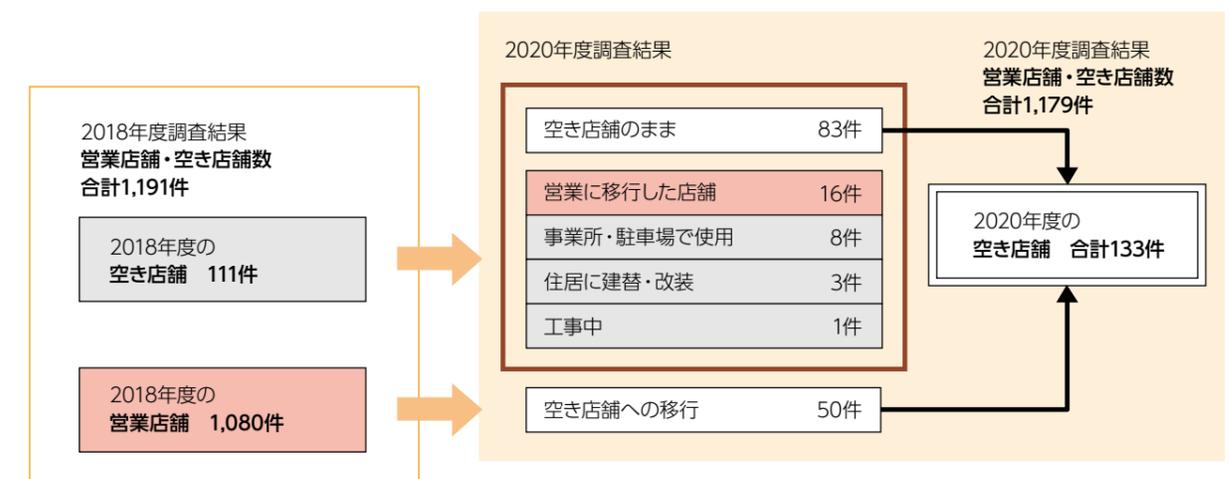
	物販			飲食				サービス	コミュニティ			総計
	大型店	物販	計	昼夜営業	昼のみ	夜のみ	計		文化施設	メント	アミューズ	
2020年度	7	197	204	88	17	284	389	434	9	10	19	1,046
2018年度	7	204	211	88	24	290	402	445	10	12	22	1,080

営業店舗の業態別構成比及び比較



空き店舗の変化及び営業店舗から空き店舗への変化

- 2020年度の調査では、空き店舗の数は133件であった。
- 2020年度の調査では、2018年度に営業店舗であった50件が、空き店舗に移行した。
- 2018年度の調査では、空き店舗は111件であり、この空き店舗の推移を調査した結果は以下のとおりであった。
- 2018年度調査時の空き店舗111件の推移の内訳は、16件が営業店舗、8店舗がその他項目(事業所、駐車場等)、4件が調査対象外(住居等)に移行し、83件が空き店舗のままであった。



豊田まちづくり(株)の設立経緯・事業経過 及びまちの変遷 1

2000年(H12年)

- 7月12日 (株)豊田そごう民事再生手続き開始の申立て
- 9月 1日 豊田市がA館9階に子育て支援センターを開業
- 10月25日 豊田そごう閉店発表
- 10月30日 中心市街地まちづくり会議、(協)豊田市商店街連盟が豊田市長へ要望書提出
- 11月 2日 市議会思政クラブが豊田市長へ要望書提出
- 11月27日 豊田商工会議所が「中心市街地の活性化・再生に関する提案・要望書」(再生スキーム案)を豊田市長に提出
- 12月13日 豊田市が中心市街地を考えるまちづくり意識調査(アンケート)実施
- 12月25日 豊田そごう閉店

2001年(H13年)

- 3月 9日 そごう再生本部との交渉妥結
- 3月16日 そごう債権銀行団との交渉妥結
- 3月21日 3月定例市議会で緊急活性化条例、貸付金の予算可決
- 4月12日 豊田市より、とよた商人(株)に48億円の貸付実行
- 4月13日 とよた商人(株)が(株)豊田そごうの土地、建物、債権を取得

2002年(H14年)

- 4月16日 (株)松坂屋との出店に関する基本合意書調印(株)松坂屋が出店表明
- 4月18日 東京地方裁判所にて(株)豊田そごう破産決定
- 4月20日 臨時株主総会、とよた商人(株)を改組、豊田まちづくり(株)に商号変更、新役員選任
- 6月27日 2000年度・第7期 定時株主総会
- 9月29日 資本金確定(4億9,090万円)
- 10月25日 松坂屋豊田店開店、とよた市民活動センター開業
- 1月28日 (株)マイカルが豊田サティを含む19店舗閉鎖を発表
- 2月26日 豊田まちづくり(株)、豊田都市開発(株)臨時株主総会にて分割契約書承認
- 3月29日 豊田市が豊田まちづくり(株)をTMO法人として認定
- 3月31日 豊田まちづくり(株)が分社型吸収分割により、豊田都市開発(株)を統合
- 4月 1日 会社分割登記、TMO法人豊田まちづくり株式会社の発足
- 4月10日 豊田都市開発(株)が会社解散決議
- 4月16日 臨時株主総会

2003年(H15年)

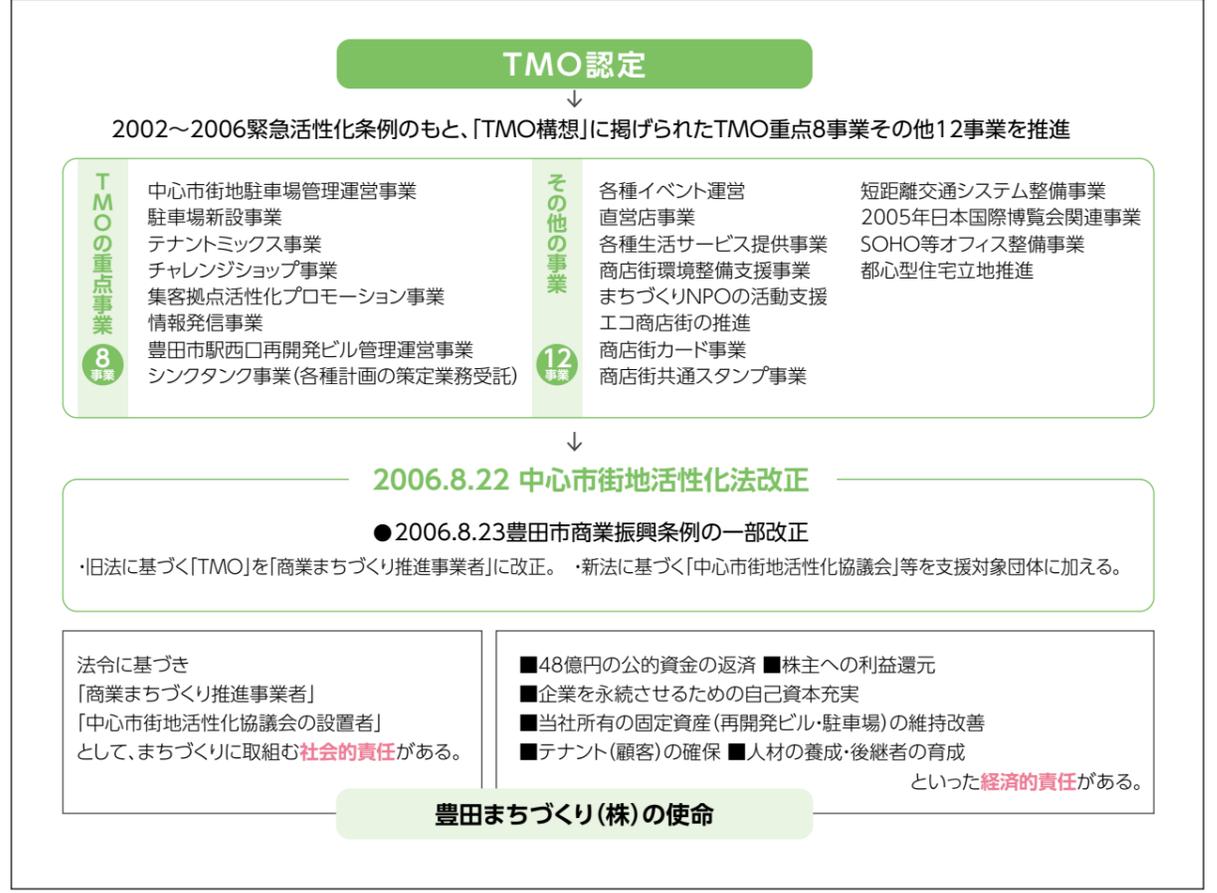
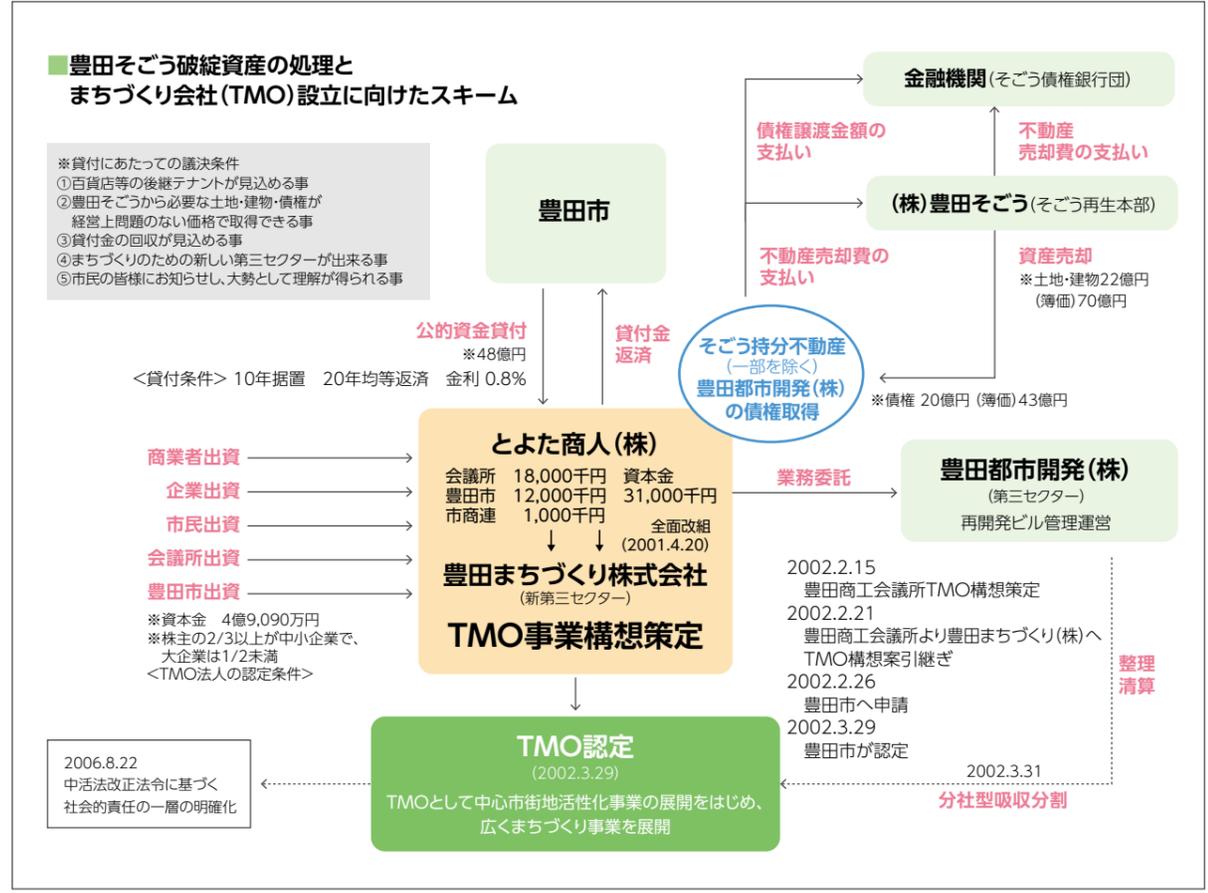
- 4月26日 トヨタ生協が豊田サティ後継店としてギャザビルへの出店方針を発表
- 5月31日 豊田サティ閉店
- 6月28日 2001年度・第8期 定時株主総会
- 7月15日 メグリアセントレ(トヨタ生協)1階(食品)オープン
- 10月19日 メグリアセントレ(トヨタ生協)2階(衣料・雑貨)オープン
- 11月 1日 まちなかクリーンアップ活動開始
- 11月 2日 チャレンジショップ「TM SEED」開業
- 4月 1日 中心市街地フリーパーキング事業の開始
- 5月30日 豊田まちづくり(株)が大型空き店舗活用支援事業補助金を活用してギャザビル3階にテナント誘致、オープン
- 6月30日 2002年度・第9期 定時株主総会
- 8月22日 まちなか宣伝会議立ち上げ
- 9月 6日 ヤンチャタウン実行委員会が「まちなかレンタサイクル」事業開始
- 3月 5日 B館T-FACE3階リニューアルオープン
- 3月20日 TM若宮パーキング竣工

2004年(H16年)

- 6月30日 2003年度・第10期 定時株主総会
- 8月30日 TM若宮パーキング1階 豊田市ITS情報センター「みちなびとよた」開業
- 8月31日 多目的広場(シティプラザ)整備事業改修完了
- 11月 6日 チャレンジショップ「TM SEED」リニューアルオープン

2005年(H17年)

- 3月19日 東海環状自動車道牧ケ池公園ハイウェイオアシスにコンビニエンスストア開業
- 3月31日 2004年度決算で過去の累損を解消
- 4月 1日 1市・4町・2村合併による「新・豊田市」誕生
- 5月25日 2005年度第2回取締役会 借入金48億(豊田市)の早期返済開始を決議
- 6月 8日 豊田市より、商業活性化推進3ヶ年計画(2005年度~2007年度)の認定
- 6月29日 2004年度・第11期 定時株主総会
- 7月29日 豊田市からの借入金の繰上げ返済開始
- 10月 1日 ショッピングカート共同利用事業化(オリジナルカート導入)



会社について
豊田まちづくり(株)の事業
豊田市中心市街地活性化協議会
豊田市の取組み
その他
資料

豊田まちづくり(株)の設立経緯・事業経過 及びまちの変遷 2

2006年(H18年) 経営強化前進の期(第一期3ヶ年計画)	10月25日	桜町本通り商店街振興組合ファサード整備事業がTMO計画認定
	1月 5日	産業文化センター駐車場がフリーパーキング事業に加盟開始
	3月15日	豊田商工会議所会館竣工
	4月 1日	エコステーション21豊田駅西(ビル外周駐輪場有料化事業)開業
	4月30日	「桜町本通り商店街ファサード事業」「市道中町線・桜町1号線道路整備事業」完成式典
	6月28日	2005年度・第12期 定時株主総会
	7月 8日	「桜町本通り商店街八日朝市」初開催
	8月 7日	豊田市がまちなかレンタルサイクル社会実験開始
	8月22日	中心市街地活性化法改正
	10月 7日	T-FACE飲食店街リニューアルオープン
	10月10日	豊田市中心市街地活性化協議会設立
	11月16日	コモパーキングオープン
11月17日	ホテルトヨタキャッスルオープン	
12月 1日	まちなかワンナイトパーキング事業(実験)開始	
2007年(H19年)	4月27日	コモ・スクエアオープン
	6月 1日	桜町ほうだら会、豊田市等とともに都市景観大賞・「美しいまちなみ優秀賞」受賞 電波の日にTM若宮パーキングでのDSRC活用が東海総合通信局より表彰
	6月27日	2006年度・第13期 定時株主総会 剰余金の配当を決議
	7月 1日	豊田まちづくり(株)がまちなかレンタサイクル事業開始
	3月 4日	第8回中心市街地活性化協議会にてTCCM設置の決議
	4月15日	第1回TCCM定例会議、TCCM活動スタート
	5月26日	豊田市より商業活性化推進3ヶ年計画(2008年度～2010年度)の認定
	6月25日	2007年度・第14期定時株主総会
	7月 9日	国が「豊田市中心市街地活性化基本計画 第1期計画」(2008年7月～2013年3月)を認定
	10月 1日	豊田市がA館T-FACE9階に「とよた子どもの権利相談室」開業
	10月 8日	T-FACE開業20周年
	2009年(H21年)	1月23日
2月26日		愛知県公安委員会が豊田まちづくり(株)を警備業認定
3月 6日		とよた元気プロジェクト「WE LOVE とよた」発足
3月31日		豊田市より「まちづくり構想(商業まちづくり推進事業者)」の認定

2010年(H22年) 原点回帰の期(第四期3ヶ年計画)	4月 4日	行政・商店街・地域住民共働で進めてきた竹生線道路・街路灯完成記念式典
	4月24日	愛知県が豊田市中心市街地を第一種大規模小売店舗立地法特例区域に指定 ①国道155号線並びに豊田市道駅西第2号線、榎通り線及び駅西5号線で囲まれた区域 ②豊田市道大洞長生線、蔵前陣中線、西町若宮線及び豊田市駅東歩行者道線で囲まれた区域
	6月 2日	全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第3回総会にて鈴木社長が会長就任
	6月26日	2008年度・第15期定時株主総会
	7月25日	第41回豊田おいでんまつり開催(豊田おいでんまつりをこの年より当社が受託)
	9月14日	豊田市緊急雇用創出事業としてまちなかおもてなしパトロール事業開始
	9月26日	中心市街地まちづくり活動センター「パブリカ」オープン
	10月 1日	全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第5回勉強会(in高松市丸亀町)
	10月28日	飲食店ストリート構築事業「西町はしご酒No.1」開催
	11月 7日	新チャレンジショップ「TM SEED」移転オープン
	12月16日	豊田市初ビジネスフェア開催(受託事業)
	2011年(H23年)	2月18日
2月24日		飲食店ストリート構築事業「西町はしご酒No.2」開催
3月31日		経済情勢の変動により第三期3ヶ年計画は2010年3月末にて終了
4月 9日		豊田市が経産省の次世代送電網「スマートグリッド」実証実験都市に選定
5月19日		全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第4回総会
6月25日		2009年度・第16期定時株主総会
7月24日		第42回豊田おいでんまつり開催(受託事業)
8月 2日		「打ち水大作戦2010 inとよた竹生線」開催
9月 1日		飲食店ストリート構築事業「西町はしご酒No.3」開催
10月 1日		B館T-FACE1階リニューアルオープン
10月 6日		全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第7回勉強会(in松山市)
10月13日		飲食店ストリート構築事業・経産省認定「西町商店街協同組合商店街活性化事業計画」事業「豆庵」開業
2012年(H24年)	2月17日	全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第8回勉強会(in宮崎市)
	3月 2日	飲食店ストリート構築事業「西町はしご酒No.4」開催
2013年(H25年) 変革への始動期(第五期3ヶ年計画)	3月 4日	「西桜町通り花灯り(第1回)」開催
	3月25日	鞍ヶ池スマートIC竣工
	4月 1日	豊田市より商業活性化推進3ヶ年計画(2011年度～2013年度)の認定
	5月18日	全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第5回総会(株)まちづくり松山へ会長をバトンタッチ
	6月29日	2010年度・第17期定期株主総会
	7月 1日	とよた元気プロジェクト震災復興支援「ひまわり商品券」販売
	7月25日	「とよたまちなか打ち水大作戦2011」開催(運営協力)
	7月30日	第43回豊田おいでんまつりの開催(受託事業)
	8月 6日	重要伝統的建造物群保存地区選定記念シンポジウム「足助の町並みの挑戦」開催(運営受託)
	9月11日	JAあいち豊田わくわく元気まつりin鞍ヶ池(受託事業)
	9月12日	飲食店ストリート構築事業「西町はしご酒No.5」開催
	10月13日	全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第9回勉強会(in長浜市)
10月19日	松坂屋豊田店開店10周年大誕生祭	
10月21日	豊田市商業活性化交付金事業「青空ひろば」開催(屋上緑化検討事業)	
11月25日	「西桜町通り花灯り(第2回)」開催	
2014年(H26年)	3月 2日	B館T-FACE3階、4階リニューアルオープン
	4月 1日	市有4駐車場(喜多町、GAZA、参合館、コモ)を豊田市から借受けての管理運営開始 T-FACE新売上管理システム運用開始、電子マネー決済導入
	4月21日	A館T-FACE7階リニューアルオープン
	5月10日	全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第6回総会・第10回勉強会(in川越市)
	5月15日	防火優良事業所として豊田市防火危険物安全協会会長より表彰
	5月18日	豊田市低炭素社会モデル地区「とよたエコプラタウン」オープン
	6月27日	2011年度・第18期定時株主総会
	7月28日	第44回豊田おいでんまつり開催(受託事業) 「とよたまちなか打ち水大作戦2012」開催(運営協力)
	10月25日	全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第11回勉強会(in柏市)
	11月 1日	2012年度普通充電インフラ普及に関する実証実験参加、TM若宮パーキングに「PHV・EV車用普通充電器」設置
	11月23日	「西桜町通り花灯り(第3回)」開催
	11月30日	消防法令遵守が認められ豊田市消防長より防火防災特例認定を取得
2015年(H27年)	1月 9日	「飲むならパーキング事業」が防犯活動の評価を受け豊田警察より表彰
	3月19日	T-FACEが(社)日本ショッピングセンター協会より「地域貢献賞」受賞
	3月29日	国が「第2期豊田市中心市街地活性化基本計画」(2013年4月～2018年3月)を認定
	4月 1日	豊田市より「まちづくり構想」の認定 新豊田駅地下駐車場が愛知県道路公社から豊田市に帰属、豊田市から借受けての管理運営開始
	5月23日	全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第7回総会・第12回勉強会(in長岡市)
	5月31日	TM若宮ビル ITS情報センター(みちなびとよた)閉館
	6月 3日	豊田市防犯設備整備補助金交付を受け防犯カメラ3台をA館T-FACE外周駐輪場に設置
	6月26日	2012年度・第19期定時株主総会
	6月28日	ワークライフバランスへの取組みについてとよた男女共同参画センターより「キラ☆とよた賞」を受賞
	6月30日	TM若宮ビルテナントが豊田市、トヨタ自動車(株)、豊田都市交通研究所との賃貸借契約終了
	7月13日	B館T-FACE7階ナナのへや(T-FACE CLUB会員専用サロン)オープン
	7月27日	第45回豊田おいでんまつり開催(受託事業) 「とよたまちなか打ち水大作戦2013」開催(運営協力)
9月20日	おいでん・さんそんセンター開所	
10月 1日	まちなかレンタサイクル事業を豊田市「Ha:mo RIDE」事業へ移管 TM若宮パーキング、喜多町駐車場、新豊田駅地下駐車場にカーシェアリング「Ha:mo RIDE」のステーション設置	
10月 3日	全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第13回勉強会(in飯塚市)	
10月 4日	B館T-FACE5階リニューアルオープン	
10月 8日	T-FACE開業25周年	
11月 1日	2013年度普通充電インフラ普及に関する実証実験参加、喜多町駐車場に「PHV・EV車用普通充電器」設置	
2016年(H28年)	1月 8日	「飲むならパーキング」が防犯活動の評価を受け豊田警察署長より感謝状表彰
	3月20日	豊田市より商業活性化推進3ヶ年計画(2014年度～2016年度)の認定
	3月21日	「西桜町通り花灯り(第4回)」開催

会社について
豊田まちづくり(株)の事業
豊田市中心市街地活性化協議会
豊田市の取組み
その他
資料

豊田まちづくり(株)の設立経緯・事業経過 及びまちの変遷 3

2014年(H26年) 変革への始動期(第五期3ヶ年計画)

4月 1日 **「新・豊田市」誕生10周年**

4月26日 豊田市低炭素社会モデル地区「とよたエコフルタウン」全面グランドオープン

5月 7日 豊田市防犯設備整備補助金交付を受け防犯カメラ3台をB館T-FACE外周駐輪場に設置

5月23日 全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第8回総会・第14回勉強会(in東京)

6月25日 2013年度・第20期定時株主総会

7月26日 第46回豊田おいでんまつり開催(受託事業)

11月 4日 全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第15回勉強会(in飯田市)

1月 7日 「飲むならパーキング」が防犯活動の評価を受け豊田警察署長より感謝状表彰

1月15日 国連経済社会局(UNDESA)と豊田市共催による「環境先進都市会議」開催

3月 6日 **豊田市中心市街地テナントミックスビジョン再構築プロジェクト**
第一期「豊田市駅西口市街地再開発ビルB館2階フロア整備事業」によるB館T-FACE2階リニューアルオープン
①まちなかインフォメーションの設置
②フロア内環境整備
③ファサードエントランス改修

3月13日 **まちなかコミュニティ施設整備事業**
「MAMATOCO(ママトコ)」グランドオープン
公共空間活用実験事業
「STREET&PARK MARKET」初開催

3月21日 「西桜町通り花灯り(第5回)」開催

6月11日 全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第9回総会・第16回勉強会(in金沢)

6月24日 2014年度・第21期定時株主総会

7月25日 第47回豊田おいでんまつり開催(受託事業)

9月 1日 豊田市中心市街地テナントミックスビジョン再構築プロジェクト
「豊田市駅西口市街地再開発ビルトイレの安心安全機能向上に関する改修事業」によるA館T-FACE8階、B館T-FACE6階のトイレ改修完了

10月 1日 豊田市中心市街地テナントミックスビジョン再構築プロジェクト
「豊田市駅西口市街地再開発ビルトイレの安心安全機能向上に関する改修事業」によるA館T-FACE9階、B館T-FACE1階シティアラザのトイレ改修完了

10月 9日 「あそべるとよたDAYS」開催(受託事業)

10月10日 MUSEUM PICNIC(STREET&PARK MARKET)を豊田市美術館リニューアルオープンに合わせて開催

10月13日 豊田市リノベーションまちづくり事業開始、第1回シンポジウム開催

10月22日 全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第17回勉強会(in岩手県紫波町)

2016年(H28年) 守勢行動の期(第六期3ヶ年計画)

11月30日 消防法令遵守が認められ、豊田市消防長より防火防災特例認定を取得

1月11日 「飲むならパーキング」が防犯活動の評価を受け豊田警察署長より4年連続感謝状表彰

3月24日 豊田市中心市街地テナントミックスビジョン再構築プロジェクト
「豊田市駅西口市街地再開発ビルA館2階客用トイレ改修事業」によるA館2階松坂屋のトイレ改修完了

4月24日 リノベーションまちづくり事業
「まちのトレジャーハンティング@豊田」開催

6月12日 リノベーションまちづくり事業
「リノベーションスクール@豊田」開催

6月22日 2015年度・第22期定時株主総会

6月29日 全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第10回総会・第18回勉強会(in東京)

7月16日 B館T-FACE屋上で採蜜した蜂蜜「ころもほにい」販売開始

7月25日 A館T-FACE屋上「豊田コミュニティスペースザ・プレミアムビアガーデン豊田」オープン
豊田市中心市街地テナントミックスビジョン再構築プロジェクト
「豊田市駅西口市街地再開発ビルA館1階客用トイレ改修事業」によるA館1階松坂屋のトイレ改修完了

7月30日 第48回豊田おいでんまつり開催(受託事業)

10月 9日 MAMATOCOに「喫茶ゆらり」オープン

10月30日 松坂屋豊田店15周年記念セレモニー

11月28日 全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第19回勉強会(in東京)

2月28日 **(一社)TCCM設立**

3月 8日 「とよたアニメシネマフェスティバル」開催

3月10日 豊田市中心市街地テナントミックスビジョン再構築プロジェクト
「豊田市駅西口市街地再開発ビルB館休憩スペース(喫煙室)設置事業」によるB館T-FACE8階スモークルーム設置

3月24日 駐車場(若宮、第1、昭和町、喜多町)のサイン、トイレ、まねき灯、緑化、休憩場所整備等の改修完了

4月20日 B館T-FACE8階飲食店フロア改修、第1弾オープン

6月28日 2016年度・第23期定時株主総会

6月29日 全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第11回総会・第20回勉強会(in東京)

7月29日 第49回豊田おいでんまつり開催(受託事業)

9月23日 駐車場(TM若宮、若宮)車番認証システム運用開始

11月 1日 **「フリーパーキング・プラス」サービス開始**

2017年(H29年)

11月 3日 **豊田市中心市街地テナントミックスビジョン再構築プロジェクト**
大型店の連携・共同事業による**社会実験「とよたまちなか子どもタウン」初開催**

11月20日 キタラパーキングオープン
キタラパーキングを豊田市から借受での管理運営開始

11月22日 ウェルカムセンター「THE CONTAINER N6」オープン

11月23日 豊田市駅東口バス待合所「レストえきまえ」オープン

11月25日 KiTARAオープン

12月14日 全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第21回勉強会(in八戸市)

3月 2日 **豊田市中心市街地テナントミックスビジョン再構築プロジェクト**
「豊田市駅西口市街地再開発ビルB館6階フロア整備事業」によるB館T-FACE6階リニューアルオープン
B館T-FACE8階飲食店フロア改修、第2弾オープン

3月23日 **国が「第3期豊田市中心市街地活性化計画(2018年4月～2023年3月)」を認定**
(一社)TCCMが豊田市より「都市再生推進法人」の指定を受ける
駐車場(若宮、第1、昭和町)場内監視カメラ運用開始

6月15日 **国が豊田市を「SDGs未来都市」として認定**

6月27日 2017年度・第24期定時株主総会

7月 5日 全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第12回総会・第22回勉強会(in東京)

7月28日 第50回豊田おいでんまつり開催(受託事業)

9月28日 B館T-FACE4階「無印良品」増床リニューアルオープン

10月 8日 **T-FACE開業30周年**

11月23日 テナントミックスビジョン再構築プロジェクト
大型店の連携・共同事業による集客企画「まちなか子どもタウン」開催
A館T-FACE9階とよた子育て総合支援センター「あいあい」リニューアルオープン

11月27日 全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第23回勉強会(in富山)

2月28日 若宮駐車場エレベーター改修完了

3月 1日 TM若宮パーキングサイン改修完了

3月15日 駐車場(喜多町、参合館、コモ)車番認証システム運用開始

3月20日 駐車場(TM若宮、若宮、第1、昭和町)場外誘導設備改修完了

3月29日 駐車場(喜多町)遠隔監視システム運用開始

5月 1日 **新天皇陛下が即位され「令和」に改元**

2019年(R1年) 応機行動の期(第七期3ヶ年計画)

6月26日 2018年度・第25期定時株主総会

7月 4日 全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第13回総会・第24回勉強会(in東京)

7月25日 駐車場(昭和町)管制機器改修完了

7月27日 第51回豊田おいでんまつり開催(受託事業)

8月 7日 駐車場(第1)車番認証システム運用開始

9月12日 駐車場(ギャザ)遠隔監視システム運用開始

9月23日 豊田市で「ラグビーワールドカップ2019」開催

11月 2日 テナントミックスビジョン再構築プロジェクト
大型店の連携・共同事業による集客企画「まちなか子どもタウン」開催

11月 6日 全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第25回勉強会(in小樽市)

11月23日 イルミネーションストーリーinとよた2019点灯式(イルミネーションストーリー実行委員会事務局をこの年より当社が受託)

2月28日 駐車場(TM若宮)駅西センター整備
駐車場(喜多町)駅東センター整備
駐車場(新豊田、参合館、コモ)遠隔監視システム運用開始

4月 2日 **J.フロント リテイリング(株)が松坂屋豊田店閉店発表**

4月18日 新型コロナウイルス感染症対応によるT-FACE休業(5月17日まで)

6月17日 2020年度官民連携まちなか再生推進事業「豊田市駅西口エリアまちづくりプラットフォーム」設立

6月24日 2019年度・第26期定時株主総会

7月30日 2020年度官民連携まちなか再生推進事業補助事業採択の内示

9月 7日 全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第14回総会・第26回勉強会(in東京・WEB)

9月26日 第52回豊田おいでんまつり(受託事業)
新型コロナウイルスの影響により開催中止

11月21日 MAMATOCOに「豊田こまち リンパケア倶楽部」オープン

12月22日 2020年度官民連携まちなか再生推進事業補助金交付決定

3月 **豊田市政70周年**

3月19日 **市議会3月定例会で豊田まちづくり(株)への22.62億円の出資を可決**

3月26日 全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第27回勉強会(WEB)

2021年(R3年)

会社について
豊田まちづくり(株)の事業
豊田市中心市街地活性化協議会
豊田市の取組み
その他
資料